

平成29年度岡山県学力・学習状況調査  
及び倉敷市学力調査  
結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成29年8月



# 平成29年度岡山県学力・学習状況調査 調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成29年8月



# 目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・調査の内容	1
3 倉敷市の学力・学習状況の概要	2
(1) 各教科の結果	3～ 4
(2) 教科別の結果	5～10
(3) 設問別の結果	11～21
(4) 学力と学習状況の相関から見える特徴 (質問紙調査の結果より)	22～27
4 倉敷市の学力・学習状況の特徴	28
(1) 小学3年生～5年生 教科概要, 誤答分析シート(国語・算数)	29～40
(2) 小学5年生 生活行動・学習活動調査 独自質問調査結果	41～46
(3) 中学1年生・中学2年生 教科概要, 誤答分析シート (国語・数学・英語) ※英語は第2学年のみ	47～56
(4) 中学1年生・中学2年生 生活行動・学習活動調査 独自質問調査結果	57～68
5 考察	69

## 平成29年度 岡山県学力・学習状況調査

### 1 調査目的

児童生徒の学力及び学習状況を把握・分析して、指導の成果と課題を検証・改善するとともに、結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資することを目的とする。

### 2 調査対象者・実施日・調査の内容

#### (1) 調査対象者

県内全公立小学校・特別支援学校小学部（約310校）に在籍する第3学年から第5学年の全児童（約31,500人、岡山市立を除く。）、及び県内全公立中学校・中等教育学校・特別支援学校中学部（約120校）に在籍する第1学年及び第2学年の全生徒（約22,000人、岡山市立を除く。）を対象とする。

倉敷市受検者数 4月18日受検 ( ) 内は岡山県内受検者数

【小学校】 小学3年生…4,445人 (10,019人)

小学4年生…4,510人 (10,297人)

小学5年生…4,420人 (10,135人)

【中学校】 中学1年生…4,080人 (10,212人)

中学2年生…4,120人 (10,321人)

#### (2) 実施日 平成29年4月18日（火）

#### (3) 調査の内容

【小学校】 小学3年生…国語・算数

小学4年生…国語・算数

小学5年生…国語・算数・質問紙

【中学校】 中学1年生…国語・数学・質問紙

中学2年生…国語・数学・英語・質問紙

◆学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、それぞれの前学年までの学習内容を出題範囲とする。

◆基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題する。

◆質問紙調査は、学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する内容とする。

### 3 倉敷市の学力・学習状況の概要

※倉敷市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

※本調査は、小学3年生が約8万人、小学4年生が約12万人、小学5年生が約15万人、中学1年生が約10万人、中学2年生が約10万人、その他、希望する自治体や学校が受検している調査である。そのため、全国の正答率は、全国学力・学習状況調査のように全ての小中学校の児童生徒の結果を反映している数値ではない。

(1) 各教科の結果

①各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

小学5年生 国語

	H29(小5)	H28(小4)	H27(小3)
倉敷市	75.0	71.6	/
岡山県	74.4		
全国	76.2	73.1	
県との差	0.6		
全国との差	-1.2	-1.6	

小学5年生 算数

	H29(小5)	H28(小4)	H27(小3)
倉敷市	70.3	70.3	/
岡山県	69.8		
全国	72.5	75.9	
県との差	0.5		
全国との差	-2.2	-5.6	

中学1年生 国語・基礎

	H29(中1)	H28(小6)	H27(小5)
倉敷市	71.6	73.0	67.9
岡山県	73.9	72.6	
全国	74.1	72.9	71.9
県との差	-2.3	0.4	
全国との差	-2.5	0.1	-4.0

中学1年生 国語・活用

	H29(中1)	H28(小6)	H27(小5)
倉敷市	70.2	57.6	63.6
岡山県	71.1	57.5	
全国	71.2	57.8	66.1
県との差	-0.9	0.1	
全国との差	-1.0	-0.2	-2.5

中学1年生 数学(算数)・基礎

	H29(中1)	H28(小6)	H27(小5)
倉敷市	65.8	75.9	68.1
岡山県	69.8	77.2	
全国	70.7	77.6	72.1
県との差	-4.0	-1.3	
全国との差	-4.8	-1.7	-4.0

中学1年生 数学(算数)・活用

	H29(中1)	H28(小6)	H27(小5)
倉敷市	53.8	46.7	52.1
岡山県	57.8	47.3	
全国	59.0	47.2	59.5
県との差	-4.0	-0.6	
全国との差	-5.2	-0.5	-7.4

中学2年生 国語・基礎

	H29(中2)	H28(中1)	H27(小6)
倉敷市	72.8	67.9	69.5
岡山県	74.1	68.6	69.2
全国	74.2		70.0
県との差	-1.3	-0.7	0.3
全国との差	-1.4		-0.5

中学2年生 国語・活用

	H29(中2)	H28(中1)	H27(小6)
倉敷市	55.6	54.1	65.0
岡山県	56.3	56.4	64.5
全国	56.8		65.4
県との差	-0.7	-2.3	0.5
全国との差	-1.2		-0.4

中学2年生 数学(算数)・基礎

	H29(中2)	H28(中1)	H27(小6)
倉敷市	59.9	74.3	75.5
岡山県	61.1	76.2	75.2
全国	60.0		75.2
県との差	-1.2	-1.9	0.3
全国との差	-0.1		0.3

中学2年生 数学(算数)・活用

	H29(中2)	H28(中1)	H27(小6)
倉敷市	48.5	46.0	44.9
岡山県	50.5	48.3	44.8
全国	50.8		45.0
県との差	-2.0	-2.3	0.1
全国との差	-2.3		-0.1

- ・小学5年生では、国語において、国の平均正答率との差が、平成28年度の-1.6ポイントから平成29年度には-1.2ポイントに縮まっている。同様に、算数では-5.6ポイントから-2.2ポイントと大幅に縮まっている。
- ・中学1年生では、数学の基礎において、国の平均正答率との差が-1.7ポイントから-4.0ポイント、活用において-0.5ポイントから-5.2ポイントと開いている。
- ・中学2年生では、国語の活用において、28年度に県平均との差が2.3ポイントあったものが-0.7ポイントに縮まっている。数学の基礎・活用ともに前年度の県平均との差が縮まっている。基礎では、-1.9ポイントあった差が-1.2ポイントに、活用では-2.3ポイントあった差が-2.0ポイントになっている。



②過去の同学年との平均正答率の比較【単位は%】

小学4年生 国語

	H29(小4)	H28(小4)	H27(小4)
倉敷市	70.0	71.6	/
岡山県	69.8		
全国	71.1	73.1	
県との差	0.2		
全国との差	-1.1	-1.6	

小学4年生 算数

	H29(小4)	H28(小4)	H27(小4)
倉敷市	75.5	70.3	/
岡山県	75.1		
全国	77.4	75.9	
県との差	0.4		
全国との差	-2.0	-5.6	

小学5年生 国語

	H29(小5)	H28(小5)	H27(小5)
倉敷市	75.0	67.4	67.1
岡山県	74.4		
全国	76.2	71.4	70.9
県との差	0.6		
全国との差	-1.2	-3.9	-3.7

小学5年生 算数

	H29(小5)	H28(小5)	H27(小5)
倉敷市	70.3	64.3	65.2
岡山県	69.8		
全国	72.5	68.3	69.8
県との差	0.5		
全国との差	-2.2	-4.0	-4.6

中学1年生 国語

	H29(中1)	H28(中1)	H27(中1)
倉敷市	71.3	63.7	62.8
岡山県	73.3	64.9	62.7
全国	73.5		
県との差	-2.0	-1.2	0.1
全国との差	-2.2		

中学1年生 数学

	H29(中1)	H28(中1)	H27(中1)
倉敷市	63.4	66.0	61.8
岡山県	67.4	68.1	63.4
全国	68.3		
県との差	-4.0	-2.1	-1.6
全国との差	-4.9		

中学2年生 国語

	H29(中2)	H28(中2)	H27(中2)
倉敷市	69.0	72.0	61.6
岡山県	70.2		
全国	70.4	72.3	64.3
県との差	-1.2		
全国との差	-1.3	-0.3	-2.6

中学2年生 数学

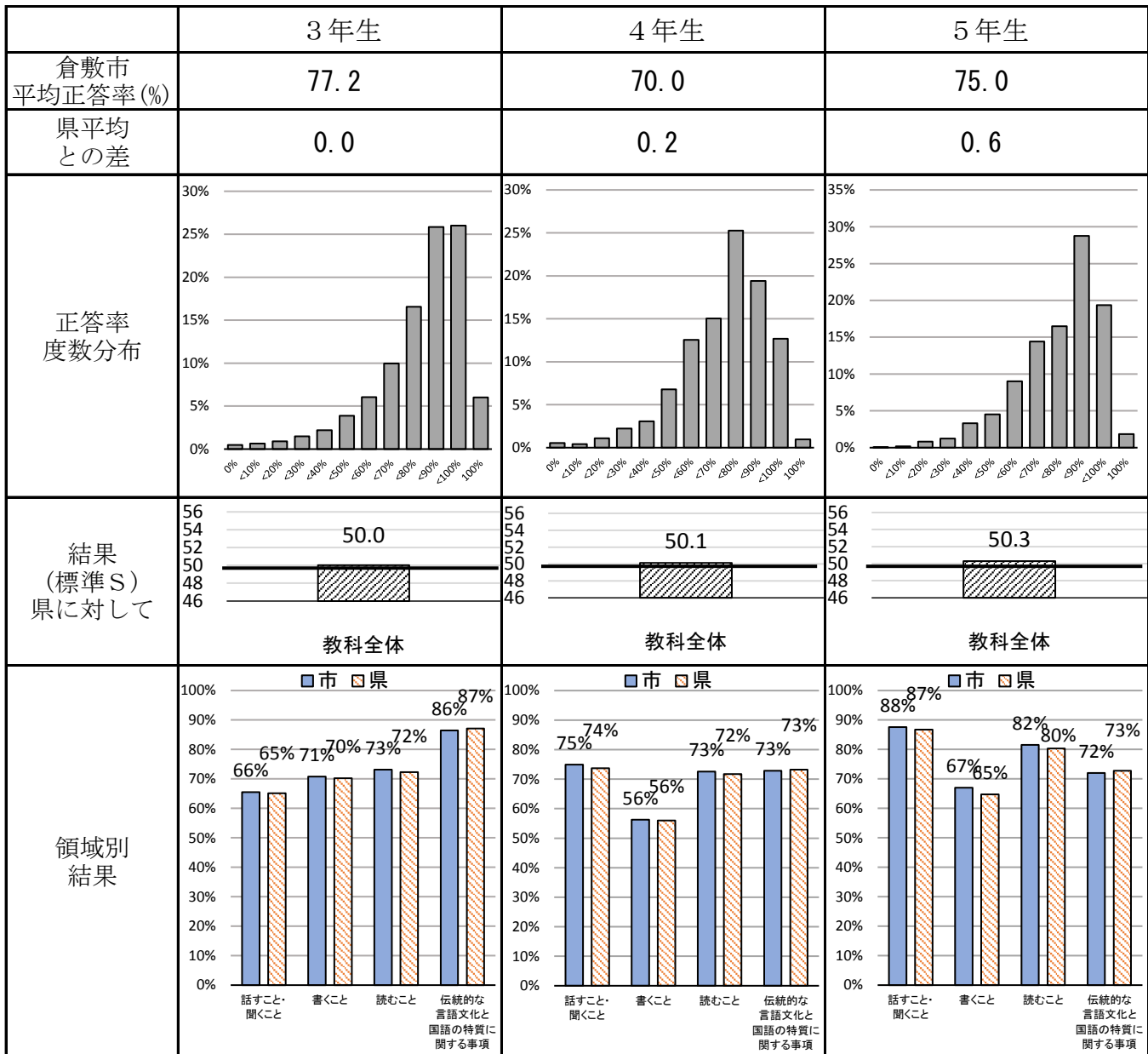
	H29(中2)	H28(中2)	H27(中2)
倉敷市	57.9	61.7	58.3
岡山県	59.3		
全国	58.4	60.5	60.7
県との差	-1.3		
全国との差	-0.5	1.2	-2.4

- ・小学4年生の国語において、平成28年度の国との平均正答率の差が-1.6ポイントから平成29年度には-1.1ポイントに縮まっている。同様に4年生の算数においては、-5.6ポイントあった差が、-2.0ポイントと縮まっている。
- ・小学5年生国語においても、平成27～28年度に3ポイント以上あった全国との差が、平成29年度には-1.2ポイントに縮まっている。同様に、算数においても4ポイント以上あった全国との差が、-2.2ポイントに縮まっている。
- ・中学1年生の国語においては、平成27～28年度に、+0.1ポイント、-1.2ポイントであった県との差が-2.0ポイントと開いている。数学においても-1.6、-2.1ポイントであったものが-4.0ポイントと開いている。
- ・中学2年生の国語においては、平成27年度に-2.6ポイントであった国との差が-1.3ポイントに縮まっているが、平成28年度の-0.3ポイントからは差が開いている。数学も同様に差が開いている。

## (2) 教科別の結果

### ①小学校 国語

#### ○結果の概要



#### <現状>

小学3年生の平均正答率は、県平均と同じであったが、小学4年生、小学5年生は、県平均を上回っている。「読むこと」の領域では、物語文、説明文ともに県平均を上回っている設問が多い。普段の授業で内容を丁寧におさえられていることが推測される。特に、小学5年生では内容を読み取る設問において、すべての設問で県平均を上回っている。

一方、「漢字を書くこと」については県平均を下回る設問があった。また、「書くこと」の領域については、以前に比べかなり改善されてきているが、どの学年でも全国平均を5ポイント以上下回っている設問があり、依然として課題が残る。

#### <今後に向けて>

基礎・基本の更なる定着に向けて、朝学習や授業中の小テスト等で定着具合を確認する機会を設定するなど、低学年からの反復練習を充実させることで、確実な習得につなげる取組を実践することが必要である。

また、条件に合わせて自分の考えを書く力の育成に向けて、低学年から考えや思いを表現する場を意図的に設定することが大切である。発達段階に合わせた条件やキーワードを示して書く経験を多く積ませる等の工夫が求められる。また、教員が適切な評価を行うことで、書く喜びを味わわせるなど、主体的に自分の考えを書く態度を育成する指導の充実が求められる。

## ②小学校 算数

### ○結果の概要

	3年生	4年生	5年生
倉敷市 平均正答率(%)	73.4	75.5	70.3
県平均 との差	0.1	0.4	0.5
正答率 度数分布			
結果 (標準S) 県に対して	56 54 52 50 48 46 50.1 教科全体	56 54 52 50 48 46 50.2 教科全体	56 54 52 50 48 46 50.3 教科全体
領域別 結果			

### <現状>

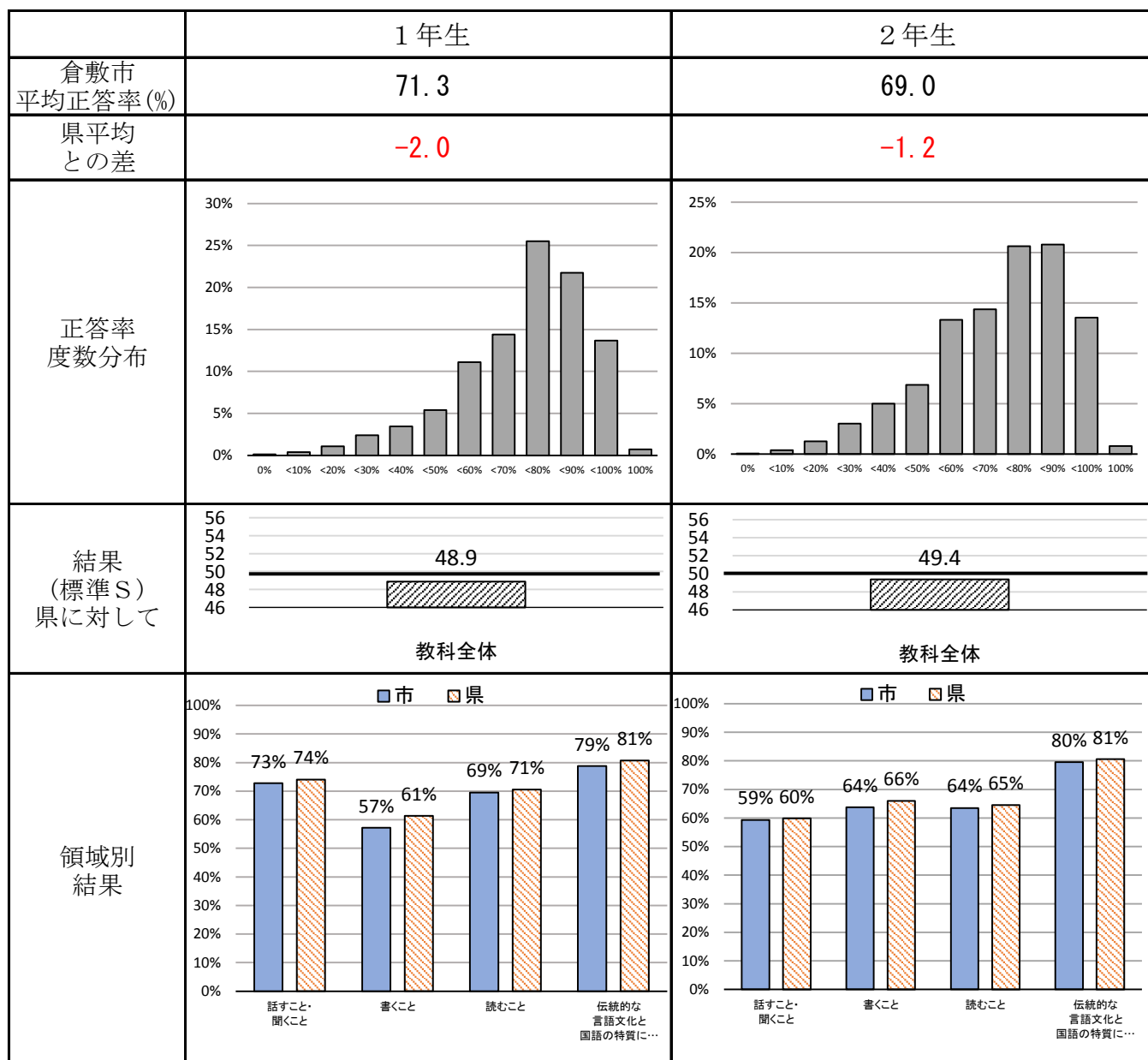
全学年において、平均正答率は県平均を上回る結果となった。特に「数と計算」の領域で正答率が高い設問が多い。一方、「量と測定」「図形」の領域では、県平均を下回る設問が複数見られる。特に、小学4年生の「量と測定」の領域の地図から道のりを求める問題においては、県平均を5ポイント以上下回っている。「距離」と「道のり」等の用語の使い分けについて指導する必要がある。小学5年生では、「図形」の領域「ひし形の作図」の設問で、県平均を下回っている。

### <今後に向けて>

「量と測定」「図形」の領域で課題が見られる。小学3年生では、正しい単位を選んだり、定規の目盛りを読み取る設問に課題があることから、具体物を利用した活動を行い、実生活と結び付けた授業を大切にすることが重要となる。小学4年生の問題においては、「道のり」と「距離」を混同して計算している児童が多い現状から、用語を正確に理解し、それらを活用して考えることができる授業展開が求められる。また、コップに入ったジュースの量や教室の面積の大きさが大体どれくらいなのかがわからないという課題も見られる。授業や生活の中で量感を育てていく必要がある。また、基礎・基本の定着に向けて、今後も本時で適用問題を複数解くことができる授業計画やその実施が大切となる。加えて、個に応じた指導の充実に努めるとともに、朝学習や放課後などを活用し、反復練習を徹底したい。

### ③中学校 国語

#### ○結果の概要



#### <現状>

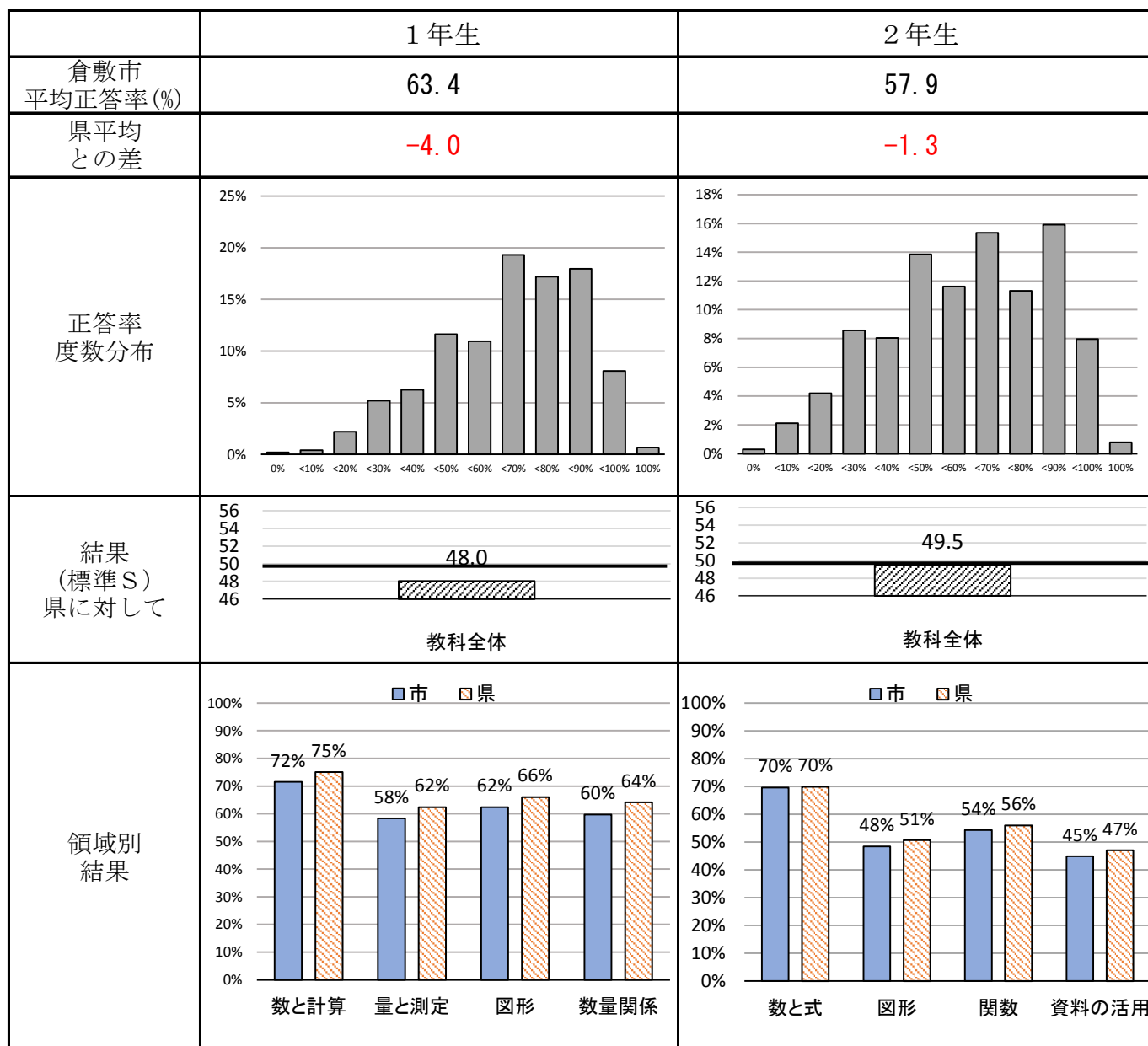
中学1年生では県平均との差が-2.0ポイント、中学2年生では-1.2ポイントとなっている。「読むこと」の領域において、説明文では県平均との差がほとんどの問題で1ポイント以内となっている。物語文では、説明文よりやや県平均との差が開いており、その差が-1ポイントから-2ポイントの問題が多い。また、漢字を書く問題で県平均から5ポイント以上、下回っている問題がそれぞれの学年で見られる。また、「書くこと」の領域では、指定された文字数や段落構成に従って、自分の考えを明確にしながら書くことに課題が見られる。特に、中学1年生では、全国平均より10ポイント以上下回っている問題も見られる。

#### <今後に向けて>

自分の考えを表現する力の育成に向けて、日常生活の様々な場面で書く学習活動を意図的に設定することが重要である。その際、目的や意図に応じて考えを明確にしたり、自分の意見を整理して趣旨が明確に伝わるよう順序を工夫したりする学習活動を展開していく必要がある。また、生徒自らが自分の表現を高めていくために、表現を見直したり改善したりする場を設定する推敲についても指導をしていく必要がある。さらに、すべての教科において「授業ファイブ」をもとにした授業を展開し、多くの書く場面を設定する必要がある。

#### ④中学校 数学

##### ○結果の概要



#### <現状>

中学2年生の絶対値、不等式、方程式では全国平均を5ポイント以上、上回っている。「数と式」の領域では全国平均を上回り、県平均と同等であった。しかし、中学2年生の「図形」と「資料の活用」において課題が見られる。中学1年生は全領域で県平均を4ポイント程度下回っている。「数量関係」では、県平均を3ポイント以上、下回る設問が多く見られた。また、中学1年生の記述式問題の正答率が低く、県平均を4.5ポイント下回っている。中学2年生でも記述式の正答率は決して高くない。学習活動において、普段から判断の理由を数学的に説明し、問題解決のために数学を活用する指導の充実が求められる。

#### <今後に向けて>

基本的な知識・技能の定着に向けて、演習の時間をしっかりと授業に位置付けるとともに、授業外での学習も含めて、知識や技能が習得できるまで粘り強く繰り返し指導するなど、実態に応じた個への適切な指導が求められる。また、与えられた条件を整理して事象を解釈し、その根拠を数学的な表現を用いて説明することができるようになるためには、習得している知識や技能をどのように活用するかについて授業で取り扱い、そのことに慣れていく必要がある。例えば、教師や生徒が説明した表現や説明の構造を可視化し、類似の問題解決の説明をさせたり、資料の活用では、資料やグラフから適切に情報を読み取り、考えた根拠を整理してノートに書いたりするなど、授業の中に説明する機会を多く設けることが大切である。

⑤中学校 英語

○結果の概要

	1 年生	2 年生
倉敷市 平均正答率 (%)	/	58.9
県平均 との差		-0.9
正答率 度数分布		
結果 (標準 S) 県に対して		
領域別 結果		

<現状>

語形・語法・語順を問う設問については県平均を上回っているものがあり、繰り返し読んだり書いたりしたことの結果であると考えられる。一方、課題があるのは、資料をもとに内容を聞き取ったり読み取ったりすることや、自分の考えを自由に表現することである。また、“Where is it?”・“usually”等、普段あまり言い慣れない表現の理解にも課題がある。

<今後に向けて>

毎時間の授業の中で、どの学習活動においても十分に目的を意識して取り組むことが重要であると考えられる。「聞くこと」については、単に英語を聞く機会を増やすのではなく、場面を考えながら聞くよう指導すること、「読むこと」については、あらかじめ課題を与えて読むようにしたり、繰り返し読んで内容を読み取る指導をしたりすること、さらに「書くこと」については、書いてまとめたものを、ペアやグループで相手に伝えることを通して、自由に表現する力を伸ばしていくことが今後も必要である。



### (3) 設問別の結果

#### 【小学3年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差		
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率		
1	(1)	話すこと・聞く こと	大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	79.7	80.1	82.3				-0.4	-2.6	
	(2)			93.0	93.1	95.0				-0.2	-2.0	
	(3)			77.5	76.2	77.5				1.2	0.0	
2	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	第2学年配当漢字を読むことができる。	80.5	79.5	82.2				1.0	-1.7	
				92.1	92.5	94.1				-0.4	-2.0	
				96.6	96.9	97.8				-0.3	-1.2	
				96.2	96.6	97.9				-0.4	-1.7	
	(2)		第2学年配当漢字を書くことができる。	80.4	82.5	84.4				-2.1	-4.0	
				83.2	84.6	86.7				-1.4	-3.5	
				89.9	90.4	91.6				-0.5	-1.7	
				76.8	79.1	83.5				-2.3	-6.7	
3	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	片仮名を正しく使い分けることができる。	82.7	82.8	85.7				-0.1	-3.0	
	(2)			漢字の書き順がわかる。	86.2	86.8	87.6				-0.5	-1.4
					86.3	86.9	88.9				-0.6	-2.6
4	(1)	読むこと	場面の様子を読み取ることができる。	74.7	74.7	81.6				0.0	-6.9	
	(2)			63.0	62.4	64.5				0.6	-1.5	
	(3)			77.5	76.2	77.8				1.3	-0.3	
5	(1)	読むこと	事柄の順序などを考えながら、内容を読み取ることができる。	71.8	71.2	74.3				0.5	-2.5	
	(2)			70.6	69.5	73.0				1.2	-2.4	
	(3)			81.1	79.9	82.6				1.2	-1.5	
6	(1)	話すこと・聞く こと	与えられた情報を読み取り、折り紙の折り方を正確に伝える説明をすることができる。	41.7	41.4	47.0				0.3	-5.3	
	(2)		与えられた情報を読み取り、聞いている人に分かりやすい説明をする工夫が理解できる。	35.9	34.8	37.3				1.1	-1.4	
7	(1)	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	71.9	71.0	79.6				1.0	-7.7	
	(2)		経験・想像したことの中から書くことを決め、文章を書くことができる。	72.3	72.1	79.6				0.2	-7.3	
	(3)		経験・想像したことの中から書くことを決め、自分の考えを明確に書くことができる。	68.3	67.4	75.7				0.8	-7.4	



【小学3年生 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と県との正答率の差			全国との差 正答率
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	
1	(1)	数と計算	1けた+1けた=2けた(繰り上がり1回)の計算ができる。	95.4	95.0	94.9			0.4	0.5
	(2)		2けた-1けた=2けた(繰り下がりなし)の計算ができる。	94.2	93.4	93.8			0.8	0.4
	(3)		1けた+2けた=2けた(繰り上がりあり)の計算ができる。	92.8	92.9	93.6			-0.1	-0.8
	(4)		2けた+2けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	82.5	82.8	85.1			-0.3	-2.6
	(5)		2けた-2けた=2けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	76.8	77.3	81.3			-0.4	-4.5
	(6)		3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	75.4	75.1	78.0			0.3	-2.6
2	(1)	数と計算	4の段の九九ができる。	98.7	98.7	98.8			0.0	-0.1
	(2)		9の段の九九ができる。	97.2	97.3	97.6			0.0	-0.4
	(3)		7の段の九九ができる。	93.4	93.6	93.8			-0.2	-0.4
3	(1)	数と計算	位取り記数法を理解し、1000と100と1の個数から、その数を表すことができる。	86.6	85.5	88.7			1.1	-2.1
	(2)		位取りの表を使って、ある位の数字を表すことができる(807の十の位の数字)。	81.6	80.9	84.0			0.7	-2.4
4		数と計算	数直線上に示された数を読み取ることができる。	78.9	78.9	84.4			0.0	-5.5
5		数と計算	数の大小と不等号の意味を理解している。	58.5	59.0	67.9			-0.5	-9.4
6		数と計算	分数で大きさを表すことができる。	72.0	72.1	78.5			-0.1	-6.5
7	(1)	数と計算	文章問題(倍の問題)を、乗法九九を適用して解くことができる。	77.5	77.7	83.2			-0.2	-5.7
	(2)		文章問題(求小の場面)を、2けた-2けた=2けたの減法を適用して解くことができる。	79.8	79.9	84.8			-0.1	-5.0
8		数と計算	文章問題を解くための乗法九九の立式ができる。	91.2	91.1	92.4			0.0	-1.2
9		数と計算	乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	67.1	67.4	70.1			-0.3	-3.0
10		数と計算	加法の結合法則を理解している。	53.3	53.3	57.4			0.1	-4.1
11	(1)	数と計算	減法逆の減法の文章問題を表した図を理解している。	77.3	76.6	81.0			0.8	-3.7
	(2)		減法逆の減法の文章問題を、図を使って解くことができる。	79.5	79.1	81.9			0.4	-2.4
12	(1)	量と測定	ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。	73.3	72.2	74.3			1.2	-1.0
	(2)		時間の単位の関係を理解し、分を時間と分に直すことができる。	70.9	70.5	73.4			0.4	-2.5
13		量と測定	ものさしの目盛りを読み取ることができる。	78.7	79.3	81.8			-0.7	-3.1
14		量と測定	長さも減法の計算ができることを理解し、長さの差を求めることができる。	73.3	72.7	77.5			0.6	-4.2
15	(1)	量と測定	身近にあるもののかさを推察して、適切な単位を選ぶことができる。	45.1	46.9	56.2			-1.8	-11.1
	(2)		長さの単位の関係を理解し、大小を判断することができる。	40.5	41.2	48.2			-0.7	-7.7
	(3)		1L=10dLであることを理解し、リットルますに入った水のかさを、LとdLで表すことができる。	71.7	71.5	78.3			0.2	-6.6
16	(1)	図形	長方形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	88.2	89.0	90.9			-0.7	-2.7
	(2)		直角三角形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	79.9	79.6	82.7			0.3	-2.8
17		図形	方眼に正方形をかくことができる。	87.4	87.9	89.5			-0.6	-2.1
18	(1)	図形	直方体の辺の数を理解している。	76.5	76.3	80.4			0.2	-3.9
	(2)		直方体を作るときに必要な面の形と数を理解している。	57.8	56.6	62.8			1.2	-5.0
19	(1)	量と測定	与えられた条件を読み取り、示された時刻にいた場所を特定することができる。	64.0	62.2	64.5			1.8	-0.5
	(2)	図形	与えられた条件を読み取り、立方体の辺の長さや数を考えて問題を解くことができる。	9.1	9.0	9.7			0.1	-0.6
	(3)	量と測定	2つの時刻の間の時間を比べて、どちらの時間が長いかを説明することができる。	17.0	17.0	18.2			0.0	-1.2

【小学4年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差	
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率	
1	(1)	話すこと・聞く こと	話し方の工夫に注意して聞き取ることができる。	84.8	82.9	82.7			1.9	2.1	
	(2)		大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	82.8	81.9	81.7			1.0	1.1	
	(3)		話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	83.5	81.3	83.3			2.2	0.2	
2	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第3学年配当漢字を読むことができる。	91.5	90.7	89.3			0.8	2.2	
				96.8	96.9	97.7			-0.1	-0.9	
				95.8	96.1	95.6			-0.2	0.2	
				96.3	96.4	96.6			-0.1	-0.3	
	(2)		第3学年配当漢字を書くことができる。	58.3	60.1	58.3			-1.8	0.0	
				89.5	89.3	90.1			0.2	-0.6	
				76.4	79.5	79.6			-3.1	-3.2	
				60.9	64.8	64.9			-3.9	-4.0	
3	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	文の構成(主語と述語)について理解している。	63.1	62.2	65.7			0.9	-2.6	
	(2)			ローマ字のつづりを理解している。	55.4	54.9	57.4			0.5	-2.0
	(3)			国語辞典の使い方を理解している。	45.8	44.6	44.8			1.2	1.0
					44.2	43.1	44.2			1.1	0.0
4	(1)	読むこと	登場人物の様子を読み取ることができる。	68.3	68.5	70.1			-0.2	-1.8	
	(2)			登場人物の気持ちを読み取ることができる。	76.4	75.2	77.5			1.2	-1.1
	(3)			目的や必要に応じて、場面の様子や登場人物の気持ちを読み取ることができる。	79.1	78.1	78.7			1.0	0.4
5	(1)	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	84.6	84.8	85.0			-0.2	-0.4	
	(2)			段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	75.8	73.8	73.9			1.9	1.9
	(3)			文章の内容を的確に読み取ることができる。	51.0	50.0	51.3			1.0	-0.3
6	(1)	話すこと・聞く こと	与えられた情報を読み取り、発表のテーマと発表の仕方の工夫を理解することができる。	48.5	48.5	49.3			0.0	-0.8	
	(2)			与えられた情報を読み取り、聞き手に具体的な情報を伝える説明をすることができる。	39.7	40.1	41.7			-0.5	-2.0
7	(1)	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	55.2	54.0	60.8			1.2	-5.6	
	(2)			2段落構成で文章を書くことができる。	47.4	46.4	51.7			1.0	-4.3
	(3)			書こうとするものの中心を明確にして書くことができる。	71.8	72.3	75.8			-0.6	-4.0
	(4)			書こうとするものの具体例を挙げて書くことができる。	67.1	66.9	71.1			0.2	-4.0

【小学4年生 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	数と計算	(1)	2けた+2けた=3けた(波及的繰り上がりあり)の計算ができる。	92.6	92.4	94.0			0.2	-1.4
		(2)	4けた+3けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	83.1	83.0	84.3			0.1	-1.2
		(3)	4けた-4けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	71.7	72.0	73.0			-0.3	-1.3
		(4)	8の段の九九ができる。	95.3	95.4	95.2			-0.1	0.1
		(5)	2けた×1けた=3けたの計算ができる。	83.0	83.1	84.6			0.0	-1.6
		(6)	2けた×2けた=4けたの計算ができる。	66.5	65.5	66.5			1.0	0.0
		(7)	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	95.5	95.1	94.2			0.3	1.3
		(8)	2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	90.3	89.5	89.1			0.9	1.2
		(9)	整数-小数第一位(純小数)の計算ができる。	82.7	81.6	80.4			1.1	2.3
		(10)	同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	95.5	95.7	95.5			-0.2	0.0
2	数と計算	(1)	位取り記数法を理解し、100万、10万、1000、1の個数から、その数を表すことができる。	76.2	76.9	78.5			-0.7	-2.3
		(2)	数の相対的な大きさについて理解している。	62.9	63.5	64.9			-0.6	-2.0
3	数と計算	(1)	小数のしくみを理解している。	85.8	85.5	88.1			0.3	-2.3
		(2)	小数の相対的な大きさについて理解している。	91.2	90.9	93.3			0.4	-2.1
4	数と計算	分数の数直線上での表し方について理解している。	48.7	47.3	53.3			1.4	-4.6	
5	数と計算	分子が1の分数が何個で1になるかを理解している。	83.5	83.3	84.1			0.2	-0.6	
6	数と計算	(1)	文章問題を解くための除法の立式ができる。	75.3	75.4	77.6			0.0	-2.3
		(2)	除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	84.2	83.5	83.8			0.7	0.4
7	数量関係	□を使った減法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	77.9	76.6	79.0			1.3	-1.1	
8	数量関係	(1)	□を使った文章問題(乗法の場面)を表した図を理解している。	72.9	71.6	73.8			1.3	-0.9
		(2)	□を使って、乗法の式に表すことができる。	71.1	69.5	71.1			1.5	0.0
9	量と測定	(1)	ある時刻から一定時間が経過する前の時刻を求めることができる。	73.1	71.0	71.7			2.2	1.4
		(2)	2つの時刻を比較して、その間の時間を求めることができる。	89.0	88.7	90.1			0.4	-1.1
		(3)	時間の単位の関係を理解し、分と秒で表された時間を秒に直すことができる。	83.1	81.8	83.0			1.3	0.1
10	量と測定	(1)	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	43.3	48.4	64.1			-5.1	-20.8
		(2)	地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大きさを比較できる。	32.2	37.5	54.1			-5.3	-21.9
11	量と測定	(1)	はかりの目盛りの読み方を理解している。	81.1	80.8	83.2			0.4	-2.1
		(2)	身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使うことができる。	80.8	79.2	79.8			1.6	1.0
12	図形	(1)	円の直径について理解している。	83.4	82.0	84.5			1.4	-1.1
		(2)	球の半径から、球が1つ入った箱の辺の長さを求めることができる。	61.0	61.1	64.0			0.0	-3.0
13	図形	正三角形を作図することができる。	89.0	88.7	90.2			0.3	-1.2	
14	数と計算	400×7の計算のしかたを説明することができる。	56.7	54.1	55.9			2.5	0.8	
15	数量関係	棒グラフを読み取り、3番目に多かった曜日を指摘することができる。	87.7	86.9	88.3			0.8	-0.6	
16	数量関係	(1)	棒グラフを読み取り、示された条件に適合するものを選ぶことができる。	58.6	57.6	59.9			0.9	-1.3
		(2)	めもりの異なる2つの棒グラフを読み取り、指摘が間違っている理由を読み取った情報を使って説明することができる。	59.3	57.2	60.3			2.1	-1.0
17	数と計算	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	52.1	51.2	53.6			0.9	-1.5	

【小学5年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話すこと・聞く こと	話の中心に気をつけて聞き取ることができる。	91.5	90.9	92.1			0.6	-0.6
	(2)		話し方の工夫に注意して聞き取ることができる。	91.2	89.8	90.5			1.3	0.7
	(3)		話の中心に気をつけて聞きながら、メモにまとめることができる。	80.0	79.4	79.7			0.6	0.3
2	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第4学年配当漢字を読むことができる。	97.8	97.7	97.0			0.1	0.8
				90.4	90.5	89.3			-0.1	1.1
				88.5	89.4	90.4			-0.8	-1.9
				77.0	76.3	72.7			0.6	4.3
	(2)		第4学年配当漢字を書くことができる。	80.1	80.6	79.6			-0.5	0.5
				72.0	72.2	68.8			-0.2	3.2
				76.5	79.8	78.0			-3.3	-1.5
				66.1	69.3	70.5			-3.2	-4.4
3	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	文の構成(連体修飾語)について理解している。	51.8	53.0	54.2			-1.2	-2.4
	(2)		文の構成(連用修飾語)について理解している。	17.6	17.9	23.5			-0.3	-5.9
	(3)		指示語の使い方を理解している。	82.8	81.8	84.7			1.0	-1.9
	(4)		漢字辞典の使い方を理解している。	63.9	64.4	69.3			-0.5	-5.4
4	(1)	読むこと	登場人物の気持ちを読み取ることができる。	93.3	92.8	93.8			0.5	-0.5
	(2)			76.1	74.5	77.7			1.6	-1.6
	(3)			88.5	86.9	88.1			1.7	0.4
	(4)			目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	69.9	68.6	72.2			1.4
5	(1)	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	83.9	83.1	85.0			0.8	-1.1
	(2)		段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	77.5	76.3	77.8			1.1	-0.3
	(3)		文章の内容を的確に読み取ることができる。	81.4	79.9	81.6			1.5	-0.2
6	(1)	書くこと	与えられた情報を読み取り、ポスターのかき方の工夫を理解することができる。	74.9	74.3	75.9			0.6	-1.0
	(2)		与えられた情報を読み取り、ポスターに補足する文を書くことができる。	48.9	46.6	46.3			2.4	2.6
7	(1)	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	72.9	70.1	76.6			2.8	-3.7
	(2)		2段落構成で文章を書くことができる。	61.4	57.7	67.7			3.7	-6.3
	(3)		目的や必要に応じて、文章に書こうとすることを明確に示すことができる。	68.2	66.0	71.6			2.2	-3.4
	(4)		目的や必要に応じて、文章に書こうとすることの具体的な内容を書くことができる。	75.6	74.1	78.4			1.6	-2.8

【小学5年生 算数】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1		数と計算	(1) 2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	90.1	89.8	89.6			0.3	0.5
			(2) 3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	68.6	69.4	71.7			-0.8	-3.1
			(3) 整数+小数第一位の計算ができる。	87.3	87.8	88.4			-0.4	-1.1
			(4) 小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	91.5	91.4	92.3			0.1	-0.8
			(5) 小数第一位-小数第三位(差が純小数)の計算ができる。	71.8	71.7	75.4			0.1	-3.6
			(6) 帯分数+真分数=帯分数(繰り上がりあり)の同分母分数の計算ができる。	84.9	84.3	80.9			0.6	4.0
			(7) 帯分数-真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。	90.3	89.9	87.8			0.5	2.5
			(8) 小数第一位×整数の計算ができる。	80.7	81.5	84.4			-0.7	-3.7
			(9) 小数第二位÷整数=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	71.9	70.1	72.1			1.8	-0.2
2		数と計算	(1) 位取りの表を使って、ある位の数字を表すことができる。	77.4	77.8	80.3			-0.4	-2.9
			(2) 数の相対的な大きさについて理解している。	62.6	62.2	65.2			0.3	-2.6
3		数と計算	(1) 小数のしくみを理解している。	94.9	94.5	94.9			0.4	0.0
			(2) 小数を用いた重さの単位換算ができる。	45.0	45.7	49.9			-0.7	-4.9
4		数と計算	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	78.7	78.3	84.7			0.4	-6.0
5		数と計算	真分数、帯分数、仮分数、整数を大小順に並べることができる。	71.5	70.8	71.6			0.8	-0.1
6		数と計算	概数に対応する数の範囲を理解している。	54.6	53.7	59.2			0.9	-4.6
7		数と計算	(1) 倍とわり算の文章問題を表した図を理解している。	71.6	69.8	74.6			1.8	-3.0
			(2) 図を使って、倍とわり算の文章問題に合った式を選ぶことができる。	72.7	71.8	77.5			0.9	-4.8
8		数と計算	整数÷整数=小数第一位の式になる文章問題の答えを求めることができる。	69.4	68.3	72.4			1.1	-3.0
9		数量関係	四則の混じった式の計算順序を理解している。	62.4	61.2	64.2			1.3	-1.8
10		量と測定	(1) 分度器の中に示された角の大きさの目盛りを読み取ることができる。	86.1	86.5	87.8			-0.4	-1.7
			(2) 180°より大きい角の大きさの見当をつけることができる。	56.7	57.0	60.9			-0.2	-4.2
11		量と測定	(1) 正方形の面積を求めることができる。	77.6	78.4	79.6			-0.8	-2.0
			(2) 身近にあるものの面積を推察することができる。	43.1	43.1	49.5			0.1	-6.4
12		量と測定	複合図形で、面積を求める考え方や図から式がわかる。	73.3	73.1	76.2			0.3	-2.9
13		図形	長方形の辺どうしの平行な関係がわかる。	76.3	76.4	77.3			-0.1	-1.0
14		図形	立方体の展開図から垂直な面がわかる。	70.8	70.8	70.8			0.0	0.0
15		図形	ひし形の作図ができる。	64.9	65.8	72.9			-1.0	-8.0
16		数量関係	(1) 伴って変わる二つの数量の一方の値から、もう一方の値を求めることができる。	88.7	87.6	87.1			1.0	1.6
			(2) 伴って変わる二つの数量の関係を表すことができる。	63.9	60.4	63.7			3.4	0.2
17		数量関係	二次元表の読み方を理解している。	85.6	85.1	88.4			0.6	-2.8
18		数と計算	(1) わり算の計算を工夫して求めている考えから、使っている計算のきまりがわかる。	45.0	43.7	45.4			1.3	-0.4
			(2) 工夫して求めているわり算の計算の考えを、商が小数になるわり算に適用して、式で説明することができる。	58.6	56.2	60.0			2.4	-1.4
19		数量関係	(1) 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを正しく読み取ることができる。	55.1	53.5	59.6			1.6	-4.5
			(2) 折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。	18.2	16.9	21.2			1.3	-3.0

【中学1年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話すこと・聞く こと	話の内容を正確に聞き取ることができる。	74.8	77.0	78.7			-2.2	-3.9
	(2)			92.8	94.1	95.6			-1.3	-2.8
	(3)			40.5	42.5	42.4			-2.0	-1.9
	(4)			75.1	76.3	75.6			-1.3	-0.5
2	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	小学校で学習した漢字を読むことができる。	98.4	98.4	98.5			-0.1	-0.1
				91.8	93.4	91.9			-1.6	-0.1
				94.1	95.5	93.9			-1.4	0.2
				84.3	87.6	88.9			-3.3	-4.6
	(2)		小学校で学習した漢字を書くことができる。	89.9	91.9	91.1			-2.0	-1.2
				69.3	71.7	61.1			-2.4	8.2
				74.1	75.5	76.2			-1.4	-2.1
				77.6	82.7	81.6			-5.0	-4.0
3	(1)	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	修飾語について理解している。	48.6	50.3	50.4			-1.7	-1.8
				73.8	75.5	72.1			-1.6	1.7
				83.2	84.7	82.4			-1.5	0.8
				60.0	61.3	60.8			-1.3	-0.8
4	(1)	読むこと	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	73.3	74.5	73.3			-1.3	0.0
				63.6	64.4	64.6			-0.8	-1.0
				72.0	72.2	73.1			-0.1	-1.1
				85.4	86.3	86.7			-0.9	-1.3
5	(1)	読むこと	登場人物の心情をとらえることができる。	87.2	87.9	88.5			-0.8	-1.3
				62.9	64.2	64.7			-1.3	-1.8
				77.8	79.0	79.1			-1.2	-1.3
				33.8	35.8	36.8			-2.0	-3.0
6	(1)	話すこと・聞く こと	複数の資料の情報をまとめて、意見を述べるこ とができる。	85.6	86.6	87.0			-1.0	-1.4
				67.8	67.6	67.4			0.2	0.4
	(3)		話し合いをもとにして、新聞記事の内容を決めるこ とができる。	40.0	40.7	41.7			-0.7	-1.7
7	(1)	書くこと	指定された文字数で書くことができる。	56.5	63.7	68.4			-7.2	-11.9
				50.4	54.4	62.7			-4.0	-12.3
				83.1	86.3	88.0			-3.3	-4.9
				50.9	54.3	55.1			-3.4	-4.2
				62.3	68.8	72.3			-6.5	-10.0

【中学1年生 数学】

大問 番号	中問 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	数と計算	小数第一位－小数第一位の計算ができる。	82.3	84.0	84.3			-1.7	-2.0
	(2)		小数第一位÷小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	82.6	86.6	87.2			-4.0	-4.6
	(3)		異分母分数の加法(約分あり)の計算ができる。	71.5	77.3	76.9			-5.8	-5.4
	(4)		分数×整数(約分なし)の計算ができる。	87.3	90.7	91.6			-3.4	-4.3
	(5)		分数×分数(約分なし)の計算ができる。	89.5	91.9	91.9			-2.4	-2.4
	(6)		分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	88.4	91.2	92.1			-2.8	-3.7
2	(1)	数と計算	2つの整数の最小公倍数を求めることができる。	63.3	69.8	72.2			-6.4	-8.9
	(2)		2つの整数の最大公約数に関する文章題を解くことができる。	68.8	72.0	71.7			-3.2	-2.9
3		数と計算	整数÷小数に関する文章題の正しい式を選ぶことができる。	32.8	36.2	36.1			-3.4	-3.3
4		数と計算	分数の除法の文章問題を表した図を読み取ることができる。	48.6	51.3	60.7			-2.7	-12.1
5	(1)	図形	円周の長さを求める式を選ぶことができる。	33.9	37.0	36.5			-3.1	-2.6
	(2)	量と測定	底面積と高さから角柱の体積を求めることができる。	84.3	87.1	86.0			-2.8	-1.7
6		量と測定	円を組み合わせた図形の面積を求めることができる。	26.5	33.6	33.3			-7.1	-6.8
7	(1)	量と測定	表から平均を求めることができる。	87.2	90.4	90.6			-3.2	-3.4
	(2)		時間の単位の違う速さと時間から道のりを求める式を選ぶことができる。	29.0	32.3	31.8			-3.3	-2.8
8		量と測定	テーブルの1mあたりの値段から全体の代金を求めるときの誤りについて説明することができる。	64.5	68.7	68.5			-4.1	-4.0
9	(1)	図形	直線が180°であることと、三角形の3つの角の和が180°であることを利用して、三角形の外角の大きさを求めることができる。	63.1	68.3	68.4			-5.2	-5.3
	(2)		四角形の4つの角の和が360°であることを利用して、与えられた3つの角から残りの角の大きさを求めることができる。	79.3	83.8	83.9			-4.5	-4.6
10		図形	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	69.9	74.3	71.9			-4.3	-2.0
11		図形	縮図を使って実際の直線距離を求めることができる。	71.9	75.5	76.8			-3.6	-4.9
12	(1)	図形	線対称な図形の対応する点を見つけることができる。	42.5	45.6	47.5			-3.1	-5.0
	(2)		点対称な図形を選ぶことができる。	76.0	78.0	79.8			-1.9	-3.8
13	(1)	数量関係	割合の意味について理解している。	38.4	41.4	42.9			-3.0	-4.5
	(2)		百分率について理解し、割引後の代金を求める式を選ぶことができる。	53.8	58.4	66.7			-4.6	-12.9
14	(1)	数量関係	3人が横に1列に並ぶときの並び方が何通りあるかを求めることができる。	72.2	75.9	77.8			-3.7	-5.6
	(2)		4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	57.0	62.8	62.9			-5.9	-5.9
15	(1)	数量関係	2:5と等しい比を選ぶことができる。	62.5	68.8	70.7			-6.3	-8.2
	(2)		比の値について理解している。	70.2	73.3	73.3			-3.1	-3.1
16	(1)	数量関係	比例の関係を、xとyを使って式に表すことができる。	81.4	86.4	87.4			-5.0	-6.0
	(2)		反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求めることができる。	32.4	39.8	42.1			-7.4	-9.7
17		数量関係	文字を使った式が表す場面を選ぶことができる。	62.2	67.1	69.5			-4.9	-7.3
18		数量関係	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	81.2	84.7	85.0			-3.5	-3.8
19		数量関係	2つの柱状グラフを比較して、必要な情報を読み取ることができる。	75.8	78.4	77.1			-2.6	-1.3
20	(1)	数量関係	折れ線グラフから読み取ることのできることを選ぶことができる。	68.4	71.6	70.1			-3.2	-1.7
	(2)		割合が減っていても、もとにする量が大幅に増えているときは、比べる量は減らないことを、具体的に説明することができる。	21.0	25.7	26.6			-4.7	-5.6

【中学2年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話すこと・聞く こと	話の内容を正確に聞き取ることができる。	91.6	92.6	94.3			-1.0	-2.7
	(2)		聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。	50.3	51.2	53.6			-0.9	-3.3
	(3)		司会者の工夫を聞き取ることができる。	51.3	49.1	48.9			2.2	2.4
	(4)		話し手の意見に対して自分の考えを持ち、質問することができる。	44.1	46.5	46.1			-2.5	-2.0
2	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。	96.6	97.2	98.0			-0.6	-1.4
				71.5	72.6	72.2			-1.1	-0.7
				97.7	98.1	97.6			-0.4	0.1
				96.9	97.2	96.4			-0.2	0.5
	(2)		小学校で学習した漢字を書くことができる。	81.7	82.4	81.9			-0.7	-0.2
				77.3	78.9	77.9			-1.6	-0.6
				69.7	75.4	74.8			-5.7	-5.1
				84.5	85.6	81.9			-1.1	2.6
3	(1)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	単語について理解している。	73.3	74.1	64.1			-0.8	9.2
			文節の関係について理解している。	75.7	76.2	77.0			-0.5	-1.3
			歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。	84.2	86.2	84.9			-2.0	-0.7
			故事成語について理解している。	45.1	43.0	41.3			2.0	3.8
4	(1)	読むこと	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	58.3	59.3	58.7			-0.9	-0.4
				69.2	69.0	69.5			0.2	-0.3
				63.4	63.8	64.1			-0.4	-0.7
				58.5	60.2	61.5			-1.6	-3.0
5	(1)	読むこと	場面の展開をとらえることができる。	54.7	55.7	55.4			-1.0	-0.7
				71.1	72.0	72.2			-0.9	-1.1
				70.3	71.9	73.9			-1.5	-3.6
				66.4	68.3	72.3			-1.9	-5.9
6	(1)	読むこと	紹介カードを書くときの工夫をとらえることができる。	60.7	61.7	62.2			-1.0	-1.5
			紹介カードの書き方をとらえたうえで、自分の意見を述べるることができる。	62.4	63.6	65.1			-1.2	-2.7
	(3)	書くこと	紹介カードの特徴をとらえたうえで、その特徴を生かして新たにカードを書くことができる。	47.9	47.2	47.2			0.7	0.7
7		書くこと	指定された文字数で書くことができる。	70.2	73.5	75.8			-3.3	-5.6
			3段落構成で文章を書くことができる。	65.8	68.1	72.4			-2.3	-6.6
			読み取った内容を明確に書くことができる。	72.9	75.7	77.0			-2.8	-4.1
				65.9	68.9	69.4			-3.0	-3.5
			自分の考えを明確に書くことができる。	60.1	62.6	64.5			-2.5	-4.4



【中学2年生 数学】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差	
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率	
1	(1)	数と式	分数の除法ができる。	86.2	86.5	85.0				-0.4	1.2
	(2)		分数の四則混合の計算ができる。	70.8	71.0	69.0				-0.3	1.8
	(3)		負の数の減法ができる。	87.7	88.6	88.0				-0.9	-0.3
	(4)		負の数の除法ができる。	73.1	73.2	70.2				-0.1	2.9
	(5)		同類項をまとめることができる。	78.0	79.3	78.1				-1.3	-0.1
	(6)		1次式の減法ができる。	56.9	58.8	58.5				-1.9	-1.6
2	(1)	数と式	移項を必要としない1次方程式を解くことができる。	85.4	85.9	84.3				-0.5	1.1
	(2)		1次方程式を解くことができる。	82.0	82.0	80.3				0.0	1.7
3		数と式	比例式を解くことができる。	54.5	54.9	54.6				-0.4	-0.1
4	(1)	数と式	正負の数の大小関係を不等号を使って表すことができる。	74.8	75.1	74.7				-0.3	0.1
	(2)		絶対値について理解している。	90.6	89.1	85.5				1.5	5.1
	(3)		数量の間の関係を不等式に表すことができる。	43.5	43.1	38.2				0.4	5.3
5		数と式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	62.2	61.4	57.2				0.8	5.0
6		数と式	与えられた文章題を、1元1次方程式を解いて解決し、兄が弟に追いつく時間を求めることができる。	29.2	30.3	27.7				-1.1	1.5
7		関数	具体的な事象の中には比例を用いて捉えられるものがあることを理解している。	41.9	44.6	44.7				-2.7	-2.8
8		関数	比例の関係での、 $x$ 、 $y$ の値の変化の関係について理解している。	56.5	58.4	59.9				-1.9	-3.4
9	(1)	関数	比例の関係にある1組の $x$ 、 $y$ の値から、比例の式を求めることができる。	37.5	37.5	38.9				-0.1	-1.4
	(2)		反比例の関係を表す表から、反比例の式を表すことができる。	59.0	59.8	53.9				-0.9	5.1
10	(1)	関数	反比例のグラフの一部から、反比例の式を選ぶことができる。	59.6	61.0	56.1				-1.4	3.5
	(2)		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	46.7	46.6	42.5				0.0	4.2
11		関数	具体的な事象とグラフを関連付けて読み取り、もっとも重いねじについて表したグラフを選ぶことができる。	74.4	77.5	80.3				-3.2	-5.9
12		図形	三角形を回転移動させたときに、その三角形と重なる三角形がわかる。	54.7	59.7	63.6				-5.0	-8.9
13		図形	角の二等分線を作図することができる。	60.8	64.3	63.9				-3.5	-3.1
14	(1)	図形	角柱の直線や平面の位置関係について理解している。	55.6	56.7	55.6				-1.2	0.0
	(2)		角錐の投影図をすべて選ぶことができる。	49.9	51.4	52.5				-1.5	-2.6
15	(1)	図形	円錐の見取図から、その側面になるおうぎ形の中心角を求めることができる。	32.6	34.2	34.5				-1.7	-1.9
	(2)		球の表面積を求める式を選ぶことができる。	51.1	50.9	50.6				0.1	0.5
	(3)		同じ底面で高さも等しい柱体と錐体の体積の関係について、正しく理解している。	34.8	37.5	40.0				-2.7	-5.2
16	(1)	資料の活用	度数分布表から、階級の相対度数を求めることができる。	51.1	54.1	55.2				-3.1	-4.1
	(2)		最頻値について理解している。	61.8	63.8	63.2				-2.0	-1.4
	(3)		ある数の真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。	38.3	41.3	41.7				-3.0	-3.4
17	(1)	関数	反比例の表を読み取り、 $x$ の値に対応する $y$ の値として誤っている箇所を指摘することができる。	65.0	68.0	68.5				-3.0	-3.5
	(2)		ある2点を通る関数のグラフについての問題について、答えが1つになるように、条件を修正することができる。	48.8	50.6	47.1				-1.8	1.7
18	(1)	資料の活用	ヒストグラムから、階級の幅を読み取ることができる。	51.8	52.6	57.5				-0.8	-5.7
	(2)		ヒストグラムの特徴を読み取り、説明すべきことがらについて数学的に説明することができる。	21.6	23.8	23.7				-2.2	-2.1

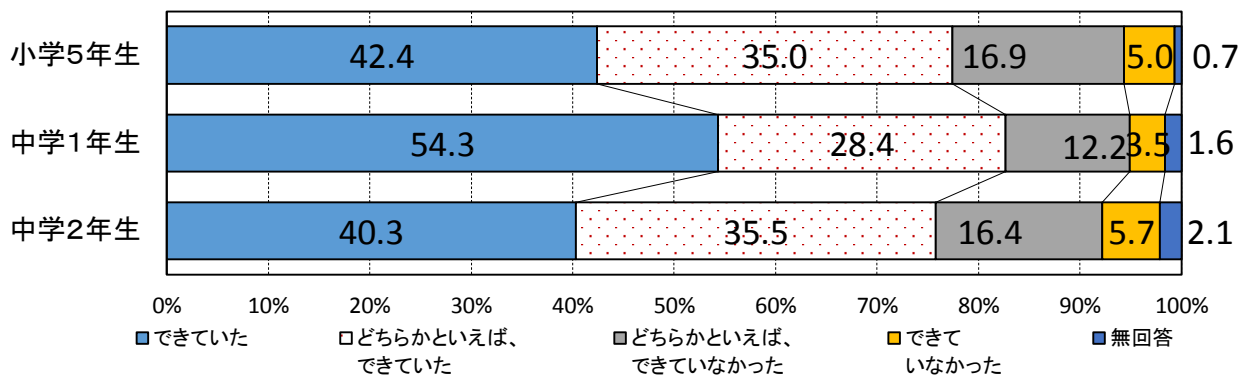
【中学2年生 英語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差	
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率	
1	(1)	聞くこと	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(依頼)	51.8	56.1	62.2				-4.3	-10.4
	(2)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(名詞)	87.7	87.9	86.7				-0.2	1.0
	(3)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(動作)	82.0	83.4	86.2				-1.4	-4.2
2	(1)	聞くこと	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(していることをたずねられて)	69.9	69.8	71.5				0.1	-1.6
	(2)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(許可を求められて)	57.1	56.4	56.8				0.7	0.3
	(3)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(したことをたずねられて)	64.1	66.0	70.4				-1.9	-6.3
3	(1)	聞くこと	英文の要点を聞き取ることができる。(誕生日)	82.4	85.3	86.1				-2.9	-3.7
	(2)		英文の要点を聞き取ることができる。(家族の説明)	83.1	83.8	84.3				-0.8	-1.2
	(3)		英文の要点を聞き取ることができる。(曜日)	82.6	83.3	84.2				-0.7	-1.6
4		聞くこと	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	25.6	26.5	26.0				-0.9	-0.4
5	(1)	読むこと	語形・語法を理解することができる。(一般動詞の過去の肯定文)	69.0	69.7	70.6				-0.7	-1.6
			語形・語法を理解することができる。(疑問詞を使った現在進行形の疑問文)	46.7	49.3	52.7				-2.6	-6.0
			語形・語法を理解することができる。(canの否定文)	63.1	62.0	61.4				1.2	1.7
			語形・語法を理解することができる。(目的格の代名詞)	64.6	63.9	62.9				0.7	1.7
	(2)	書くこと	単語を正しく書くことができる。(赤)	83.2	83.8	84.1				-0.5	-0.9
			単語を正しく書くことができる。(ふつつ)	36.2	38.3	44.9				-2.1	-8.7
			単語を正しく書くことができる。(楽しむ)	59.8	58.9	61.3				0.9	-1.5
			単語を正しく書くことができる。(住む)	74.5	75.8	79.1				-1.3	-4.6
6	(1)	読むこと	英文の情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	86.1	86.3	87.8				-0.1	-1.7
			英文と資料の情報・条件をもとに、相手の要望に対して適切に応じることができる。	31.9	33.3	33.6				-1.4	-1.7
			対話の流れとグラフから、適切な曜日を判断することができる。	70.2	69.8	70.5				0.5	-0.3
7	(2)	読むこと	対話の流れとグラフから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	46.1	49.0	49.4				-3.0	-3.3
			代名詞usの内容を把握することができる。	42.3	43.8	46.0				-1.5	-3.7
			英文の内容を把握することができる。	49.3	49.9	52.3				-0.5	-3.0
			読み取った英文の内容をふまえて、日記を書くことができる。	28.6	29.9	30.9				-1.3	-2.3
8	(3)	書くこと	英文を正しい語順で書くことができる。(一般動詞現在の否定文)	11.3	12.8	12.5				-1.5	-1.2
			英文を正しい語順で書くことができる。(現在進行形の疑問文)	74.5	74.9	76.3				-0.4	-1.8
			英文を正しい語順で書くことができる。(whenを使った一般動詞の過去の疑問文)	51.8	49.8	48.0				2.1	3.8
			英文を正しい語順で書くことができる。(否定の命令文)	70.0	66.4	64.4				3.6	5.6
9	(4)	書くこと	英語で質問する文を書くことができる。(whereを使って場所をたずねる)	42.5	42.3	43.6				0.2	-1.1
			英語で質問する文を書くことができる。(how manyを使って数をたずねる)	25.3	28.6	31.8				-3.3	-6.5
10	(1)	書くこと	英語で質問する文を書くことができる。(how manyを使って数をたずねる)	37.2	39.0	39.8				-1.8	-2.6
			自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表すことができる。	62.6	65.7	71.2				-3.1	-8.6
				78.9	80.6	83.4				-1.7	-4.5
	(3)		68.0	70.0	73.6				-2.0	-5.6	

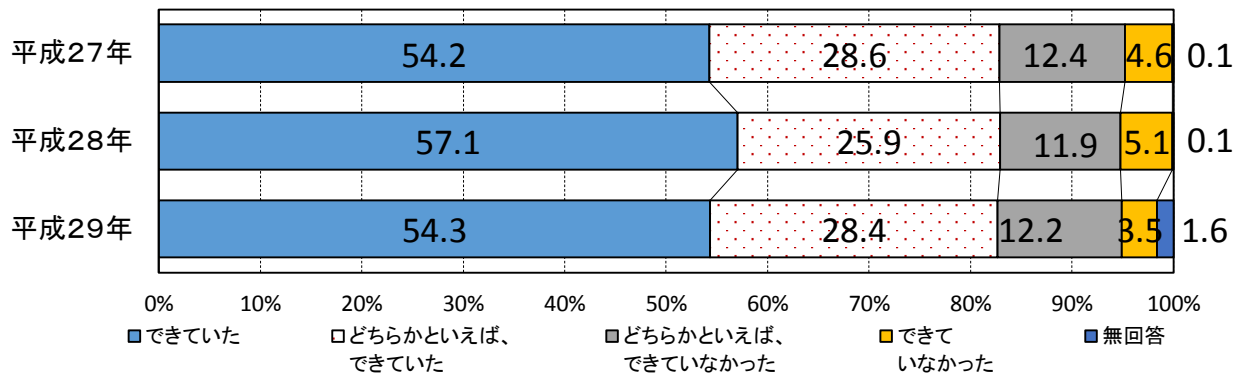
#### (4) 学力と学習状況の相関から見える特徴（質問紙調査の結果より）

(5) 授業の中でめあて（目標）が示されていたと思う。

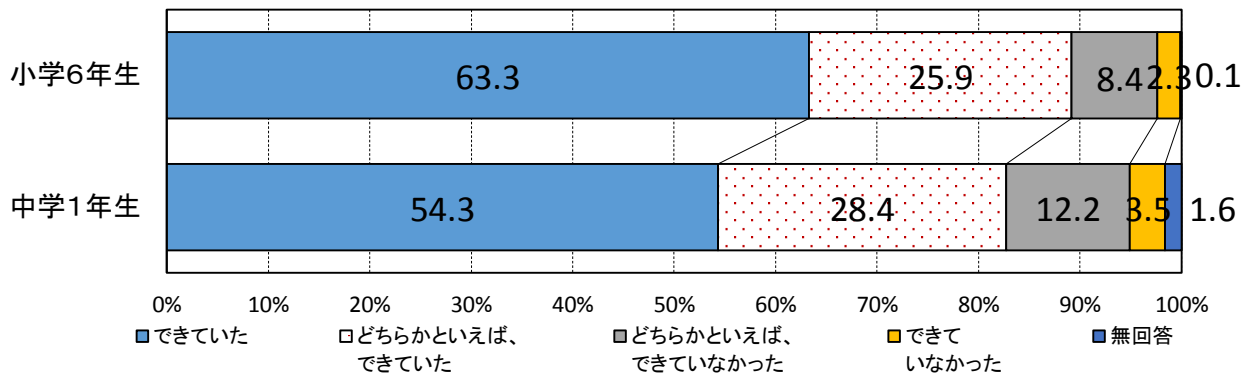
①【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度 各学年】



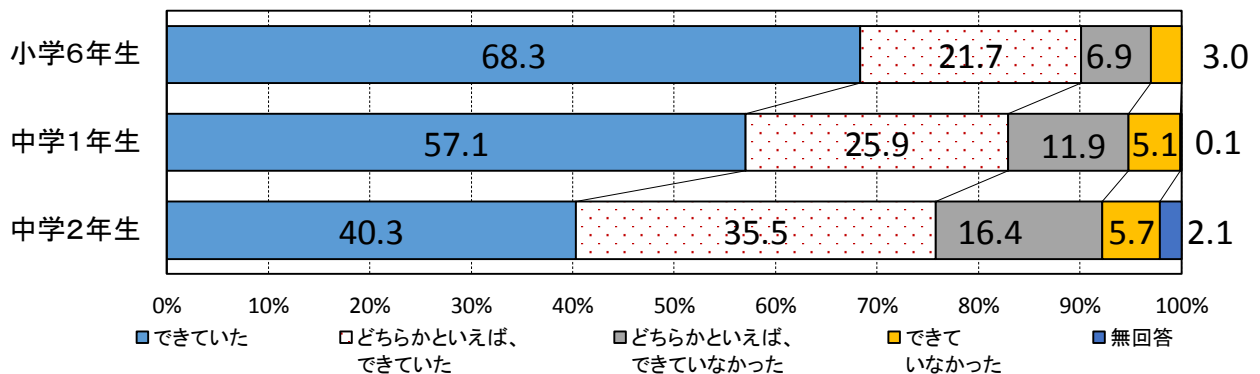
②【質問紙の回答選択肢の割合 中学1年生 過去の中学1年生と比較（異集団）】



③【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学1年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



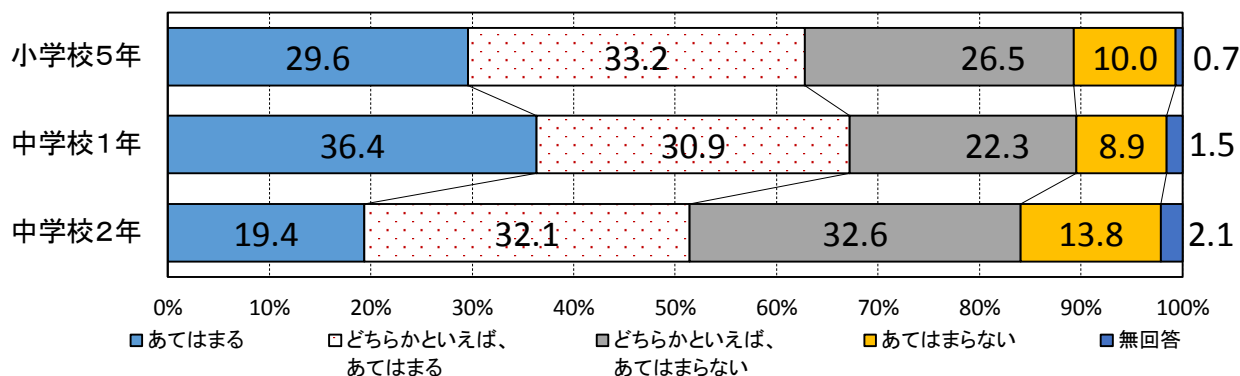
④【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学2年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



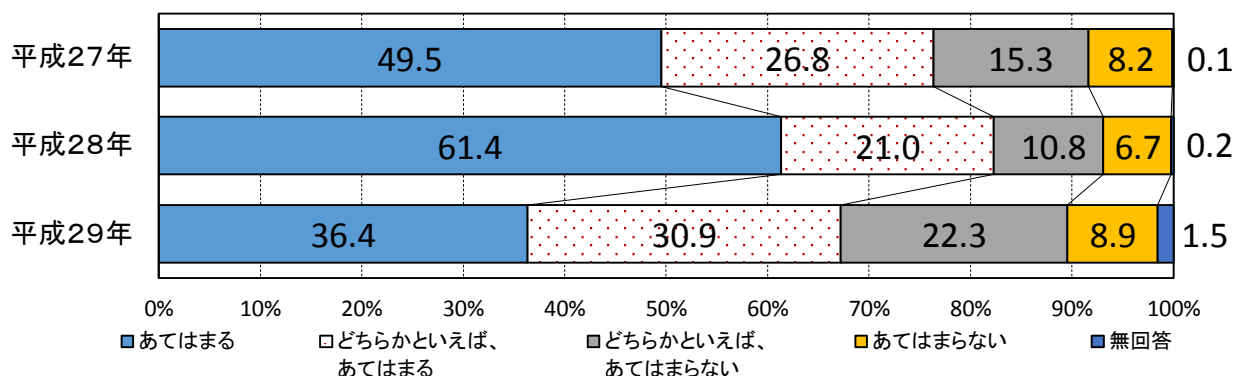
①のグラフから、授業の中でめあてが示されている割合は7割を超えていることが窺える。また、②のグラフから、肯定的な回答は、過去3年間で特に中学1年生段階では8割を超えている。③、④のグラフから、学年が上がるにつれて、肯定的な回答の割合が減ってきている。研修会などを通じてめあてを示すことの重要性を再確認していきたい。

(6) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。

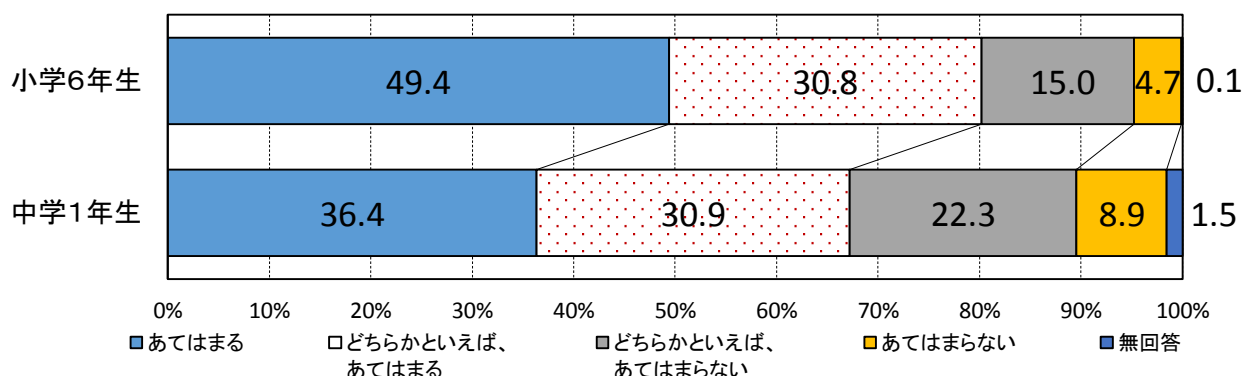
①【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度 各学年】



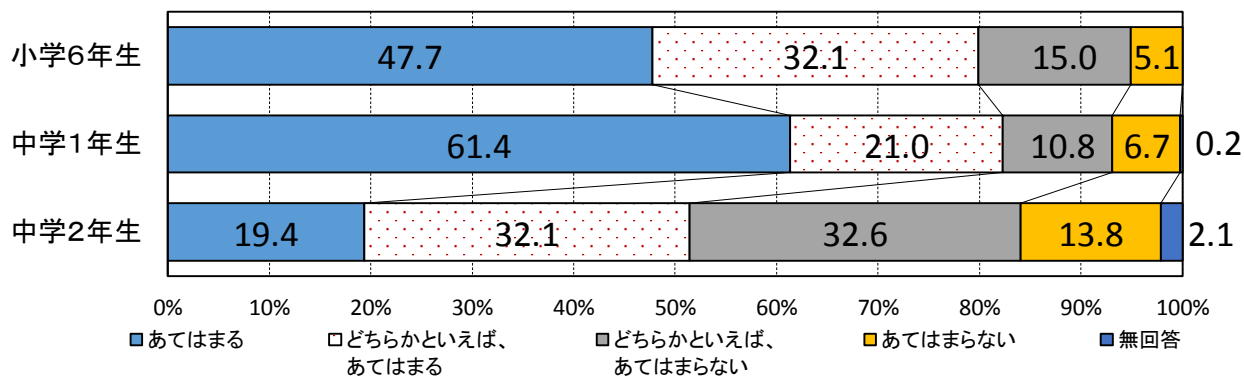
②【質問紙の回答選択肢の割合 中学1年生 過去の中学1年生と比較（異集団）】



③【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学1年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



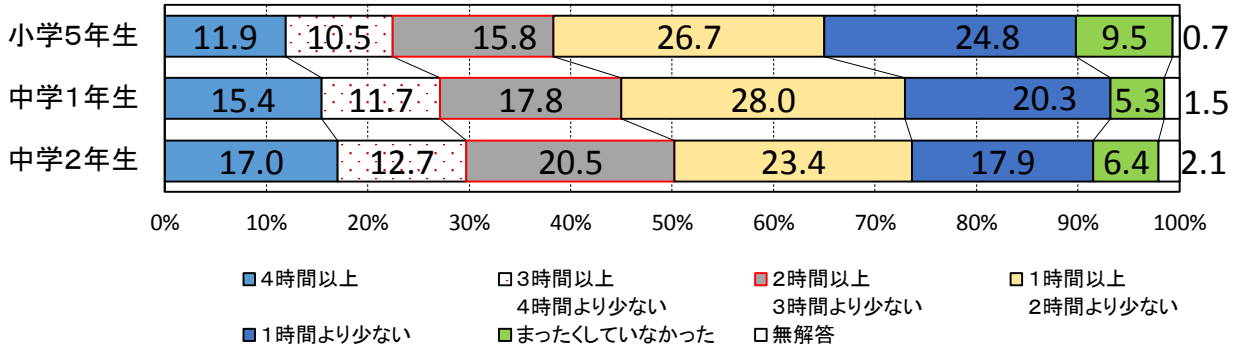
④【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学2年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



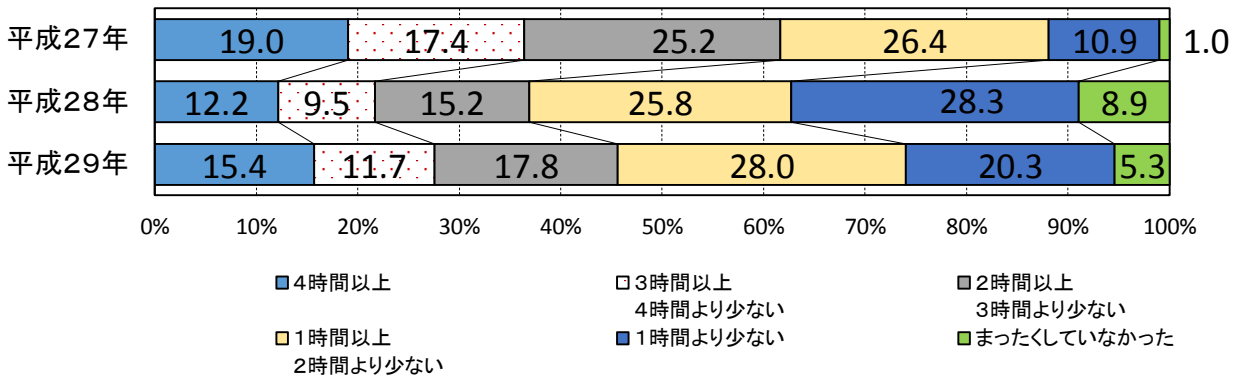
①のグラフから、「振り返り」は中学1年生で7割近くが行われていることが窺える。③のグラフからは、小学6年生から中学校1年生への経年的変化では、小学6年生の頃に比べて「振り返り」をしていたと感じる割合が少なくなっている。④のグラフでも中学1年生から2年生で同様の傾向が見られる。中学校の授業における振り返りの重要性について研修等を通して伝えていきたい。

(12) 普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしていましたか。

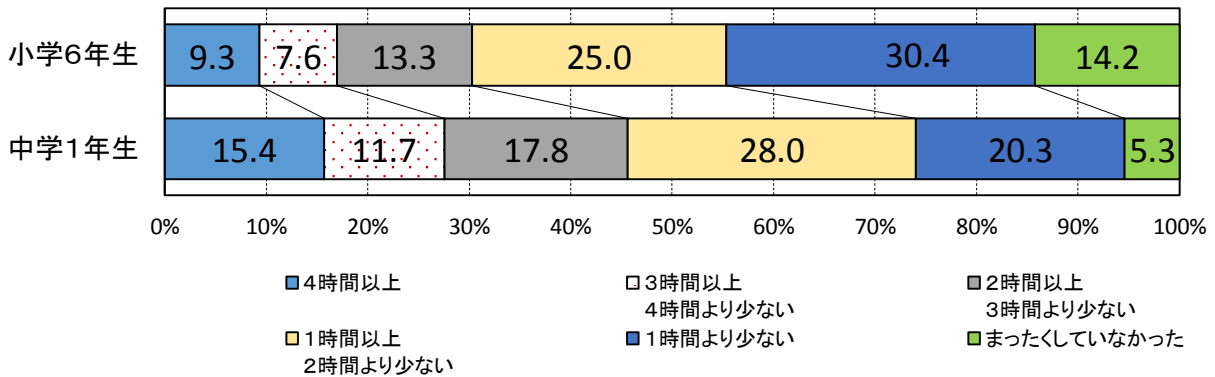
①【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度 各学年】



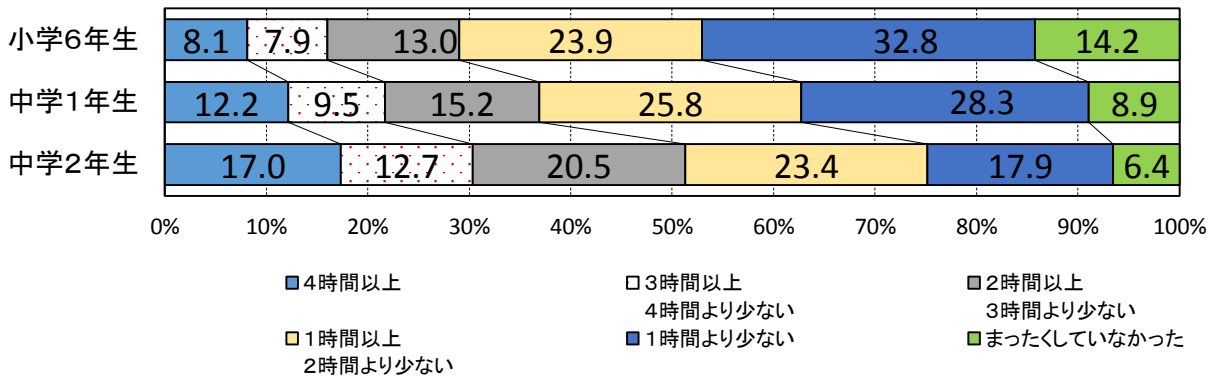
②【質問紙の回答選択肢の割合 中学1年生 過去の中学1年生と比較（異集団）】



③【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学1年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



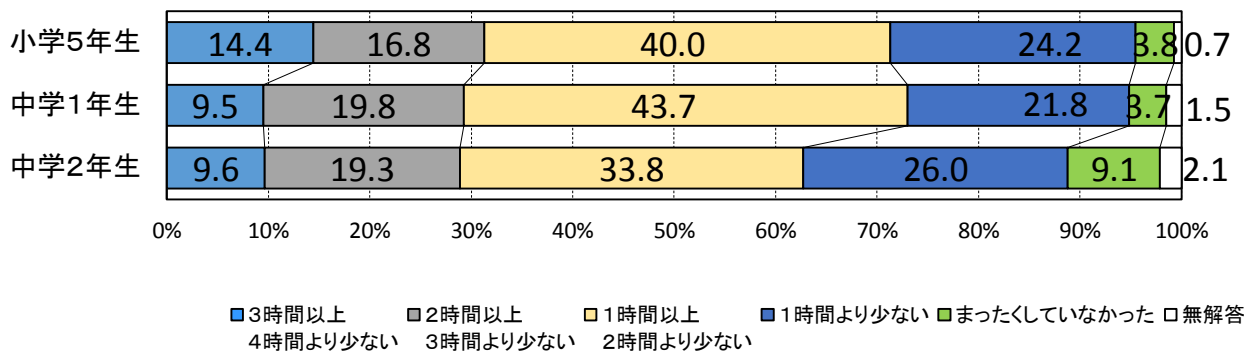
④【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学2年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



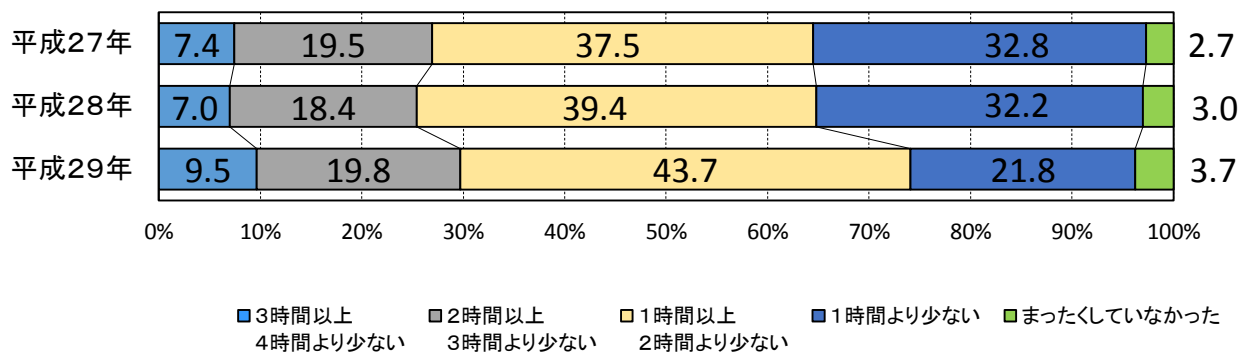
③④のグラフから、経年比較をすると、中学1年生、中学2年生ともに学年を追うごとに、ゲームをする時間が増える傾向が見られる。メディアコントロールの重要性を周知したい。

(14) 学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。

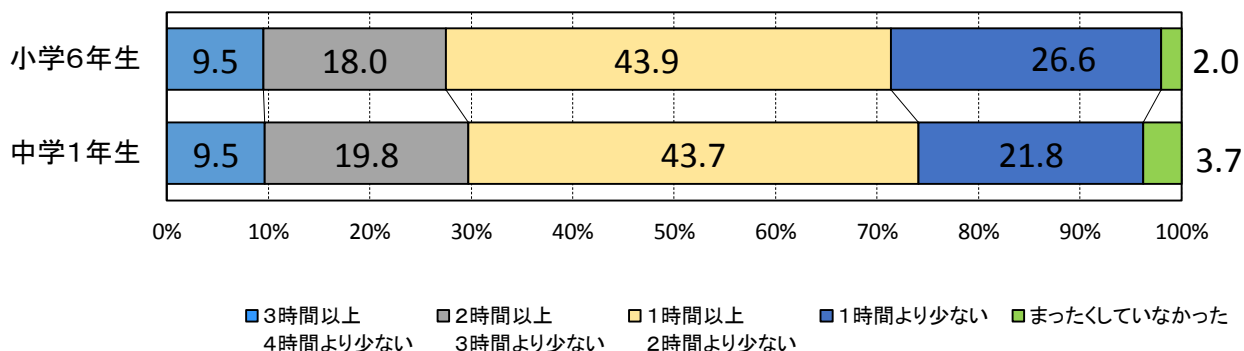
①【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度 各学年】



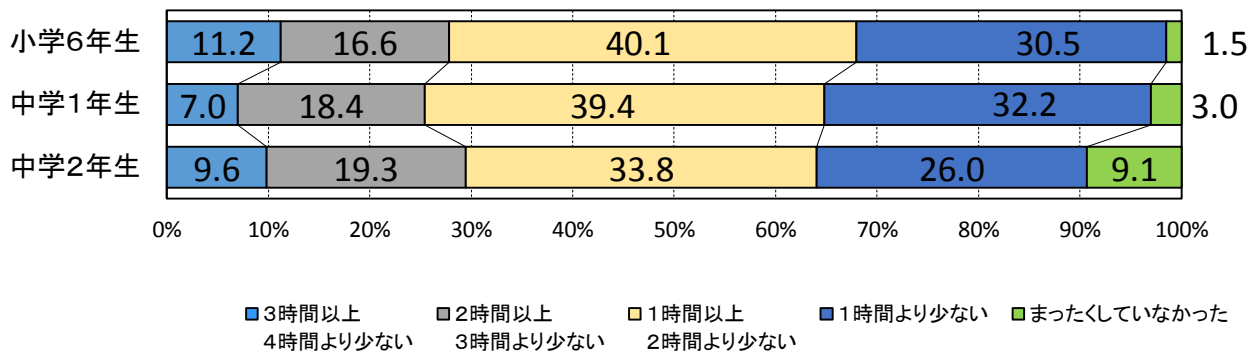
②【質問紙の回答選択肢の割合 中学1年生 過去の中学1年生と比較（異集団）】



③【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学1年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



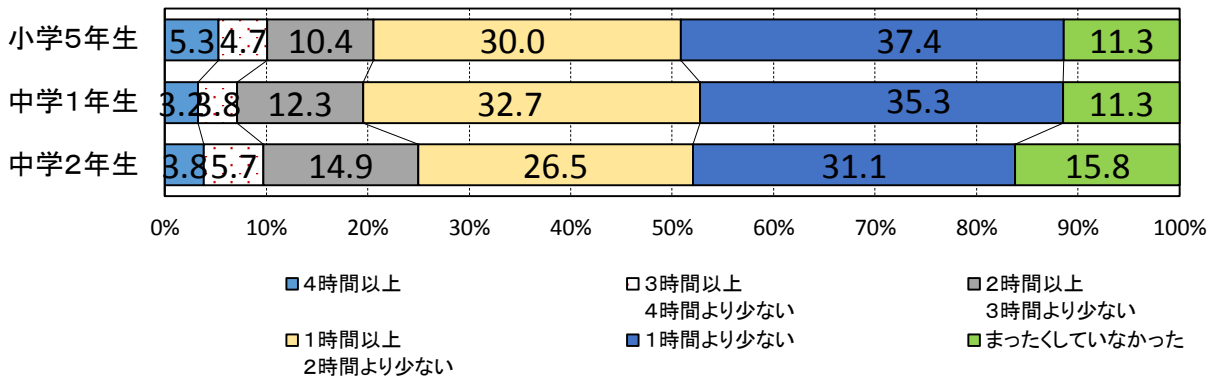
④【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学2年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



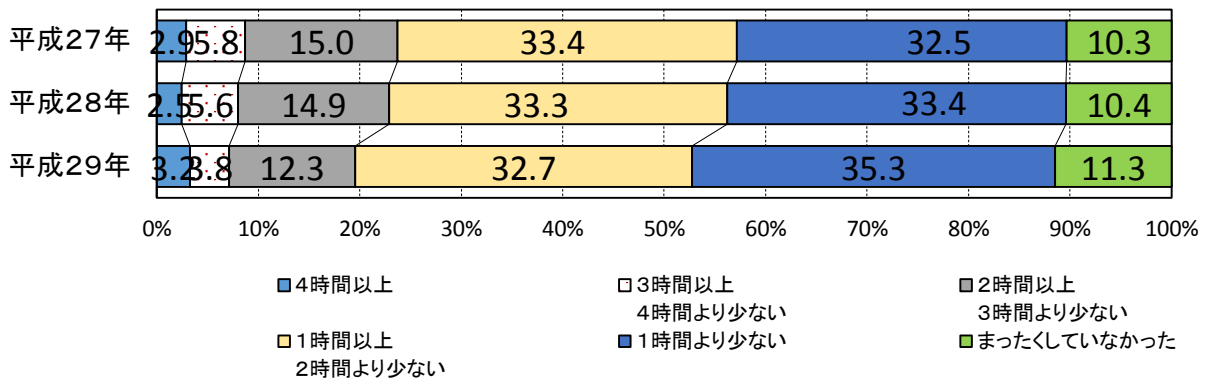
③のグラフから、中学1年生の平日に1時間以上学習した割合を経年変化で見ると、小学6年生の時に比べて増加していることが分かる。①のグラフから今回受検した小学5年生と中学1年生、中学2年生を比較すると、中学2年生が最も学習時間が短くなっている。中学校での学習時間をいかに延ばしていくかが課題である。

(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。

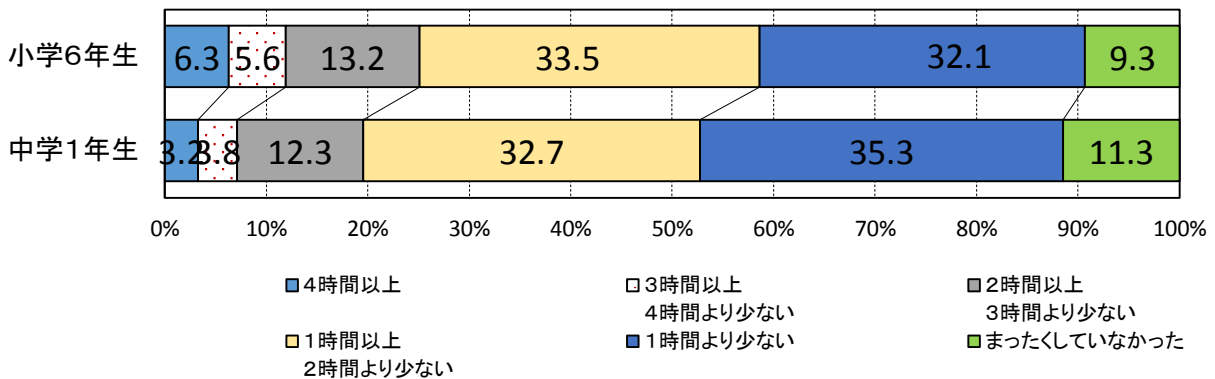
①【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度 各学年】



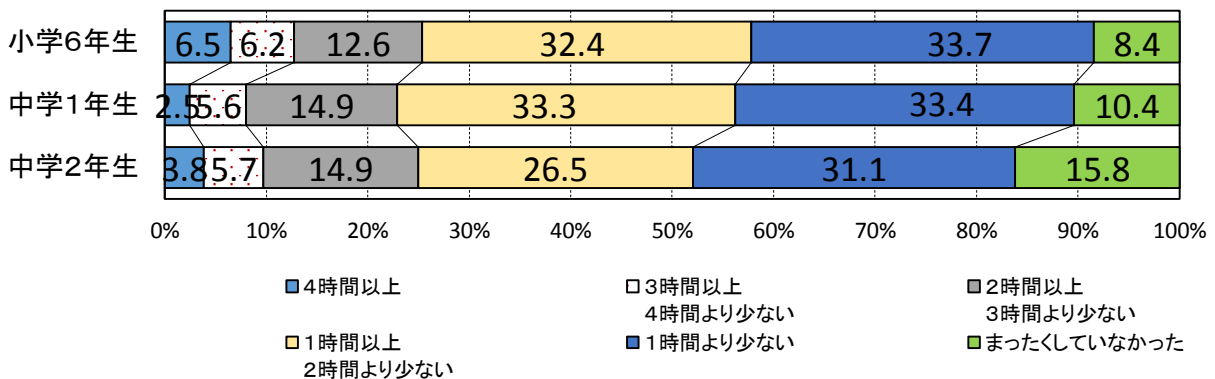
②【質問紙の回答選択肢の割合 中学1年生 過去の中学1年生と比較（異集団）】



③【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学1年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



④【質問紙の回答選択肢の割合 平成29年度中学2年生 経年変化を過去の同一集団で比較】



土曜日や日曜日など学校が休みの日は全体的に平日よりも学習時間が短くなる傾向が見られる。③④のグラフから、中学1年生、2年生ともに経年変化で見ると、段々と学習時間が短くなっている。部活動などで忙しくなることが考えられるが、平日同様、休日の学習時間の確保が課題である。中学1年生は、過去3年間の同学年の中で1時間以上学習した割合が最も低く、学習時間が短くなっている。





## 4 倉敷市の学力・学習状況の特徴

※目標値とは、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を問題作成業者が示した値。

# (1) 小学3年生～小学5年生 教科概要, 誤答分析シート(国語・算数)

小学3年生

国語

教科概要

倉敷市教育委員会

平成29年度

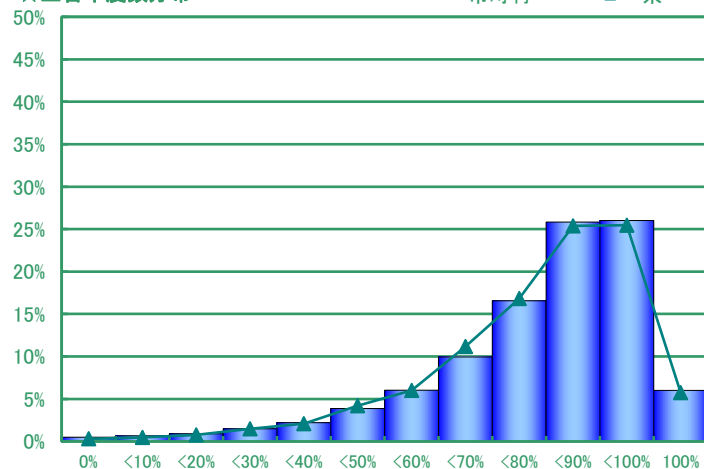
## ★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	73.0	77.2	82.0	77.5
県		77.1	82.0	76.7
全国		80.3	84.0	81.8

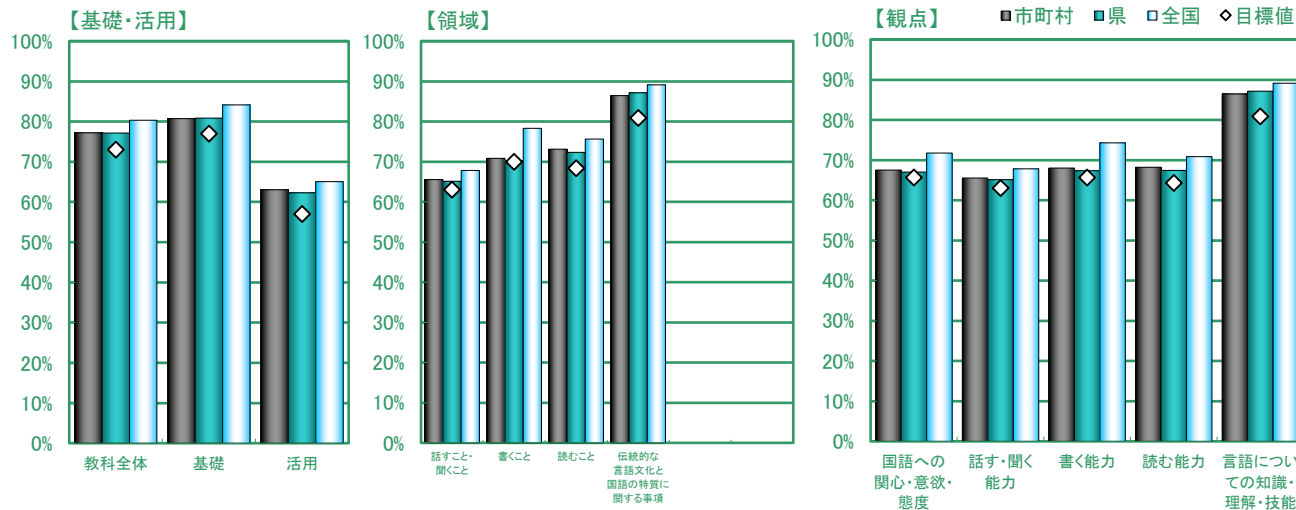
## ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	73.0	77.2	77.1	80.3
	基礎	77.0	80.7	80.9	84.1
	活用	57.0	63.0	62.3	65.1
領域	話すこと・聞くこと	63.0	65.5	65.1	67.8
	書くこと	70.0	70.8	70.2	78.3
	読むこと	68.3	73.1	72.3	75.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.9	86.4	87.1	89.1
観点	国語への関心・意欲・態度	65.6	67.5	67.0	71.8
	話す・聞く能力	63.0	65.5	65.1	67.8
	書く能力	65.6	68.0	67.3	74.3
	読む能力	64.3	68.2	67.4	70.9
解答形式	言語についての知識・理解・技能	80.9	86.4	87.1	89.1
	選択	70.0	74.5	74.1	76.8
	短答	82.2	86.5	87.2	89.3
	記述	63.0	66.3	65.6	71.9

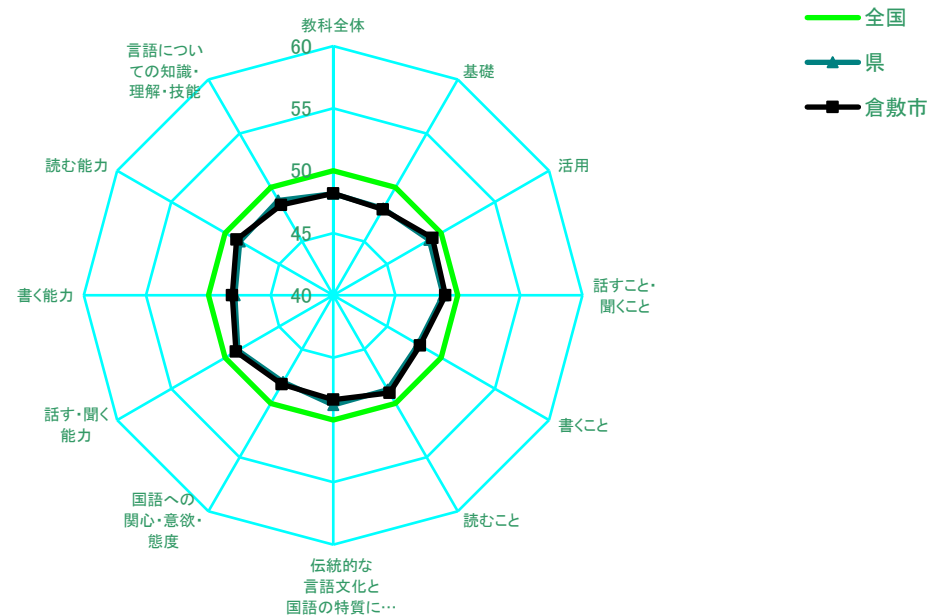
## ★正答率度数分布



## ★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

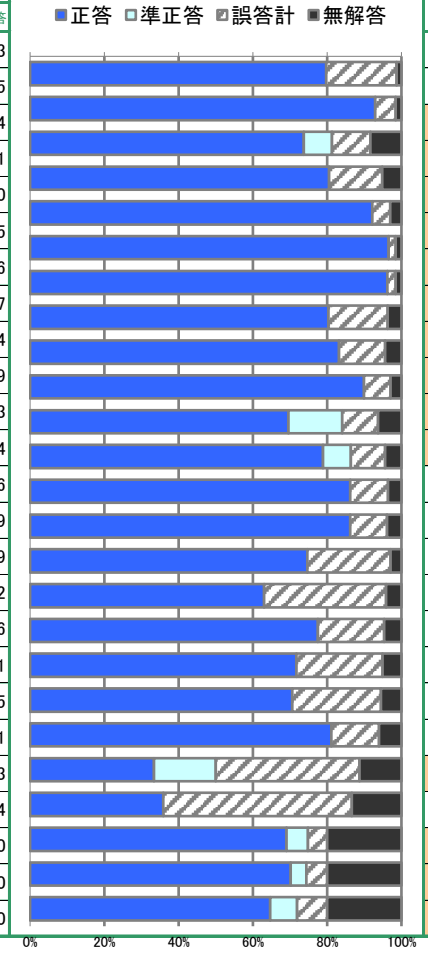


小学3年生  
国語  
212311010

誤答分析シート

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										誤型外誤答	無解答	選択肢問題の 出現パターン	
									1	2	3	4										
1	1	(1)		話の内よきを聞きとる	大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	79.7	85.0	▼	15.8	1.5	79.7	1.5						0.3	1.3	—		
2		(2)	話題に沿った質問をすることができる。		93.0	85.0	△	2.1	1.0	2.1	93.0							0.3	1.5			
3		(3)			話題に沿った質問をすることができる。	77.5	65.0	△	73.7	7.6	8.3								2.1		8.4	
4	2	(1)	①	かん字を読む	第2学年配当漢字を読むことができる。	80.5	85.0	≒	80.5									14.3	5.1	—		
5			②			92.1	85.0	△	92.1	0.9	0.5								3.4		3.0	
6			③			96.6	90.0	△	96.6												1.9	1.5
7			④			96.2	90.0	△	96.2												2.3	1.6
8		(2)	①	かん字を書く	第2学年配当漢字を書くことができる。	80.4	80.0	≒	80.4										15.9	3.7	—	
9			②			83.2	80.0	≒	83.2	7.0	1.0								4.5	4.4		
10			③			89.9	85.0	≒	89.9											7.2		2.9
11			④			76.8	70.0	△	69.5	14.6										9.6		6.3
12		3	(1)		ことばの学しゅう	片仮名を正しく使い分けすることができる。	82.7	75.0	△	78.9	3.0	4.5							9.2	4.4	—	
13			①	漢字の書き順がわかる。		86.2	75.0	△	86.2	2.4	5.4	1.4							0.9	3.6		
14			②			漢字の書き順がわかる。	86.3	75.0	△	2.0	86.3	4.8	1.9							1.2	3.9	—
15	4	(1)		ものがたりの内よきを読みとる	場面の様子を読み取ることができる。	74.7	75.0	≒	74.7	12.0	1.1	0.9						8.3	2.9			
16		(2)			目的や必要に応じて、登場人物の気持ちと場面の様子を読み取ることができる。	63.0	60.0	≒	5.9	6.4	63.0	20.0						0.5	4.2			
17		(3)				目的や必要に応じて、登場人物の気持ちと場面の様子を読み取ることができる。	77.5	65.0	△	2.4	8.0	6.8	77.5						0.6	4.6		
18	5	(1)		せつ明文の内よきを読みとる	事柄の順序などを考えながら、内容を読み取ることができる。	71.8	70.0	≒	12.2	71.8	7.9	2.7						0.4	5.1	—		
19		(2)				70.6	65.0	△	8.1	9.5	5.8	70.6						0.5	5.5			
20		(3)					81.1	75.0	△	81.1	2.9	5.5	3.8						0.6		6.1	
21	6	(1)		おりがみのおりかたをせつ明する	与えられた情報を読み取り、折り紙の折り方を正確に伝える説明をすることができる。	41.7	40.0	≒	33.3	3.5	13.1							38.7	11.3	—		
22		(2)			与えられた情報を読み取り、聞いている人に分かりやすい説明をする工夫が理解できる。	35.9	40.0	≒	19.8	3.9	35.9	26.8							0.3		13.4	
23	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	71.9	70.0	≒	69.1	5.7								5.2	20.0	—		
24					経験・想像したことの中から書くことを決め、文章を書くことができる。	72.3	70.0	≒	70.1	4.3									5.6		20.0	
25						経験・想像したことの中から書くことを決め、自分の考えを明確に書くことができる。	68.3	70.0	≒	64.6	7.3								8.1		20.0	



凡例⇒ 99.9 正答 99.9 準正答 99.9 誤答 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

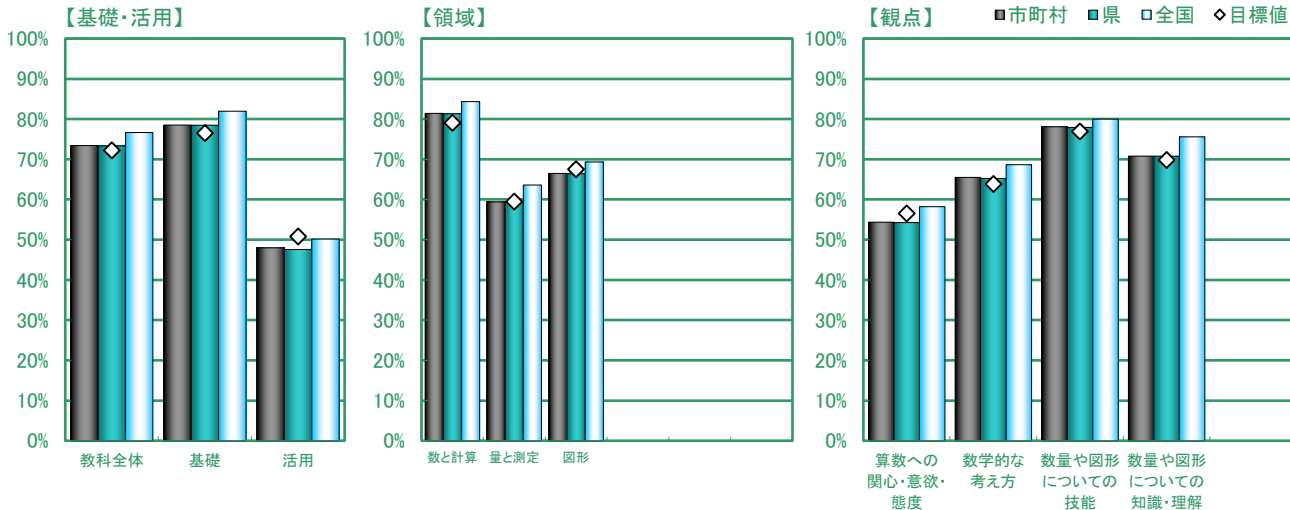
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	72.2	73.4	77.8	70.6
県		73.3	77.8	69.7
全国		76.7	80.6	76.2

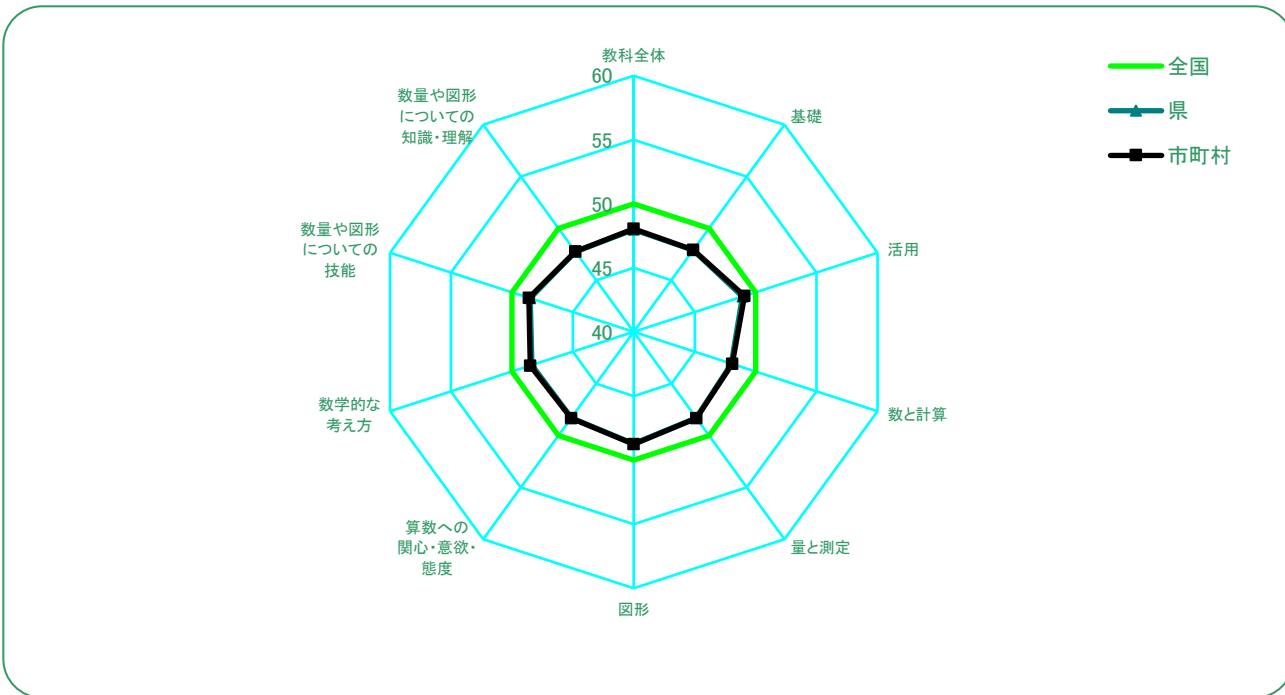
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	72.2	73.4	73.3	76.7
	基礎	76.5	78.5	78.5	82.0
	活用	50.8	48.0	47.6	50.2
領域	数と計算	79.0	81.4	81.3	84.3
	量と測定	59.4	59.4	59.3	63.6
	図形	67.5	66.5	66.4	69.3
観点	算数への関心・意欲・態度	56.5	54.4	54.3	58.2
	数学的な考え方	63.9	65.5	65.2	68.6
	数量や図形についての技能	76.9	78.1	77.9	80.0
	数量や図形についての知識・理解	69.8	70.8	70.8	75.6
解答形式	選択	68.0	68.7	68.5	72.8
	短答	80.7	83.5	83.5	85.8
	記述	30.0	17.0	17.0	18.2

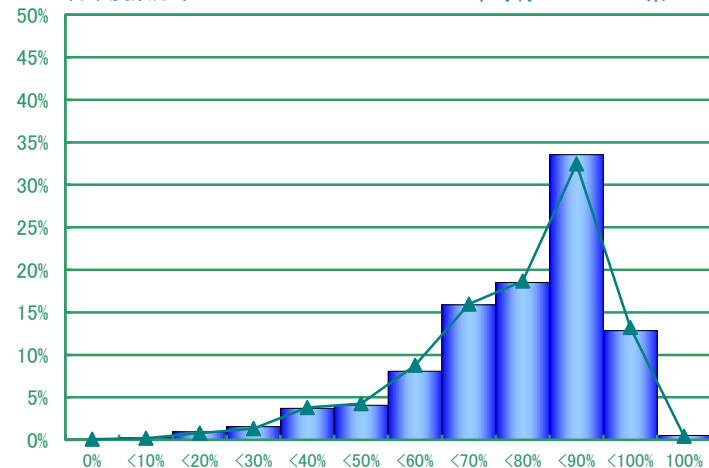
★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



★正答率度数分布



小学3年生  
算数  
212331010

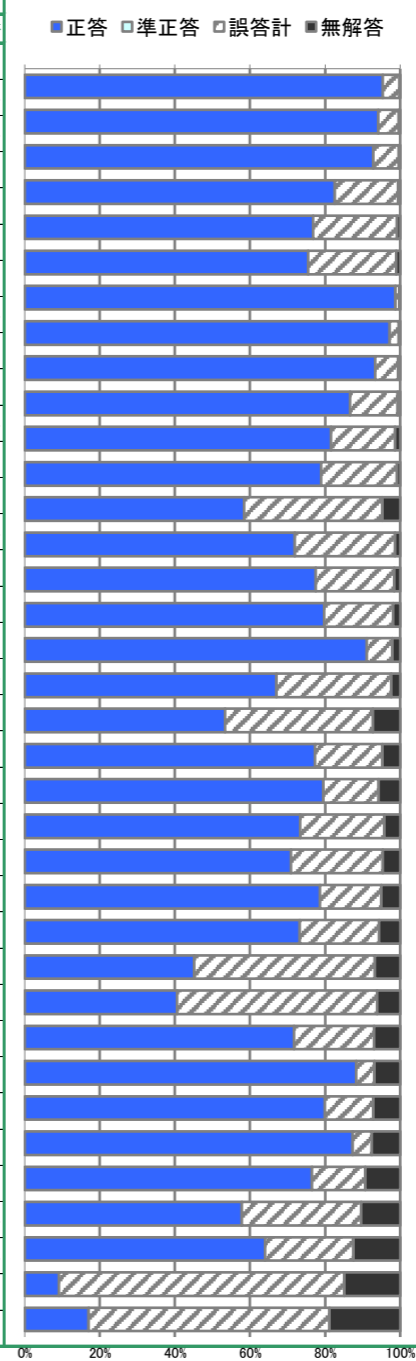
誤答分析シート

倉敷市教育委員会

平成29年度

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										誤答内訳	無解答	選択肢問題の 出現パターン
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1	1		(1)	計算のふくしゅう	1けた+1けた=2けた(繰り上がり1回)の計算ができる。	95.4	90.0	△	95.4								4.5	0.1	—		
2			(2)		2けた-1けた=2けた(繰り下がりなし)の計算ができる。	94.2	90.0	≒	94.2									5.4	0.4	—	
3			(3)		1けた+2けた=2けた(繰り上がりあり)の計算ができる。	92.8	90.0	≒	92.8										6.8	0.4	—
4			(4)		2けた+2けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	82.5	85.0	≒	82.5										16.9	0.6	—
5			(5)		2けた-2けた=2けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	76.8	80.0	≒	76.8										22.3	0.8	—
6			(6)		3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	75.4	75.0	≒	75.4	6.9									16.5	1.1	—
7	2		(1)	かけ算	4の段の九九ができる。	98.7	90.0	△	98.7								1.0	0.3	—		
8			(2)		9の段の九九ができる。	97.2	90.0	△	97.2									2.4	0.4	—	
9			(3)		7の段の九九ができる。	93.4	90.0	≒	93.4									6.1	0.6	—	
10	3		(1)	10000までの数・分数	位取り記数法を理解し、1000と100と1の個数から、その数を表すことができる。	86.6	85.0	≒	4.9	4.1	86.6	1.8					1.8	0.7	—		
11			(2)		位取りの表を使って、ある位の数字を表すことができる(807の十の位の数字)。	81.6	80.0	≒	4.1	81.6	3.2	3.6						6.2	1.4	—	
12	4			10000までの数・分数	数直線上に示された数を読み取ることができる。	78.9	80.0	≒	11.3	5.1	78.9	1.0					2.9	0.9	—		
13	5			10000までの数・分数	数の大小と不等号の意味を理解している。	58.5	65.0	▼	58.5								36.8	4.7	—		
14	6			10000までの数・分数	分数で大きさを表すことができる。	72.0	65.0	△	4.1	72.0	1.7	17.1					3.7	1.4	—		
15	7		(1)	かけ算	文章問題(倍の問題)を、乗法九九を適用して解くことができる。	77.5	75.0	≒	3.8	7.3	6.9	77.5					3.0	1.6	—		
16			(2)		たし算・ひき算	文章問題(求小の場面)を、2けた-2けた=2けたの減法を適用して解くことができる。	79.8	80.0	≒	79.8	7.4	1.5	4.4						5.1	1.9	—
17	8			かけ算	文章問題を解くための乗法九九の立式ができる。	91.2	85.0	△	85.2	6.0	4.2						2.6	2.1	—		
18	9			かけ算	乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	67.1	65.0	≒	13.4	9.0	67.1	6.4					1.7	2.4	—		
19	10			たし算・ひき算	加法の結合法則を理解している。	53.3	50.0	≒	53.3	11.7							27.7	7.2	—		
20	11		(1)	たし算・ひき算	減法逆の減法の文章問題を表した図を理解している。	77.3	75.0	≒	77.3	6.4	8.7						2.8	4.7	—		
21			(2)		減法逆の減法の文章問題を、図を使って解くことができる。	79.5	75.0	≒	79.5									14.7	5.8	—	
22	12		(1)	時ごとと時間	ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。	73.3	75.0	≒	11.3	4.8	73.3	5.8					0.6	4.2	—		
23			(2)		時間の単位の関係を理解し、分を時間と分に直すことができる。	70.9	60.0	△	5.7	5.2	70.9	12.9							0.7	4.6	—
24	13			長さ・かさ	ものさしの目盛りを読み取ることができる。	78.7	75.0	≒	6.5	6.6	78.7	2.2					0.9	5.0	—		
25	14			長さ・かさ	長さも減法の計算ができることを理解し、長さの差を求めることができる。	73.3	65.0	△	6.7	73.3	9.2	4.3					0.9	5.7	—		
26	15		(1)	長さ・かさ	身近にあるもののかさを推察して、適切な単位を選ぶことができる。	45.1	50.0	≒	45.1	12.2	27.1	8.2					0.6	6.8	接近		
27			(2)		長さの単位の関係を理解し、大小を判断することができる。	40.5	55.0	▼	9.7	23.6	19.3	40.5						0.7	6.2	接近・分散	
28			(3)		1L=10dLであることを理解し、リットルまですに入った水のかさを、LとdLで表すことができる。	71.7	70.0	≒	71.7	12.1	4.1	4.5						0.6	7.0	—	
29	16		(1)	三角形と四角形	長方形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	88.2	80.0	△	1.4	88.2	1.6	1.6					0.3	6.9	—		
30			(2)		直角三角形の特徴を理解し、他の図形から弁別できる。	79.9	80.0	≒	79.9	3.4	7.4	1.8						0.4	7.2	—	
31	17			三角形と四角形	方眼に正方形をかくことができる。	87.4	85.0	≒	87.4								5.1	7.5	—		
32	18		(1)	はこの形	直方体の辺の数を理解している。	76.5	70.0	△	76.5								14.3	9.3	—		
33			(2)		直方体を作るときに必要な面の形と数を理解している。	57.8	60.0	≒	9.7	57.8	11.8	5.5						4.8	10.4	—	
34	19		(1)	時ごとと時間	与えられた条件を読み取り、示された時刻にいた場所を特定することができる。	64.0	55.0	△	6.2	64.0	16.4						1.0	12.4	—		
35			(2)		はこの形	与えられた条件を読み取り、立方体の辺の長さや数を考えて問題を解くことができる。	9.1	30.0	▼	32.1	25.7	16.9	9.1					1.3	14.8	逆転・分散	
36			(3)		時ごとと時間	2つの時刻の間の時間を比べて、どちらの時間が長いかを説明することができる。	17.0	30.0	▼	17.0	41.2							23.0	18.8	—	



凡例⇒ 99.9 99.9 99.9 99.9  
正答 準正答 誤答 最頻出現

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

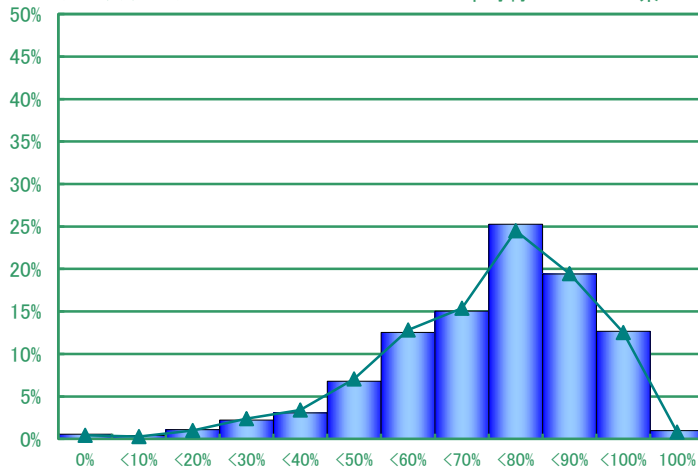
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	67.2	70.0	74.1	70.7
県		69.8	72.2	69.9
全国		71.1	74.1	72.0

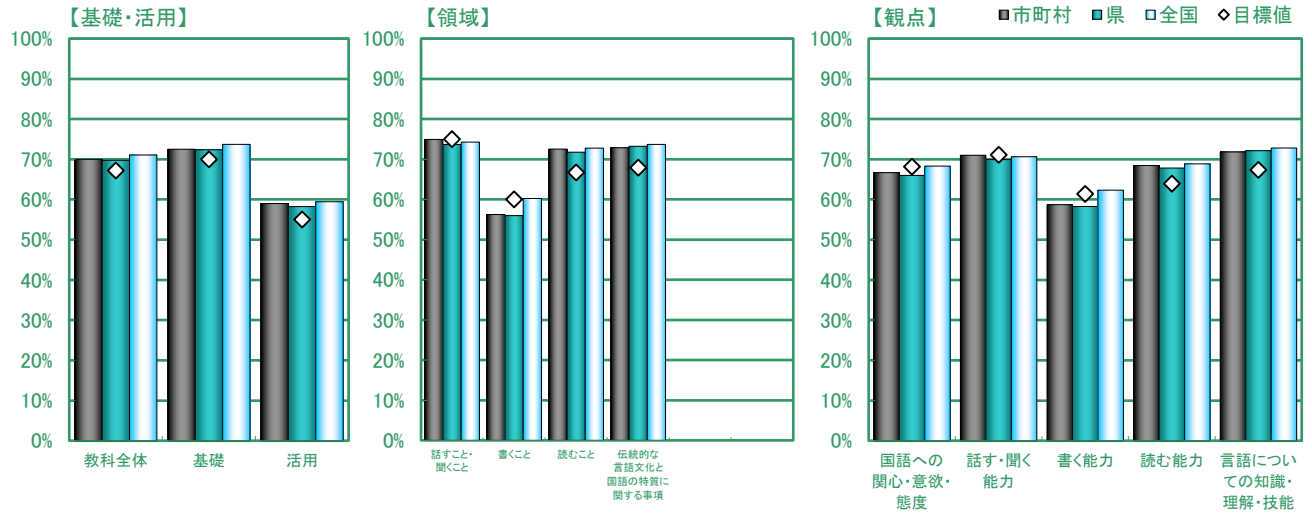
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	67.2	70.0	69.8	71.1
	基礎	70.0	72.5	72.4	73.7
	活用	55.0	59.0	58.2	59.4
領域	話すこと・聞くこと	75.0	74.9	73.7	74.3
	書くこと	60.0	56.2	55.9	60.2
	読むこと	66.7	72.5	71.7	72.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.9	72.8	73.2	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度	68.1	66.7	66.0	68.3
	話す・聞く能力	71.1	71.0	69.9	70.6
	書く能力	61.4	58.7	58.3	62.3
	読む能力	63.9	68.5	67.8	68.9
解答形式	言語についての知識・理解・技能	67.4	71.8	72.1	72.8
	選択	63.8	66.1	65.3	66.3
	短答	76.3	83.2	84.2	84.0
	記述	62.5	60.8	60.2	64.1

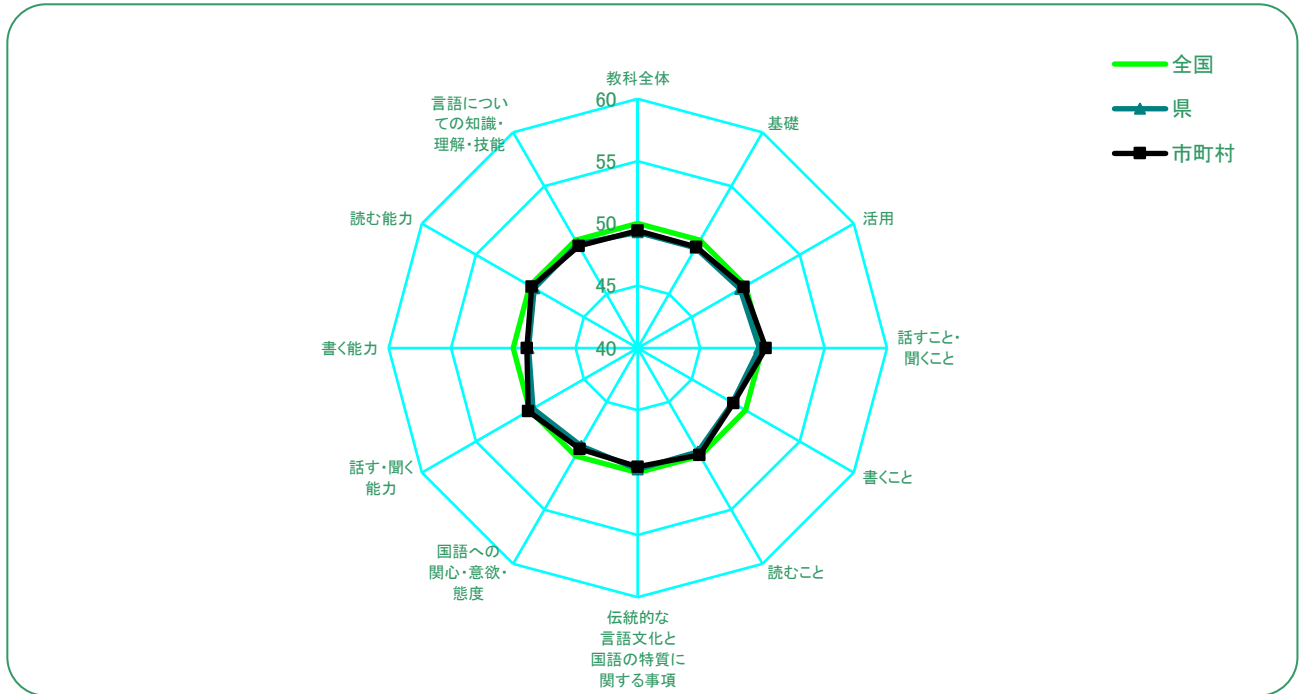
★正答率度数分布



★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較 (各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

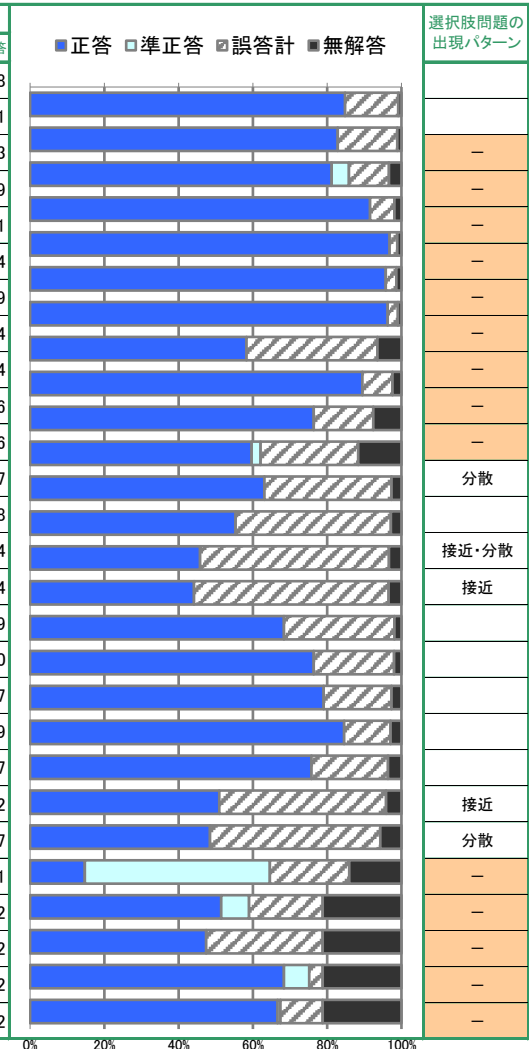


小学4年生  
国語  
212411010

誤答分析シート

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率						類型外誤答	無解答	選択肢問題の 出現パターン		
									1	2	3	4	5	6					
1	1		(1)	話し合いの内ようを聞き取る	話し方の工夫に注意して聞き取ることができる。	84.8	85.0	≒	84.8	9.9	2.5	1.7				0.2	0.8	—	
2			(2)		大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	82.8	85.0	≒	2.1	2.8	82.8	11.0				0.2	1.1		
3			(3)		話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	83.5	75.0	△	81.2	4.6						10.8	3.3		
4	2	(1)	①	漢字を読む	第3学年配当漢字を読むことができる。	91.5	80.0	△	91.5							6.6	1.9	—	
5						②	96.8	85.0	△	96.8						2.1	1.1		
6						③	95.8	85.0	△	95.8						2.8	1.4		
7						④	96.3	85.0	△	96.3	1.6					1.2	0.9		
8		(2)	①	漢字を書く	第3学年配当漢字を書くことができる。	58.3	50.0	△	58.3	3.2	24.6				7.5	6.4	—		
9						②	89.5	80.0	△	89.5					8.2	2.4			
10						③	76.4	80.0	≒	76.4					16.0	7.6			
11						④	60.9	65.0	≒	59.6	2.5				26.3	11.6			
12	3		①	言葉の学習	文の構成(主語と述語)について理解している。	63.1	60.0	≒	13.4	63.1	2.4	17.9			0.6	2.7	分散		
13					②	ローマ字のつづりを理解している。	55.4	55.0	≒	6.2	17.2	55.4	12.3			6.1		2.8	
14					③	①	国語辞典の使い方を理解している。	45.8	50.0	≒	22.7	15.6	12.1	45.8				0.4	3.4
15						②	44.2	40.0	≒	40.4	6.8	44.2	4.8			0.4		3.4	
16	4		(1)	物語の内ようを読み取る	登場人物の様子を読み取ることができる。	68.3	70.0	≒	13.3	11.6	68.3	4.8			0.1	1.9	—		
17					(2)	登場人物の気持ちをを読み取ることができる。	76.4	65.0	△	6.9	76.4	11.2	3.3			0.2		2.0	
18					(3)	目的や必要に応じて、場面の様子や登場人物の気持ちをを読み取ることができる。	79.1	65.0	△	7.9	6.7	3.5	79.1			0.2		2.7	
19	5		(1)	せつ明文の内ようを読み取る	文章の内容を的確に読み取ることができる。	84.6	85.0	≒	8.1	84.6	2.6	1.6			0.2	2.9	—		
20					(2)	段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	75.8	65.0	△	3.2	1.9	10.2	4.4	75.8	0.9			0.1	3.7
21					(3)	文章の内容を的確に読み取ることができる。	51.0	50.0	≒	51.0	10.7	4.6	28.9			0.7		4.2	
22	6		(1)	調べたことを発表する	与えられた情報を読み取り、発表のテーマと発表の仕方の工夫を理解することができる。	48.5	55.0	▼	6.1	21.8	17.6	48.5			0.3	5.7	分散		
23					(2)	与えられた情報を読み取り、聞き手に具体的な情報を伝える説明をすることができる。	39.7	40.0	≒	14.8	25.3	24.5			21.4	14.1			
24	7			作文	指定された長さで文章を書くことができる。	55.2	60.0	≒	51.5	7.5					19.8	21.2	—		
25					2段落構成で文章を書くことができる。	47.4	55.0	▼	40.7	6.7	7.1				24.2	21.2			
26					書こうとすることの中心を明確にして書くことができる。	71.8	75.0	≒	68.3	6.9					3.6	21.2			
27					書こうとすることの具体例を挙げて書くことができる。	67.1	70.0	≒	66.7	0.8					11.4	21.2			



凡例⇒ 99.9 正答 99.9 準正答 99.9 誤答 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

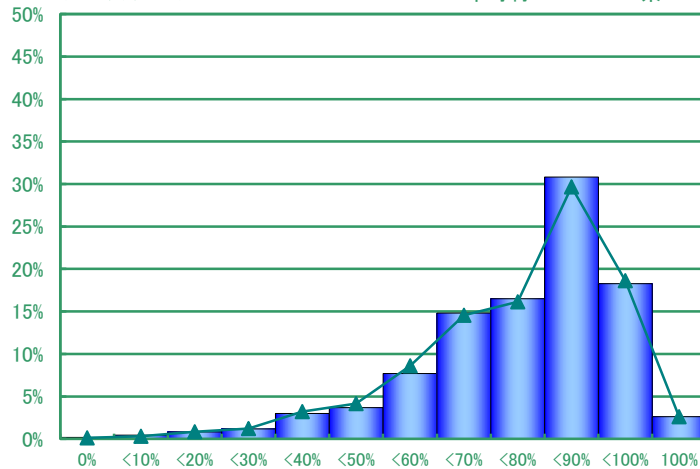
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	73.3	75.5	80.6	72.1
県		75.1	80.6	71.1
全国		77.4	83.3	74.9

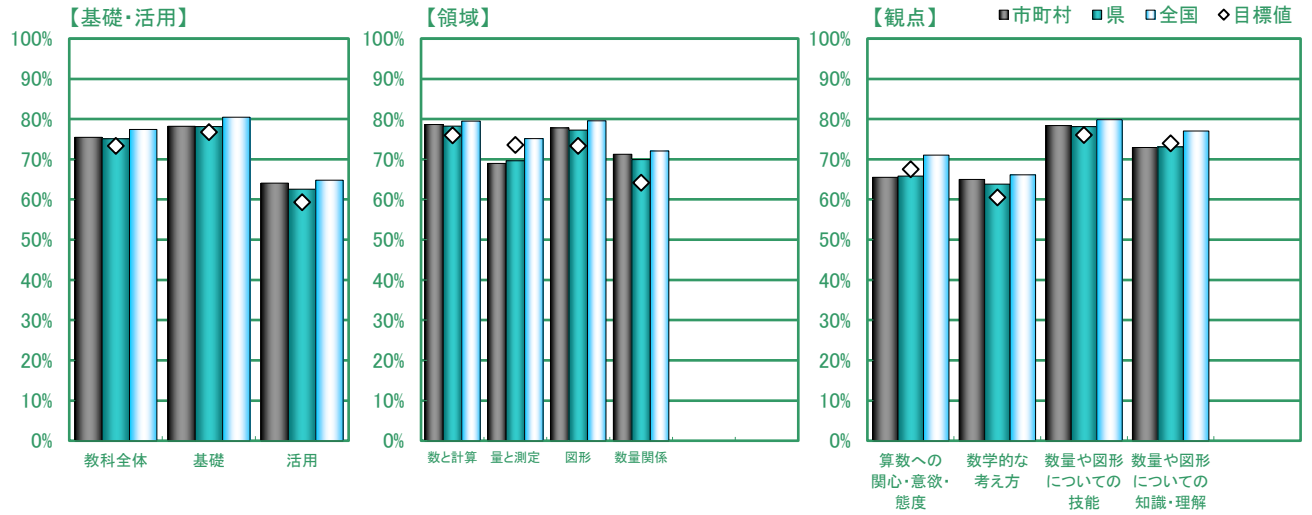
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	73.3	75.5	75.1	77.4
	基礎	76.7	78.2	78.1	80.5
	活用	59.3	64.1	62.6	64.8
領域	数と計算	76.0	78.6	78.2	79.5
	量と測定	73.6	69.0	69.6	75.1
	図形	73.3	77.8	77.3	79.6
	数量関係	64.2	71.2	69.9	72.1
観点	算数への関心・意欲・態度	67.5	65.5	65.8	71.0
	数学的な考え方	60.6	65.0	63.8	66.1
	数量や図形についての技能	76.1	78.4	78.1	79.8
	数量や図形についての知識・理解	74.0	72.9	73.1	77.0
解答形式	選択	71.9	72.1	72.0	75.6
	短答	76.9	81.7	81.2	82.0
	記述	57.5	55.7	54.2	57.0

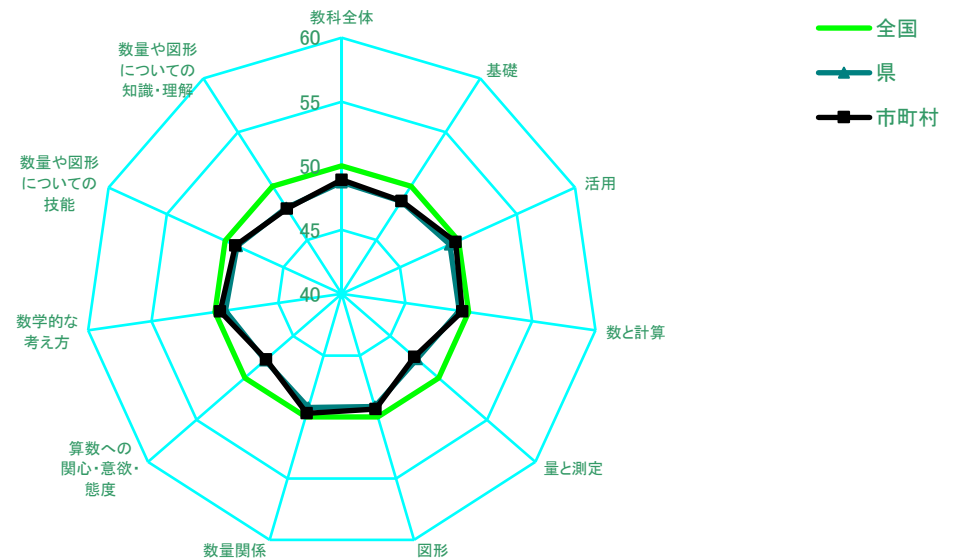
★正答率度数分布



★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリー間の比較 (各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)





小学4年生  
算数  
212431010

誤答分析シート

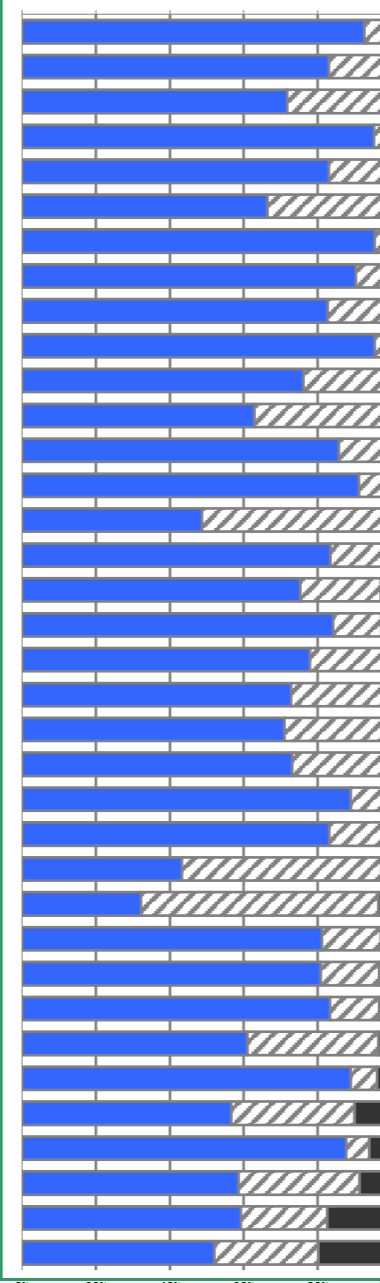
倉敷市教育委員会

平成29年度

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン	
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		無解答
1		(1)		計算のふく習	2けた+2けた=3けた(波及的繰り上がりあり)の計算ができる。	92.6	90.0	≒	92.6									7.1	0.2	-
2		(2)		たし算・ひき算	4けた+3けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	83.1	80.0	≒	83.1									16.3	0.6	-
3		(3)			4けた-4けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	71.7	70.0	≒	71.7									27.2	1.0	-
4		(4)		計算のふく習	8の段の九九ができる。	95.3	90.0	△	95.3									4.0	0.7	-
5	1	(5)		かけ算	2けた×1けた=3けたの計算ができる。	83.0	85.0	≒	83.0									15.7	1.3	-
6		(6)			2けた×2けた=4けたの計算ができる。	66.5	70.0	≒	66.5									31.7	1.8	-
7		(7)		わり算	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	95.5	90.0	△	95.5									3.3	1.3	-
8		(8)			2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	90.3	85.0	△	90.3									8.0	1.7	-
9		(9)		大きい数・小数・分数	整数-小数第一位(純小数)の計算ができる。	82.7	75.0	△	82.7	5.2								10.1	1.9	-
10		(10)			同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	95.5	85.0	△	95.5									3.4	1.1	-
11		2	(1)		大きい数・小数・分数	位取り記数法を理解し、100万、10万、1000、1の個数から、その数を表すことができる。	76.2	85.0	▼	8.1	76.2	11.9	2.5					0.2	1.0	-
12			(2)			数の相対的な大きさについて理解している。	62.9	60.0	≒	9.6	16.0	62.9	10.1						0.4	1.0
13		3	(1)		大きい数・小数・分数	小数のしくみを理解している。	85.8	80.0	△	1.8	85.8	2.5	8.3					0.6	1.0	-
14			(2)			数の相対的な大きさについて理解している。	91.2	90.0	≒	91.2	1.1	4.1	0.8						1.7	1.0
15	4			大きい数・小数・分数	分数の数直線上での表し方について理解している。	48.7	50.0	≒	48.7	34.1	2.5	12.4					0.6	1.7	接近	
16	5			大きい数・小数・分数	分子が1の分数が何個で1になるかを理解している。	83.5	80.0	≒	7.1	1.9	83.5	4.7					1.7	1.1	-	
17	6	(1)		わり算	文章問題を解くための除法の立式ができる。	75.3	70.0	△	75.3								21.8	2.8	-	
18		(2)			除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	84.2	75.0	△	84.2									13.0	2.8	-
19	7				口を使った式	77.9	70.0	△	9.6	5.9	4.3	77.9					0.3	2.0	-	
20	8	(1)		口を使った式	口を使った文章問題(乗法の場面)を表した図を理解している。	72.9	65.0	△	72.9	13.3	6.9	4.3					0.2	2.4	-	
21		(2)			口を使って、乗法の式に表すことができる。	71.1	65.0	△	6.6	7.3	71.1	12.2						0.4	2.4	-
22	9	(1)		時ごとと時間	ある時刻から一定時間が経過する前の時刻を求めることができる。	73.1	70.0	≒	9.2	73.1	11.3	3.7					0.3	2.3	-	
23		(2)			2つの時刻を比較して、その間の時間を求めることができる。	89.0	80.0	△	1.8	2.2	4.5	89.0						0.3	2.2	-
24		(3)			時間の単位の関係を理解し、分と秒で表された時間を秒に直すことができる。	83.1	80.0	≒	2.7	83.1	3.0	8.6						0.3	2.2	-
25	10	(1)		長さ・重さ	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	43.3	70.0	▼	3.1	46.7	4.1	43.3					0.2	2.6	逆転	
26		(2)			地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大小を比較できる。	32.2	60.0	▼	45.1	9.7	9.3	32.2						0.3	3.5	逆転
27	11	(1)		長さ・重さ	はかりの目盛りの読み方を理解している。	81.1	80.0	≒	4.9	81.1	5.2	5.7					0.2	2.9	-	
28		(2)			身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使うことができる。	80.8	75.0	△	80.8	5.9	4.3	5.6						0.2	3.3	-
29	12	(1)		円と球・三角形	円の直径について理解している。	83.4	75.0	△	83.4	4.6	1.1	7.5					0.2	3.3	-	
30		(2)			球の半径から、球が1つ入った箱の辺の長さを求めることができる。	61.0	60.0	≒	5.7	27.1	61.0	1.9						0.7	3.4	-
31	13			円と球・三角形	正三角形を作図することができる。	89.0	85.0	≒	89.0								7.1	3.9	-	
32	14			かけ算	400×7の計算のしかたを説明することができる。	56.7	50.0	△	56.7	4.9	11.4						17.1	9.9	-	
33	15			ぼうグラフと表	棒グラフを読み取り、3番目に多かった曜日を指摘することができる。	87.7	80.0	△	87.7								6.3	6.0	-	
34	16	(1)		ぼうグラフと表	棒グラフを読み取り、示された条件に適合するものを選ぶことができる。	58.6	50.0	△	58.6								32.8	8.6	-	
35		(2)			めもりの異なる2つの棒グラフを読み取り、指摘が間違っている理由を読み取った情報を使って説明することができる。	59.3	55.0	≒	51.8	7.5								23.3	17.4	-
36	17			わり算	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	52.1	60.0	▼	52.1	8.3	5.5						14.4	19.7	-	

■正答 □準正答 □誤答計 ■無解答



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

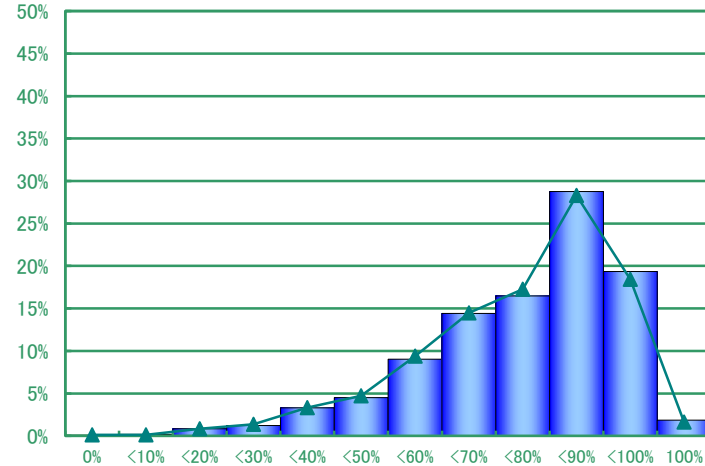
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	69.3	75.0	78.6	76.9
県		74.4	78.6	75.7
全国		76.2	80.4	79.3

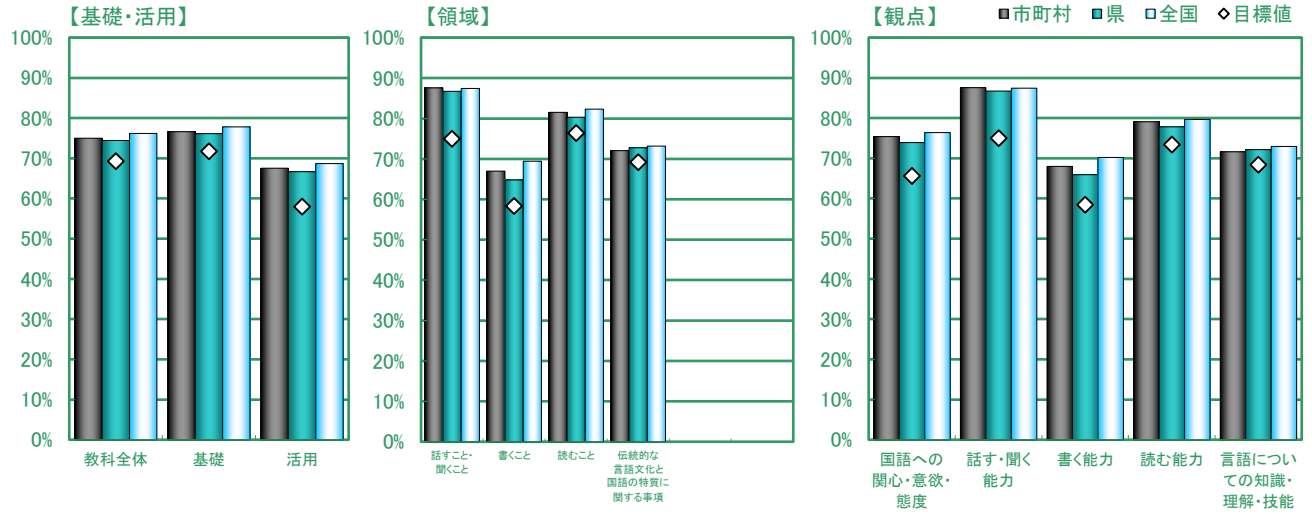
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	69.3	75.0	74.4	76.2
	基礎	71.7	76.6	76.1	77.8
	活用	58.0	67.5	66.7	68.7
領域	話すこと・聞くこと	75.0	87.6	86.7	87.4
	書くこと	58.3	67.0	64.8	69.4
	読むこと	76.4	81.5	80.3	82.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.2	72.0	72.8	73.2
観点	国語への関心・意欲・態度	65.6	75.4	73.9	76.4
	話す・聞く能力	75.0	87.6	86.7	87.4
	書く能力	58.5	68.0	65.9	70.2
	読む能力	73.4	79.1	77.8	79.7
解答形式	言語についての知識・理解・技能	68.4	71.6	72.1	72.9
	選択	71.1	74.6	73.9	76.2
	短答	74.4	81.0	82.0	80.8
	記述	58.3	67.8	65.6	70.1

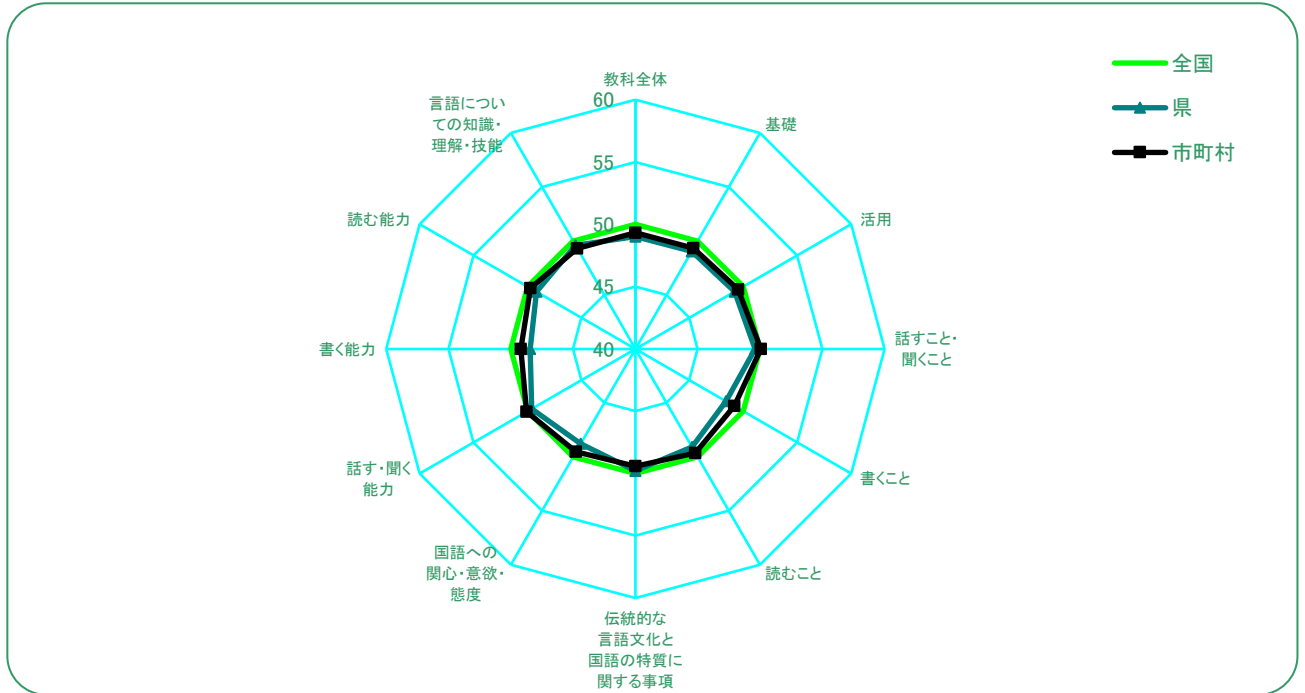
★正答率度数分布



★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリー間の比較 (各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)





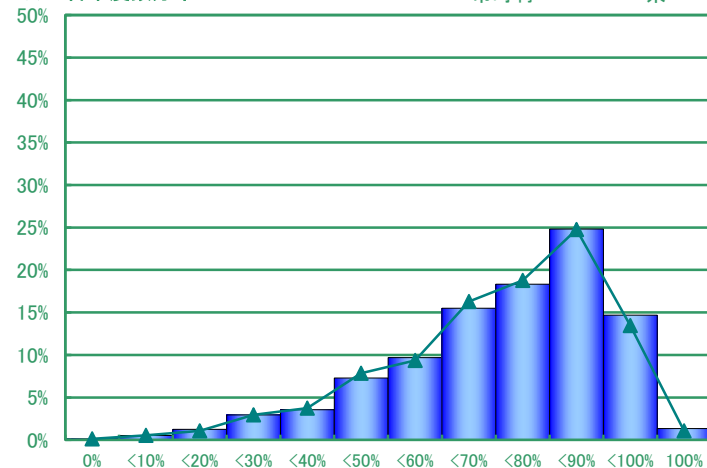
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	69.6	70.3	74.3	67.6
県		69.8	74.3	66.7
全国		72.5	77.1	71.3

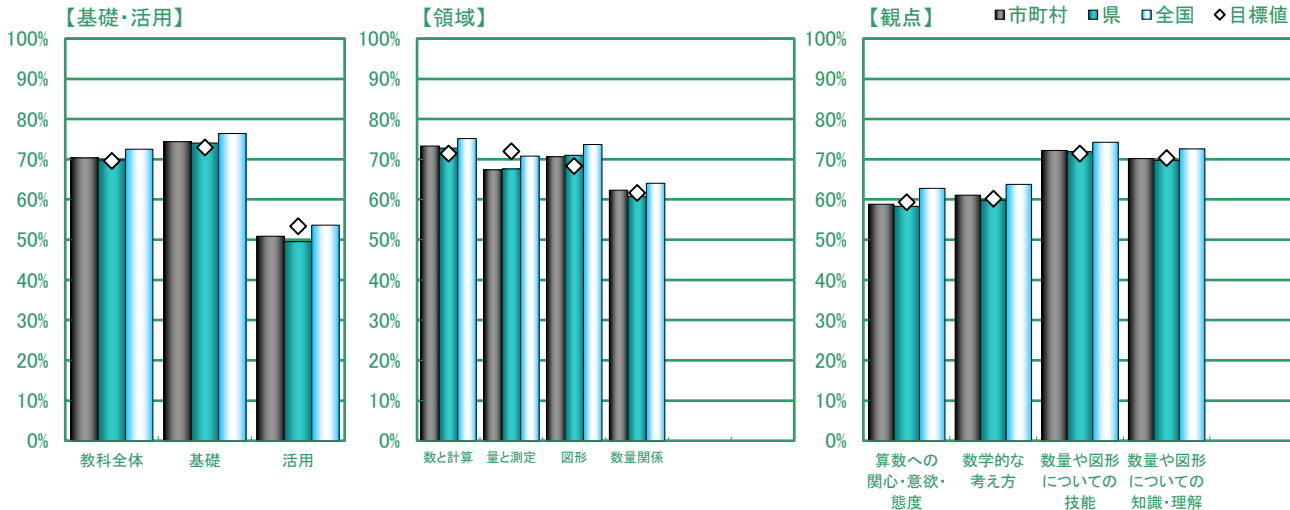
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	69.6	70.3	69.8	72.5
	基礎	72.9	74.4	74.0	76.4
	活用	53.3	50.9	49.5	53.6
領域	数と計算	71.4	73.3	72.8	75.2
	量と測定	72.0	67.4	67.6	70.8
	図形	68.3	70.6	71.0	73.7
	数量関係	61.7	62.3	60.8	64.0
観点	算数への関心・意欲・態度	59.3	58.8	58.3	62.8
	数学的な考え方	60.2	61.1	59.8	63.8
	数量や図形についての技能	71.4	72.2	71.9	74.2
	数量や図形についての知識・理解	70.3	70.2	69.8	72.6
解答形式	選択	69.1	68.1	67.7	71.0
	短答	73.8	76.7	76.3	78.0
	記述	40.0	38.4	36.5	40.6

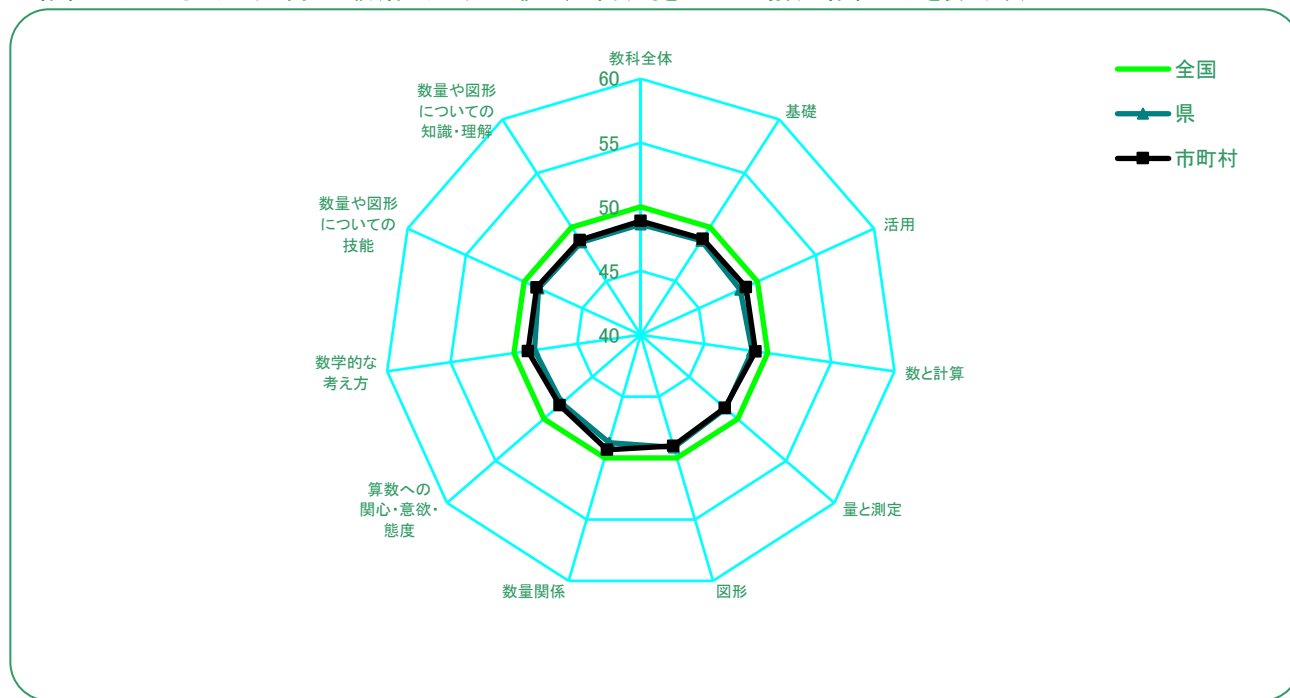
★正答率度数分布



★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリー間の比較 (各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



小学5年生  
算数  
212531010

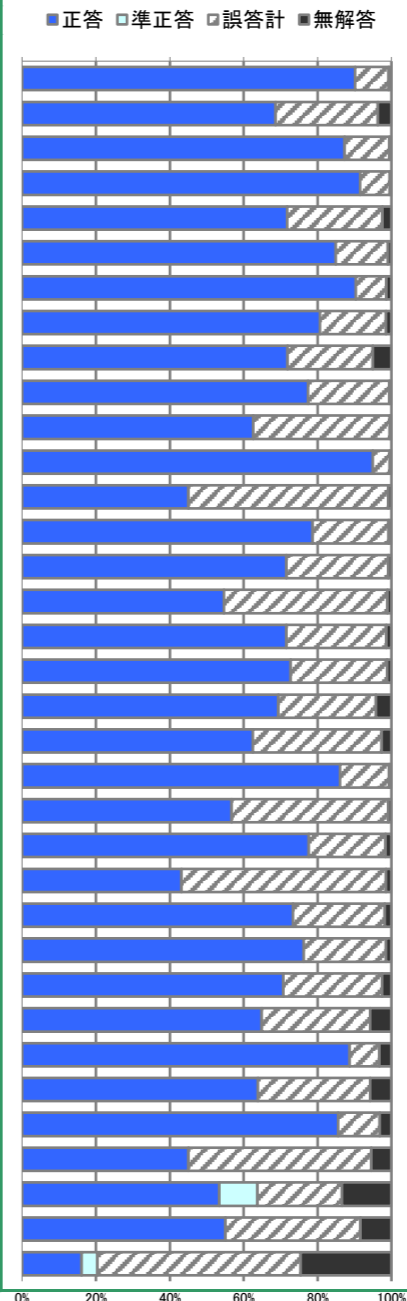
誤答分析シート

倉敷市教育委員会

平成29年度

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										無解答	選択肢問題の 出現パターン														
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1		(1)		計算のふく習	2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	90.1	90.0	≒	90.1													9.1	0.8	-										
2		(2)		わり算	3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	68.6	70.0	≒	68.6													27.7	3.7	-										
3		(3)		計算のふく習	整数+小数第一位の計算ができる。	87.3	80.0	△	87.3	8.1												4.0	0.6	-										
4		(4)		小数	小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	91.5	90.0	≒	89.2	2.3												8.0	0.5	-										
5	1	(5)		小数	小数第一位-小数第三位(差が純小数)の計算ができる。	71.8	70.0	≒	71.8													25.8	2.4	-										
6		(6)		分数	帯分数+真分数=帯分数(繰り上がりあり)の同分母分数の計算ができる。	84.9	75.0	△	84.9	5.7												8.4	0.9	-										
7		(7)		分数	帯分数-真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。	90.3	80.0	△	90.3													8.3	1.3	-										
8		(8)		小数	小数第一位×整数の計算ができる。	80.7	80.0	≒	80.7													17.9	1.4	-										
9		(9)		小数	小数第二位÷整数=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	71.9	65.0	△	71.9													23.0	5.1	-										
10	2	(1)		億と兆・がい数の表し方	位取りの表を使って、ある位の数字を表すことができる。	77.4	80.0	≒	1.9	4.8	77.4	13.4										2.0	0.5	-										
11		(2)		億と兆・がい数の表し方	数の相対的な大きさについて理解している。	62.6	70.0	▼	62.6	7.8	5.2	23.3										0.8	0.5	-										
12	3	(1)		小数	小数のしくみを理解している。	94.9	85.0	△	2.7	94.9	1.4	0.5										0.1	0.4	-										
13		(2)		小数	小数を用いた重さの単位換算ができる。	45.0	55.0	▼	39.7	9.7	45.0	4.6										0.1	0.9	接近										
14	4			分数	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	78.7	85.0	▼	7.8	7.3	5.1	78.7										0.5	0.7	-										
15	5			分数	真分数、帯分数、仮分数、整数を大小順に並べることができる。	71.5	70.0	≒	8.0	71.5	14.6	4.7										0.2	0.9	-										
16	6			億と兆・がい数の表し方	概数に対応する数の範囲を理解している。	54.6	55.0	≒	54.6	32.8	6.5	3.8										1.1	1.1	接近										
17	7	(1)		わり算	倍とわり算の文章問題を表した図を理解している。	71.6	70.0	≒	11.8	71.6	8.0	6.7										0.5	1.3	-										
18		(2)		わり算	図を使って、倍とわり算の文章問題に合った式を選ぶことができる。	72.7	70.0	≒	1.2	1.8	23.0	72.7										0.2	1.2	-										
19	8			小数	整数÷整数=小数第一位の式になる文章問題の答えを求めることができる。	69.4	65.0	≒	68.9	0.5												26.4	4.2	-										
20	9			計算のきまり・変わり方調べ	四則の混じった式の計算順序を理解している。	62.4	70.0	▼	62.4	8.1	15.5	11.2										0.1	2.7	-										
21	10	(1)		角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさの目盛りを読み取ることができる。	86.1	80.0	△	86.1	3.2	4.9	3.6										1.6	0.7	-										
22		(2)		角の大きさ	180°より大きい角の大きさの見当をつけることができる。	56.7	70.0	▼	4.9	5.5	31.6	56.7										0.3	0.9	-										
23	11	(1)		面積	正方形の面積を求めることができる。	77.6	90.0	▼	77.6													20.8	1.6	-										
24		(2)		面積	身近にあるものの面積を推算することができる。	43.1	50.0	▼	11.3	38.0	5.8	43.1										0.4	1.5	接近										
25	12			面積	複合図形で、面積を求める考え方や図から式がわかる。	73.3	70.0	≒	6.5	73.3	12.5	5.6										0.2	1.8	-										
26	13			いろいろな形	長方形の辺どうしの平行な関係がわかる。	76.3	70.0	△	1.6	9.9	76.3	10.7										0.0	1.4	-										
27	14			いろいろな形	立方体の展開図から垂直な面がわかる。	70.8	75.0	≒	70.8													26.7	2.5	-										
28	15			いろいろな形	ひし形の作図ができる。	64.9	60.0	≒	64.9													29.3	5.8	-										
29	16	(1)		計算のきまり・変わり方調べ	伴って変わる二つの数量の一方の値から、もう一方の値を求めることができる。	88.7	80.0	△	88.7													8.1	3.2	-										
30		(2)		計算のきまり・変わり方調べ	伴って変わる二つの数量の関係を式に表すことができる。	63.9	55.0	△	63.9	8.5	12.1											9.8	5.8	-										
31	17			折れ線グラフと表	二次元表の読み方を理解している。	85.6	80.0	△	4.0	85.6	2.3	4.8										0.1	3.2	-										
32	18	(1)		わり算	わり算の計算を工夫して求めている考えから、使っている計算のきまりがわかる。	45.0	45.0	≒	6.7	28.2	45.0	14.3										0.3	5.4	接近・分散										
33		(2)		小数	工夫して求めているわり算の計算の考えを、商が小数になるわり算に適用して、式で説明することができる。	58.6	50.0	△	53.4	10.4												22.8	13.4	-										
34	19	(1)		折れ線グラフと表	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを正しく読み取ることができる。	55.1	55.0	≒	55.1													36.6	8.4	-										
35		(2)		折れ線グラフと表	折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しい理由を説明することができる。	18.2	30.0	▼	16.1	4.3													55.1	24.5	-									



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

## (2)小学5年生 生活行動・学習活動調査 独自質問調査結果

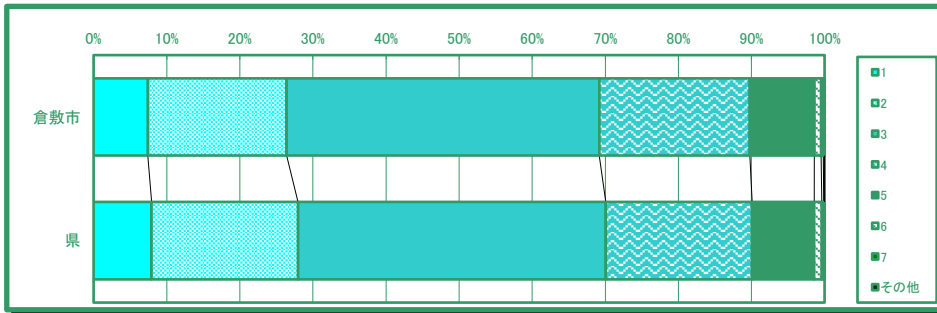
【岡山県学力・学習状況調査対応】

小学5年生

### 生活行動・学習活動調査

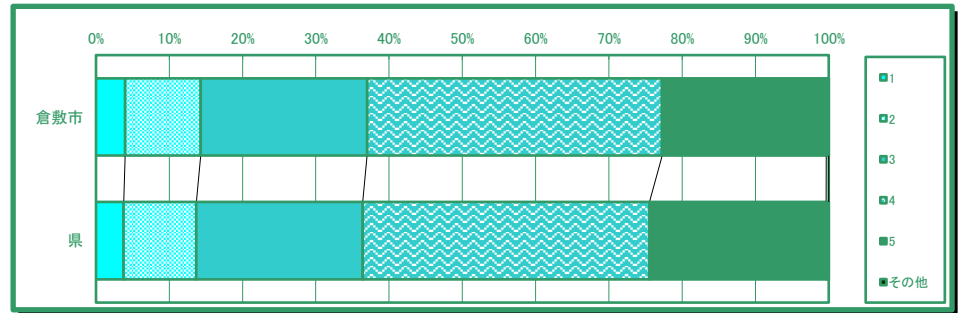
学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
倉敷市	7.4	19.0	42.8	20.6	8.8	0.9	0.3	0.2
県	7.9	20.0	42.1	20.0	8.5	1.0	0.3	0.1



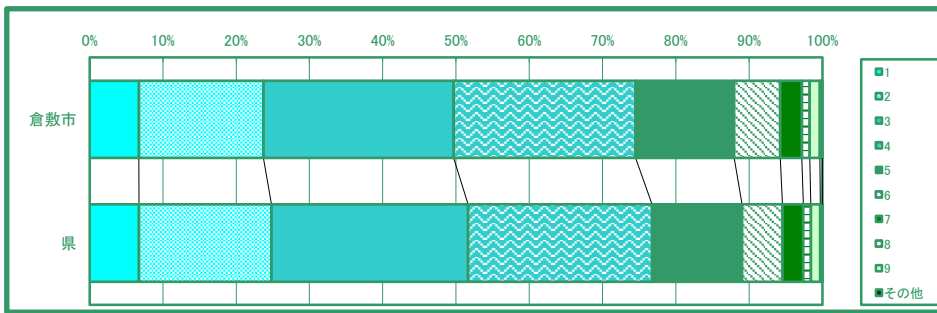
学校に行く日は、1日に何時間ぐらい睡眠をとりますか

	1 6時間より短い	2 6時間～7時間より短い	3 7時間～8時間より短い	4 8時間～9時間より短い	5 9時間以上	その他
倉敷市	4.0	10.3	22.7	40.3	22.4	0.3
県	3.8	9.9	22.7	39.1	24.1	0.4



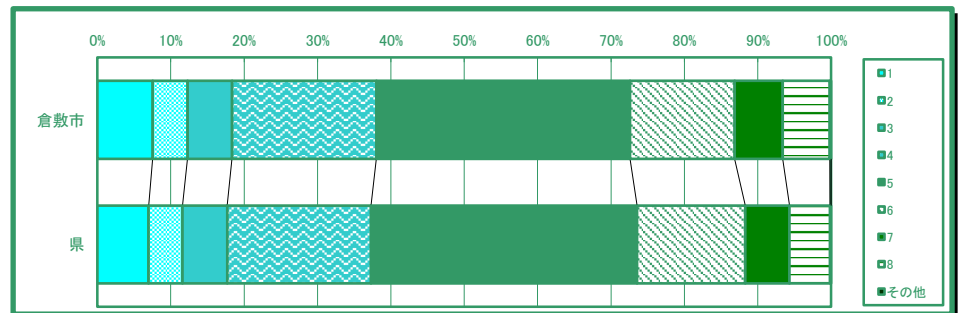
学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
倉敷市	6.7	17.0	26.0	24.8	13.5	6.3	2.9	1.1	1.4	0.3
県	6.7	18.1	26.8	25.1	12.3	5.5	2.9	1.0	1.3	0.3



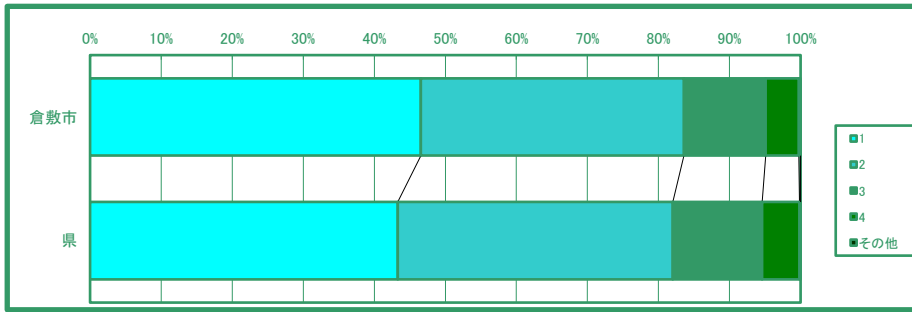
学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
倉敷市	7.5	4.7	6.1	19.7	34.6	14.2	6.6	6.4	0.2
県	7.0	4.6	6.1	19.6	36.3	14.7	6.0	5.5	0.2



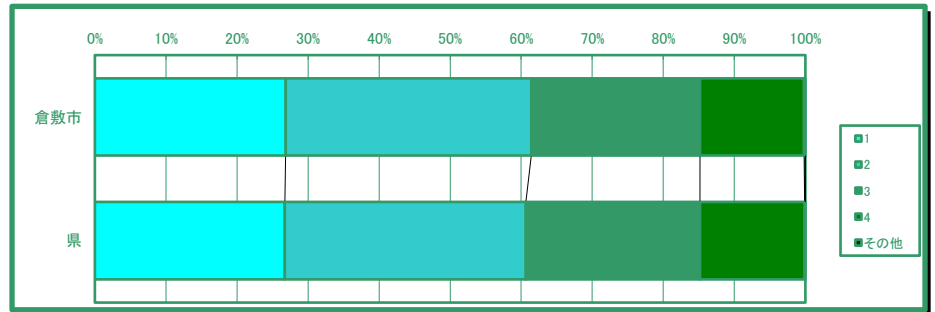
学校が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	46.6	37.0	11.5	4.7	0.2
県	43.3	38.7	12.6	5.2	0.2



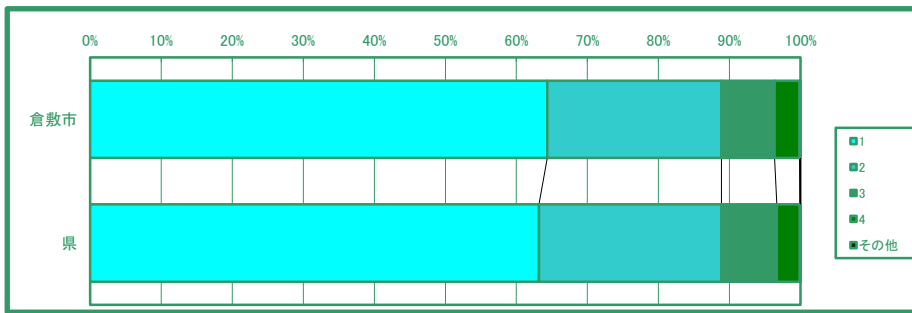
自分のことが好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	26.8	34.6	23.7	14.7	0.2
県	26.7	33.9	24.5	14.7	0.1



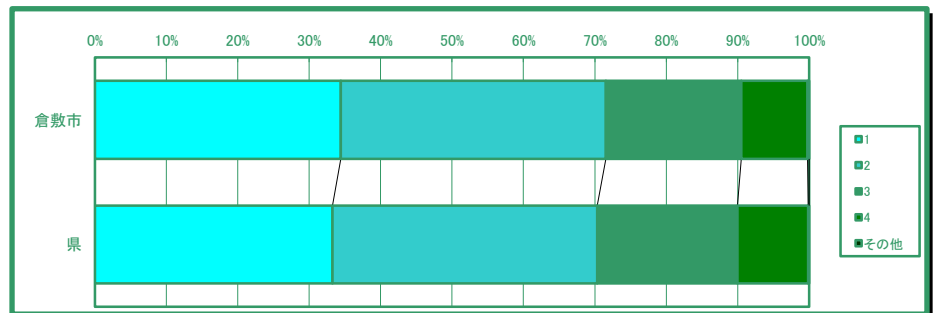
自分が住んでいる地域が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	64.4	24.5	7.5	3.5	0.1
県	63.2	25.7	7.8	3.3	0.1



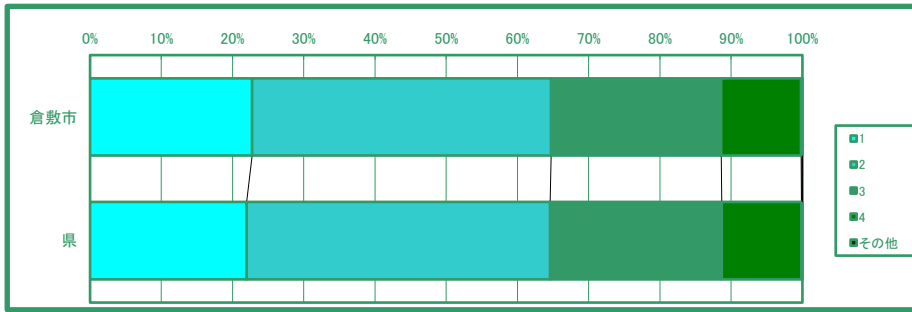
自分には、良いところがあると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	34.4	37.1	18.9	9.3	0.2
県	33.3	37.1	19.6	9.9	0.1



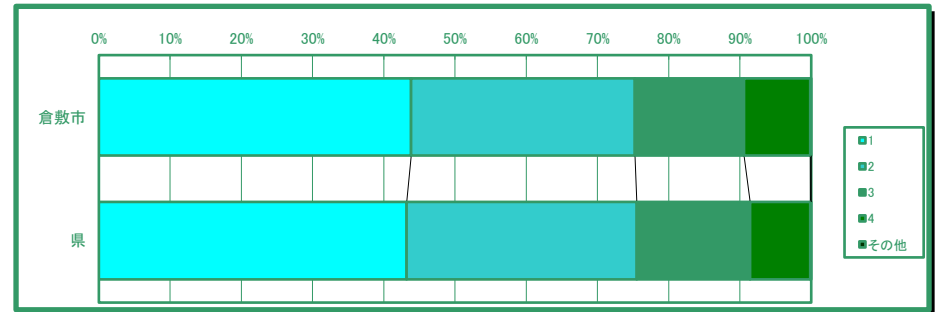
自分は、友だちから認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	22.7	42.0	23.9	11.2	0.2
県	22.0	42.6	24.1	11.2	0.1



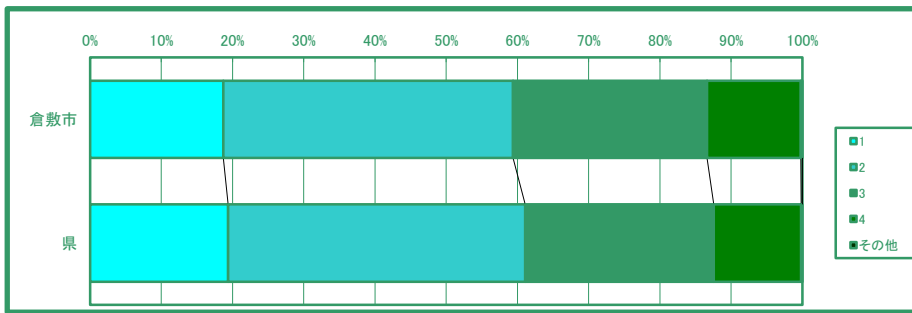
自分は、家の人から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	43.8	31.4	15.3	9.3	0.1
県	43.2	32.3	15.9	8.5	0.1



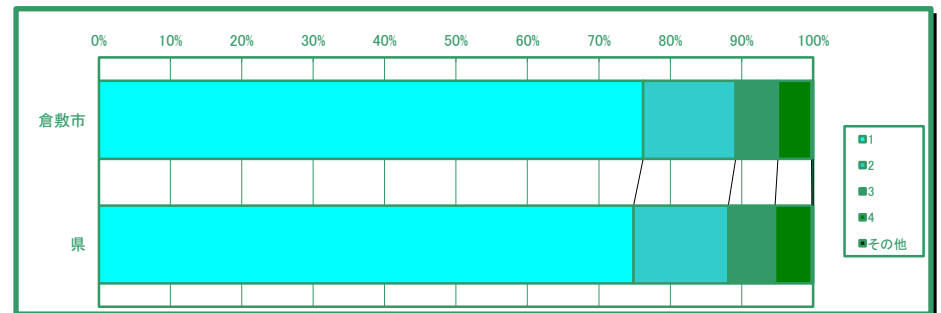
自分は、先生から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	18.7	40.6	27.3	13.2	0.2
県	19.4	41.7	26.5	12.3	0.2



将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	76.2	13.0	5.9	4.7	0.2
県	74.8	13.3	6.5	5.2	0.2



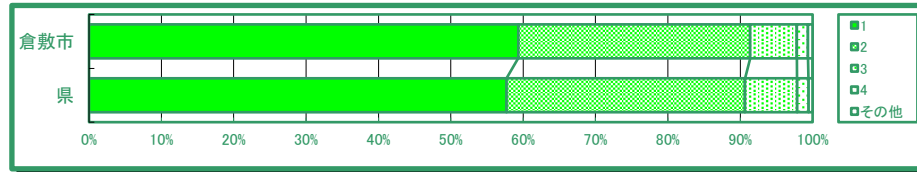


【岡山県学力・学習状況調査対応】  
独自質問調査結果

小学5年生

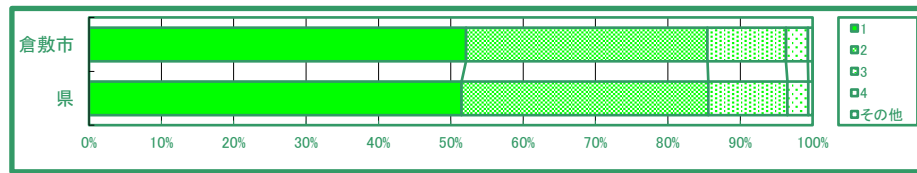
(1) 理科の授業は、分かっていた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	59.3	32.1	6.4	1.5	0.6
県	57.7	33.0	7.2	1.6	0.6



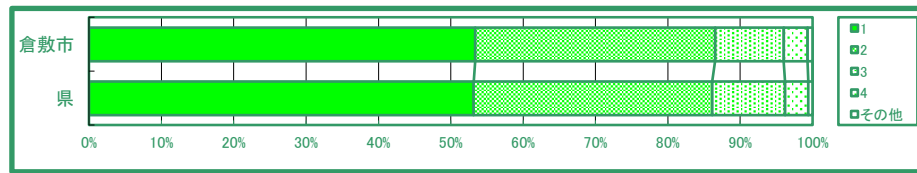
(2) 社会の授業は、分かっていた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	52.1	33.4	10.8	3.0	0.7
県	51.5	34.1	10.9	2.9	0.6



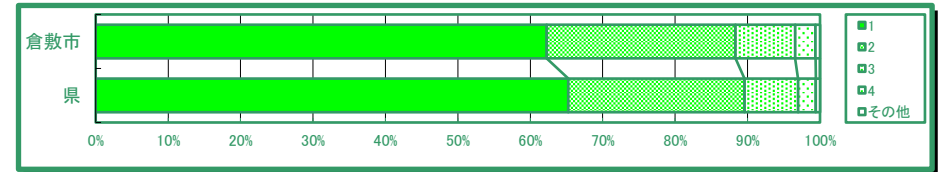
(3) 人の役に立つ人間になりたいと思っていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	53.4	33.2	9.5	3.3	0.7
県	53.2	33.0	10.1	3.2	0.6



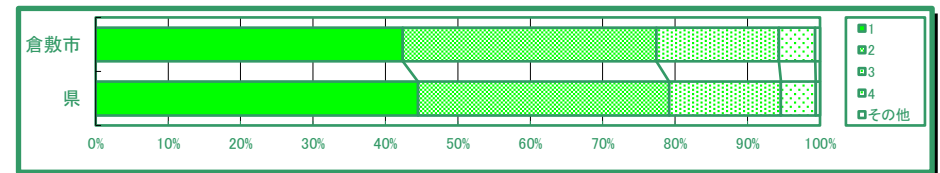
(4) 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	62.3	26.1	8.2	2.8	0.6
県	65.3	24.3	7.4	2.5	0.6



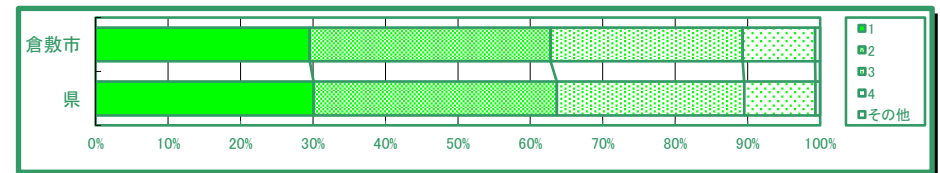
(5) 授業の中で、めあて(目標)が示されていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	42.4	35.0	16.9	5.0	0.7
県	44.5	34.7	15.4	4.8	0.6



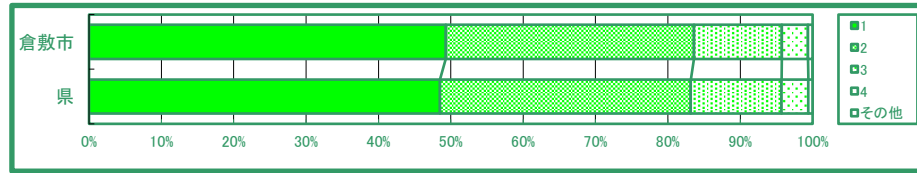
(6) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	29.6	33.2	26.5	10.0	0.7
県	30.1	33.6	25.9	9.8	0.6



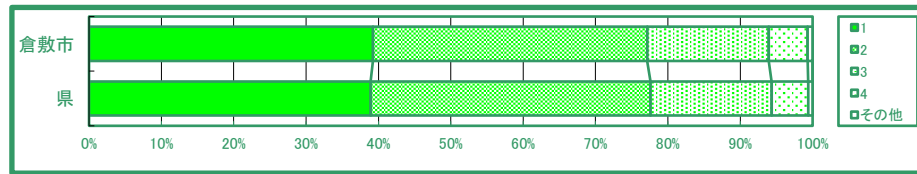
(7) 授業の中で、じっくり考える時間があつたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	49.3	34.3	12.1	3.6	0.6
県	48.5	34.7	12.5	3.7	0.6



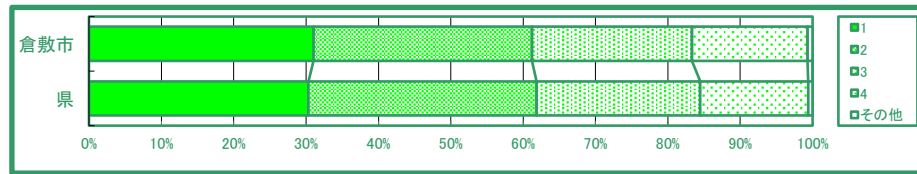
(8) 授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	39.2	37.9	16.8	5.4	0.7
県	38.9	38.7	16.7	5.1	0.6



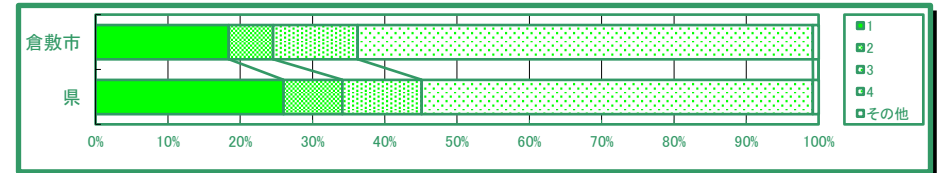
(9) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい

	1 そう思う	2 どちらかといえば、 そう思う	3 どちらかといえば、 そう思わない	4 そう思わない	その他
倉敷市	31.0	30.2	22.1	16.0	0.7
県	30.3	31.5	22.6	14.9	0.6



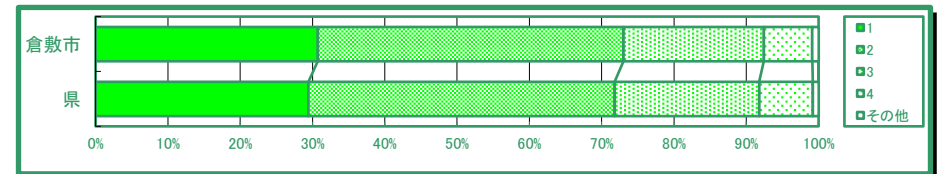
(10) 放課後などに学校で行われる補充学習に参加していた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	18.4	6.1	11.7	63.0	0.8
県	26.0	8.2	11.0	54.1	0.8



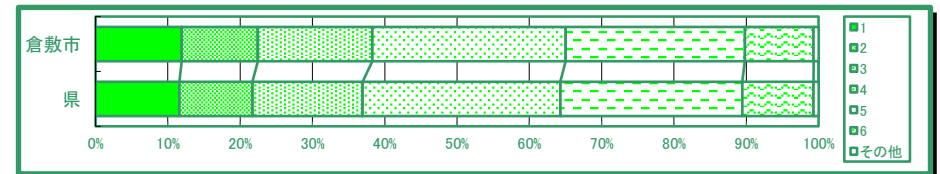
(11) 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていましたか

	1 できていた	2 どちらかといえば、 できていた	3 どちらかといえば、 できていなかった	4 できていなかった	その他
倉敷市	30.7	42.3	19.4	6.7	0.9
県	29.4	42.3	20.0	7.4	0.8



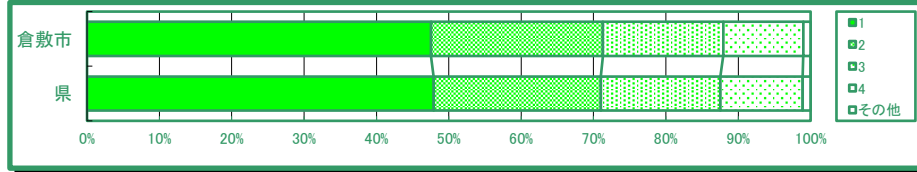
(12) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしていましたか

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	11.9	10.5	15.8	26.7	24.8	9.5	0.7
県	11.6	10.1	15.3	27.3	25.2	9.9	0.7



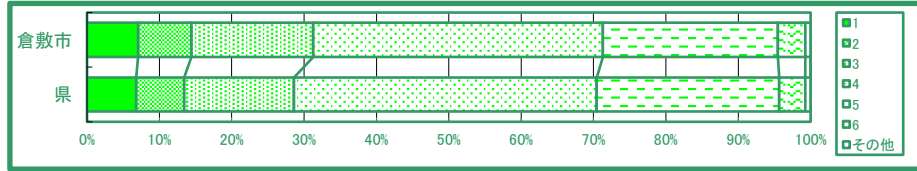
(13) 携帯電話やスマートフォン、ゲームの利用方法について、家庭でルールを決めていましたか

	1 決めていた	2 どちらかといえば、 決めていた	3 あまり決めていな かった	4 まったく決めていな かった	その他
倉敷市	47.5	23.8	16.6	11.1	1.0
県	47.9	23.1	16.5	11.4	1.1



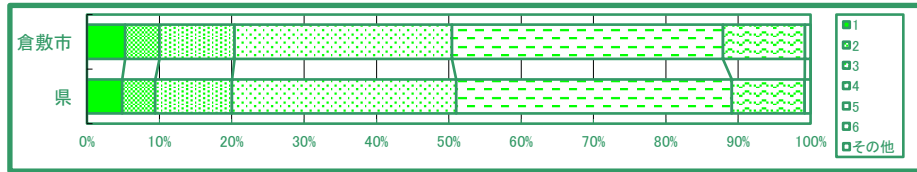
(14) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	7.1	7.4	16.8	40.0	24.2	3.8	0.7
県	6.8	6.6	15.2	41.8	25.2	3.6	0.7



(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしましたか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	5.3	4.7	10.4	30.0	37.4	11.3	0.8
県	4.9	4.6	10.6	31.0	38.1	10.1	0.8



(3) 中学1年生・中学2年生 教科概要, 誤答分析シート(国語・数学・英語) ※英語は中学2年生のみ

中学1年生

教科概要

倉敷市教育委員会

国語

平成29年度

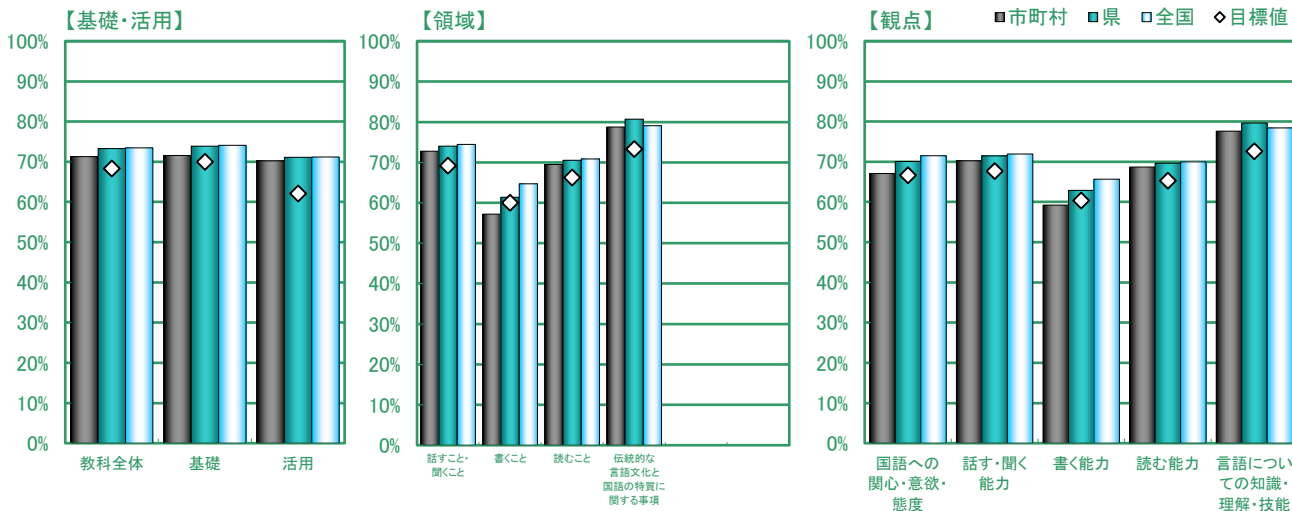
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	68.3	71.3	75.0	72.1
県		73.3	76.6	75.6
全国		73.5	76.6	76.1

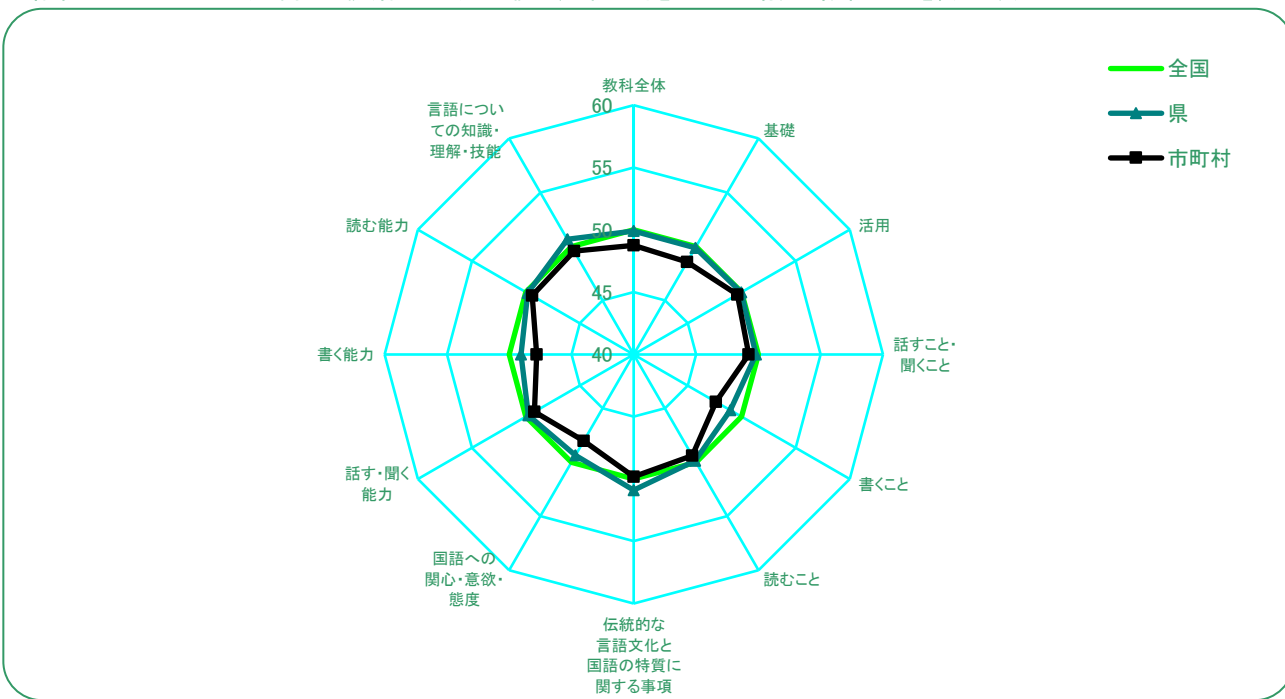
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	68.3	71.3	73.3	73.5
	基礎	70.0	71.6	73.9	74.1
	活用	62.1	70.2	71.1	71.2
領域	話すこと・聞くこと	69.2	72.8	74.0	74.5
	書くこと	60.0	57.2	61.4	64.7
	読むこと	66.3	69.5	70.5	70.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.3	78.8	80.7	79.1
観点	国語への関心・意欲・態度	66.7	67.1	70.1	71.5
	話す・聞く能力	67.7	70.2	71.5	71.9
	書く能力	60.4	59.2	62.9	65.7
	読む能力	65.3	68.7	69.6	70.0
	言語についての知識・理解・技能	72.6	77.6	79.6	78.4
解答形式	選択	65.6	69.7	71.0	71.0
	短答	77.8	79.9	81.9	80.5
	記述	62.1	63.7	67.4	69.9

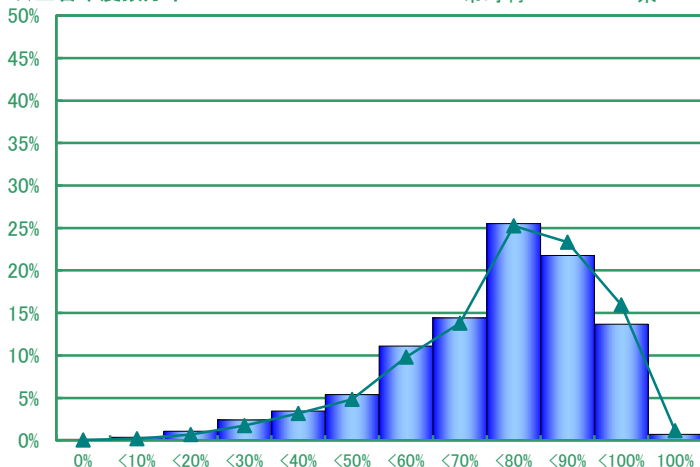
★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

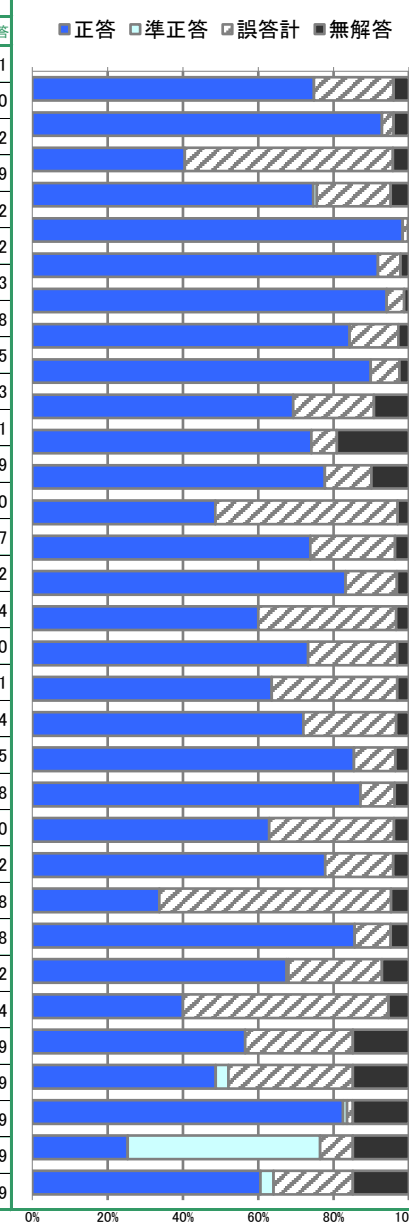


★正答率度数分布



【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										無解答	選択肢問題の 出現パターン			
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			11	12	
1	1			話の内容を聞き取る	話の内容を正確に聞き取ることができる。	74.8	85.0	▼	12.6	74.8	6.2	2.4						0.0	4.1	逆転			
2					92.8	85.0	△	1.9	0.8	0.4	92.8										0.0	4.0	
3					40.5	50.0	▼	40.5	7.1	45.4	2.7											0.1	4.2
4					75.1	65.0	△	74.6	1.0													19.6	4.9
5	2	(1)	①	漢字を読む	小学校で学習した漢字を読むことができる。	98.4	90.0	△	98.4									1.4	0.2	分散			
6					91.8	80.0	△	91.8													6.0	2.2	
7					94.1	90.0	≒	94.1													4.6	1.3	
8					84.3	90.0	▼	84.3													12.9	2.8	
9		(2)	①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を書くことができる。	89.9	85.0	≒	89.9	4.9	1.8							0.9	2.5				
10					69.3	60.0	△	69.3	9.0	6.2									6.2		9.3		
11					74.1	75.0	≒	74.1											6.8		19.1		
12					77.6	80.0	≒	77.6											12.5		9.9		
13	3			修飾語について理解している。	48.6	40.0	△	2.9	4.6	40.9	48.6						0.0	3.0	接近				
14				73.8	60.0	△	5.8	73.8	11.5	5.3								0.0		3.7			
15				83.2	80.0	≒	83.2	4.2	4.7	4.7								0.0		3.2			
16				60.0	50.0	△	5.6	24.5	60.0	6.5								0.0		3.4			
17	4			文章の展開に即して内容をとらえることができる。	73.3	60.0	△	3.8	12.0	7.9	73.3						0.0	3.0	分散				
18				63.6	70.0	▼	63.6	13.7	16.7	2.8								0.1		3.1			
19				72.0	60.0	△	5.0	72.0	5.3	14.3								0.0		3.4			
20				85.4	70.0	△	2.6	2.7	85.4	5.8								0.0		3.5			
21	5			登場人物の心情をとらえることができる。	87.2	85.0	≒	1.1	2.3	87.2	5.6						0.0	3.8	接近・分散				
22				62.9	65.0	≒	62.9	18.5	8.8	5.8								0.0		4.0			
23				77.8	70.0	△	5.7	8.4	3.9	77.8								0.0		4.2			
24				33.8	50.0	▼	19.2	24.0	33.8	18.3								0.0		4.8			
25	6			複数の資料の情報をまとめて、意見を述べるができる。	85.6	70.0	△	3.3	85.6	3.6	2.7						0.0	4.8	-				
26				67.8	60.0	△	67.5	0.5									24.9	7.2					
27				40.0	50.0	▼	40.0										54.6	5.4					
28	7			指定された文字数で書くことができる。	56.5	60.0	≒	56.5	10.1								18.5	14.9	-				
29				50.4	55.0	≒	48.7	3.5	5.7								27.3	14.9					
30				83.1	80.0	≒	82.5	1.0									1.6	14.9					
31				50.9	50.0	≒	25.3	51.1									8.7	14.9					
32				自分の考えを明確に書くことができる。	62.3	65.0	≒	60.6	3.5							21.1	14.9	-					



凡例⇒ 99.9 (正答) 99.9 (準正答) 99.9 (誤答) 99.9 (最頻出値)

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

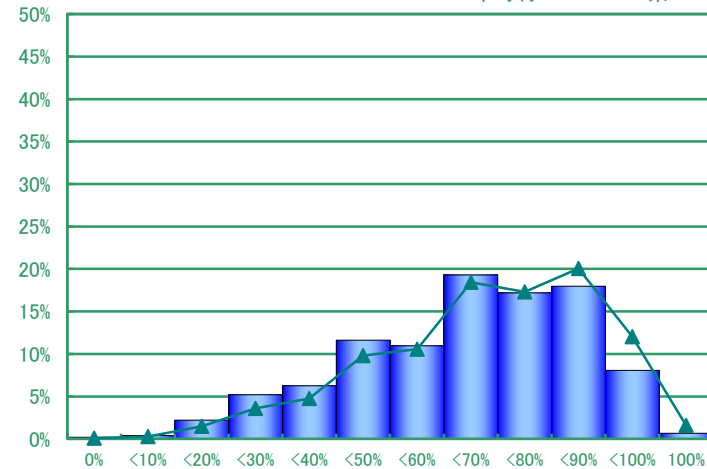
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	66.3	63.4	65.7	58.8
県		67.4	71.4	65.3
全国		68.3	71.4	67.6

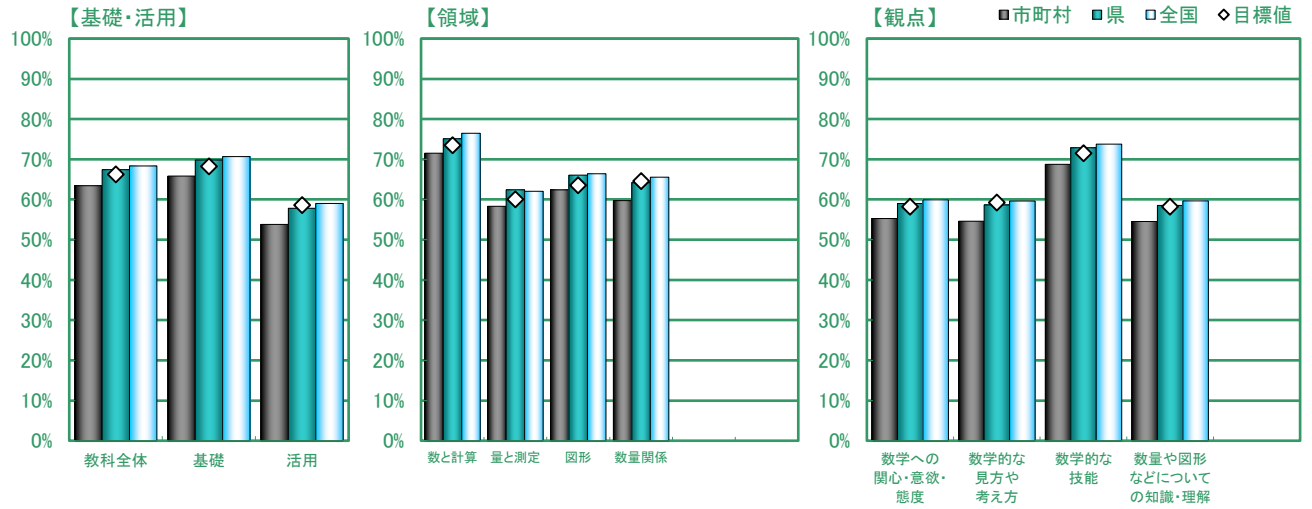
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	66.3	63.4	67.4	68.3
	基礎	68.2	65.8	69.8	70.7
	活用	58.6	53.8	57.8	59.0
領域	数と計算	73.5	71.5	75.1	76.5
	量と測定	60.0	58.3	62.4	62.0
	図形	63.6	62.4	66.1	66.4
	数量関係	64.6	59.7	64.2	65.5
観点	数学への関心・意欲・態度	58.2	55.3	59.0	59.9
	数学的な見方や考え方	59.2	54.6	58.6	59.6
	数学的な技能	71.5	68.7	72.9	73.8
	数量や図形などについての知識・理解	58.2	54.5	58.5	59.6
解答形式	選択	62.9	58.5	62.3	63.6
	短答	73.9	73.1	77.2	77.7
	記述	45.0	42.7	47.2	47.6

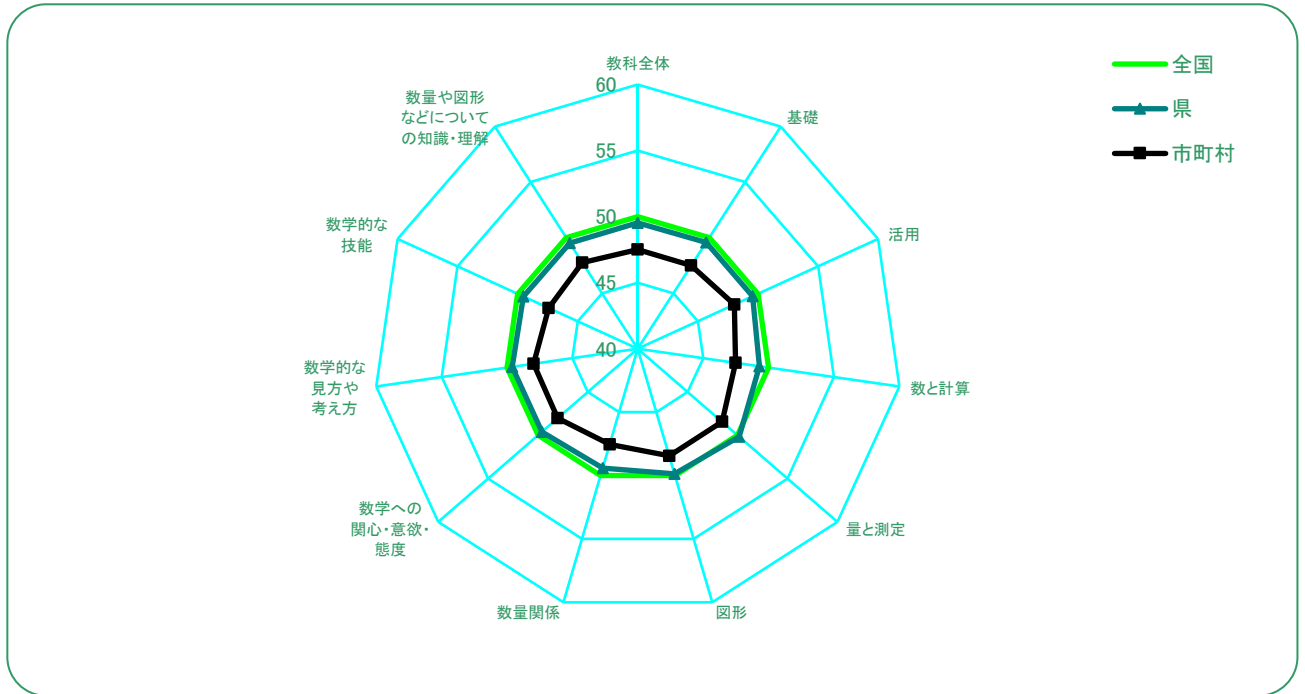
★正答率度数分布



★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリー間の比較 (各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



中学1年生  
数学  
214131010

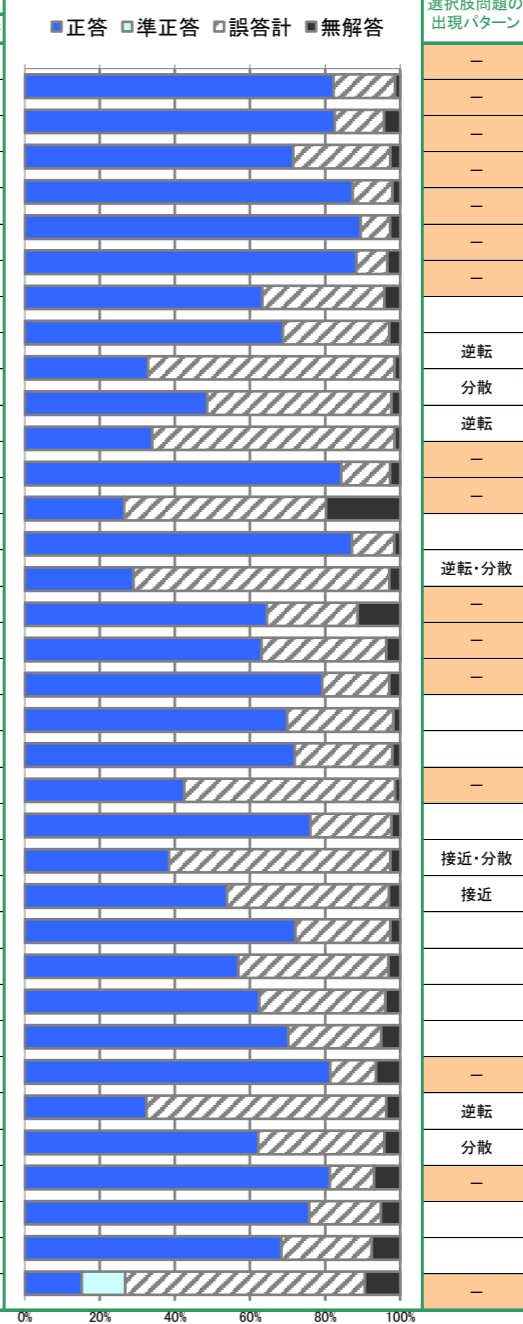
誤答分析シート

倉敷市教育委員会

平成29年度

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン					
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		無解答				
1	1			小数・分数の計算	小数第一位-小数第一位の計算ができる。	82.3	85.0	≒	82.3	4.0								12.3	1.4	-				
2					小数第一位+小数第一位=小数第一位の計算ができる。	82.6	85.0	≒	82.6	2.3										10.8	4.3	-		
3					異分母分数の加法(約分あり)の計算ができる。	71.5	65.0	△	71.5												25.9	2.6	-	
4					分数×整数(約分なし)の計算ができる。	87.3	85.0	≒	87.3	5.1											5.5	2.1	-	
5					分数×分数(約分なし)の計算ができる。	89.5	85.0	≒	89.5													7.8	2.7	-
6					分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	88.4	85.0	≒	88.4													8.2	3.4	-
7	2			整数の性質	2つの整数の最小公倍数を求めることができる。	63.3	75.0	▼	63.3	5.0	0.3							27.2	4.2	-				
8					2つの整数の最大公約数に関する文章題を解くことができる。	68.8	70.0	≒	8.4	68.8	7.6	6.6	5.6							0.1	2.9	-		
9	3			小数・分数の計算	整数÷小数に関する文章題の正しい式を選ぶことができる。	32.8	40.0	▼	32.8	58.7	1.5	5.4						0.0	1.5	逆転				
10	4			小数・分数の計算	分数の除法の文章題を表した図を読み取ることができる。	48.6	60.0	▼	12.7	48.6	21.2	15.2						0.0	2.3	分散				
11	5			平面図形	円周の長さを求める式を選ぶことができる。	33.9	45.0	▼	10.2	33.9	53.3	1.1						0.0	1.5	逆転				
12					面積と体積	底面積と高さから角柱の体積を求めることができる。	84.3	80.0	≒	84.3											13.0	2.7	-	
13	6			面積と体積	円を組み合わせた図形の面積を求めることができる。	26.5	40.0	▼	26.5									53.7	19.8	-				
14	7			単位量あたりの大きさ・平均	表から平均を求めることができる。	87.2	80.0	△	2.3	3.5	87.2	5.5						0.0	1.6	-				
15					時間の単位の違う速さと時間から道のりを求める式を選ぶことができる。	29.0	40.0	▼	8.4	19.5	40.2	29.0									0.0	2.9	逆転・分散	
16	8			単位量あたりの大きさ・平均	テープの1mあたりの値段から全体の代金を求めるときの誤りについて説明することができる。	64.5	60.0	≒	64.5									24.1	11.3	-				
17	9			平面図形	直線が180°であること、三角形の3つの角の和が180°であることを利用して、三角形の外角の大きさを求めることができる。	63.1	70.0	▼	63.1	11.7									21.5	3.7	-			
18					四角形の4つの角の和が360°であることを利用して、与えられた3つの角から残りの角の大きさを求めることができる。	79.3	75.0	≒	79.3												17.8	2.9	-	
19	10			平面図形	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	69.9	70.0	≒	7.2	69.9	4.8	16.1						0.1	1.8	-				
20	11			平面図形	縮図を使って実際の直線距離を求めることができる。	71.9	75.0	≒	5.2	71.9	8.0	12.9						0.0	2.0	-				
21	12			平面図形	線対称な図形の対応する点を見つけることができる。	42.5	40.0	≒	42.5	43.7	10.1							2.4	1.4	-				
22					点対称な図形を選ぶことができる。	76.0	70.0	△	1.1	2.5	18.0	76.0								0.0	2.3	-		
23	13			百分率	割合の意味について理解している。	38.4	45.0	▼	10.6	38.4	15.1	33.3						0.0	2.6	接近・分散				
24					百分率について理解し、割り引き後の代金を求める式を選ぶことができる。	53.8	60.0	▼	31.7	6.6	53.8	4.9								0.0	3.0	接近		
25	14			場合の数	3人が横に1列に並ぶときの並び方が何通りあるかを求めることができる。	72.2	80.0	▼	4.0	72.2	8.3	13.0						0.0	2.6	-				
26					4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	57.0	65.0	▼	28.8	8.1	57.0	3.1								0.0	3.1	-		
27	15			比と比例・反比例	2:5と等しい比を選ぶことができる。	62.5	70.0	▼	10.8	8.4	14.4	62.5						0.0	3.9	-				
28					比の値について理解している。	70.2	65.0	△	1.3	7.4	70.2	16.1								0.0	5.1	-		
29	16			比と比例・反比例	比例の関係を、xとyを使って式に表すことができる。	81.4	85.0	≒	81.4									12.2	6.4	-				
30					反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求めることができる。	32.4	45.0	▼	50.8	8.9	32.4	2.1	2.0							0.0	3.7	逆転		
31	17			文字と式	文字を使った式が表す場面を選ぶことができる。	62.2	70.0	▼	4.0	13.2	16.3	62.2						0.0	4.2	分散				
32	18			文字と式	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	81.2	80.0	≒	81.2									11.8	7.0	-				
33	19			いろいろなグラフの読み取り	2つの柱状グラフを比較して、必要な情報を読み取ることができる。	75.8	75.0	≒	75.8	7.1	3.4	5.0	3.6					0.0	5.2	-				
34	20			いろいろなグラフの読み取り	折れ線グラフから読み取ることのできることを選ぶことができる。	68.4	70.0	≒	4.7	9.7	9.7	68.4						0.0	7.6	-				
35					割合が減っても、もとの量が増えているときは、比べる量は減らないことを、具体的に説明することができる。	21.0	30.0	▼	8.8	6.4	11.6	15.9	47.7							0.2	9.4	-		



凡例⇒ 99.9 正答 99.9 準正答 99.9 誤答 99.9 最頻出現

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

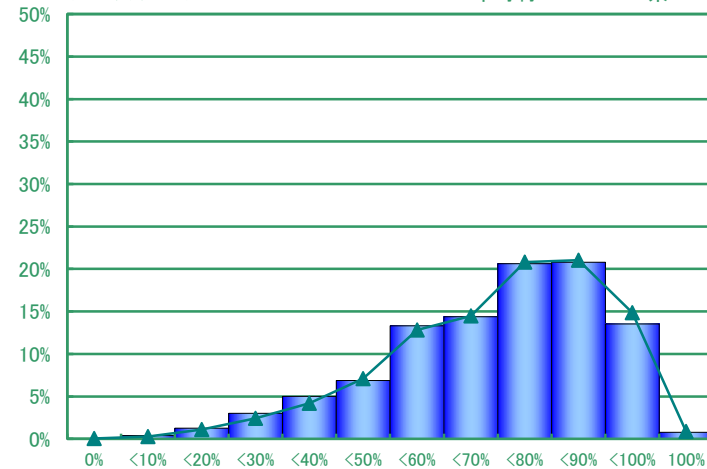
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	67.2	69.0	71.9	69.0
県		70.2	75.0	70.9
全国		70.4	73.4	71.6

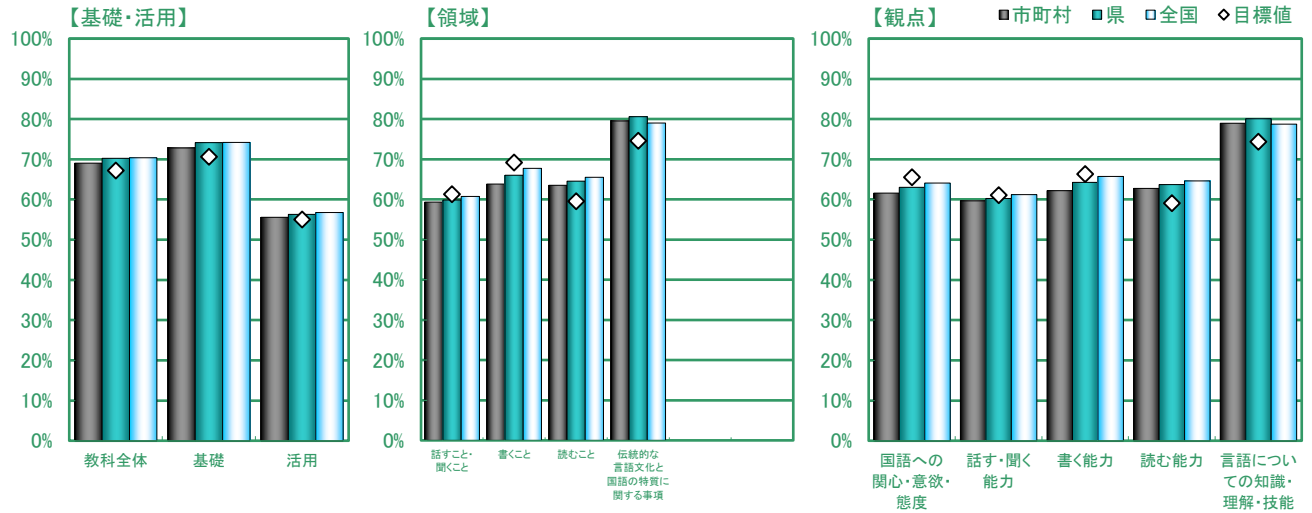
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	67.2	69.0	70.2	70.4
	基礎	70.6	72.8	74.1	74.2
	活用	55.0	55.6	56.3	56.8
領域	話すこと・聞くこと	61.3	59.3	59.8	60.7
	書くこと	69.2	63.8	66.0	67.7
	読むこと	59.5	63.5	64.5	65.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.6	79.5	80.6	79.0
観点	国語への関心・意欲・態度	65.6	61.6	63.0	64.1
	話す・聞く能力	61.1	59.7	60.3	61.2
	書く能力	66.3	62.2	64.3	65.7
	読む能力	59.0	62.8	63.7	64.6
解答形式	言語についての知識・理解・技能	74.4	79.0	80.1	78.7
	選択	60.7	63.3	63.8	64.7
	短答	77.5	83.3	84.8	83.0
	記述	66.4	61.0	63.2	64.6

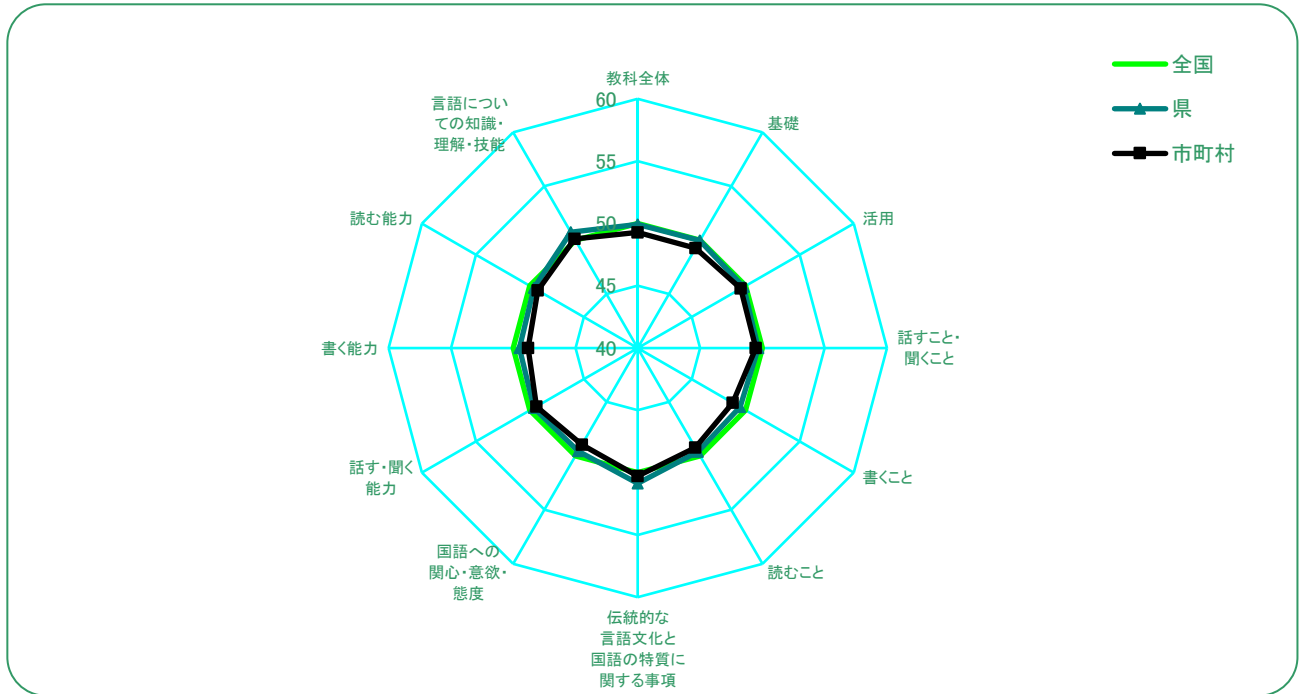
★正答率度数分布



★正答率の比較



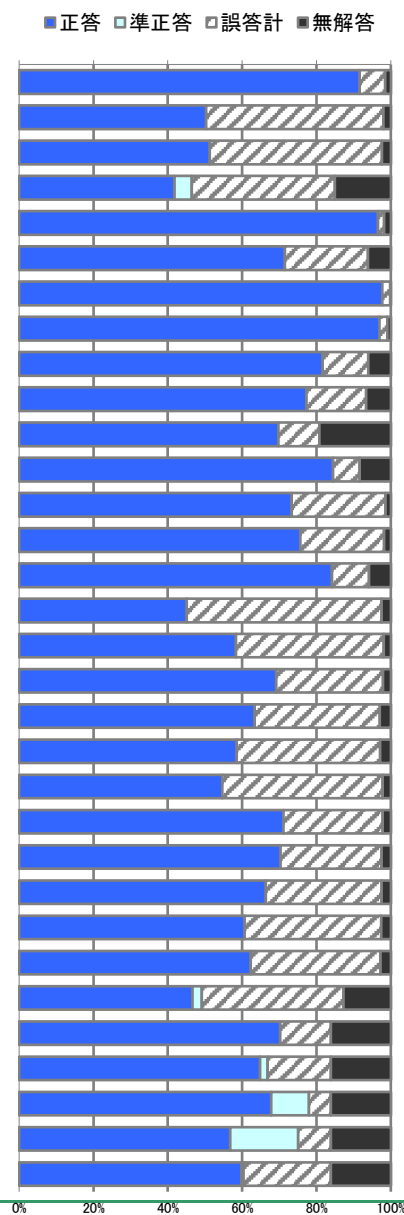
★標準スコアによるカテゴリ間の比較 (各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)





【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率											選択肢問題の 出現パターン						
									1	2	3	4									無解答					
1	1			話し合いの内容を聞き取る	話の内容を正確に聞き取ることができる。	91.6	85.0	△	3.5	0.7	2.6	91.6								0.0	1.6	分散				
2					聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。	50.3	60.0	▼	50.3	13.9	8.6	25.1											0.0	2.0		
3					司会者の工夫を聞き取ることができる。	51.3	50.0	≒	14.6	51.3	27.9	3.9												0.0	2.4	
4					話し手の意見に対して自分の考えを持ち、質問することができる。	44.1	50.0	▼	41.8	4.7														38.6	15.0	
5	2	(1)	①	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。	96.6	90.0	△	96.6												1.6	1.8	-			
6						71.5	80.0	▼	71.5															22.4	6.1	
7						97.7	90.0	△	97.7																2.1	0.2
8						96.9	90.0	△	96.9																2.1	0.9
9		(2)	①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を書くことができる。	81.7	75.0	△	81.7	4.0	5.7										2.6	6.0	-			
10						77.3	70.0	△	77.3	14.1	0.9													1.1	6.6	
11						69.7	70.0	≒	69.7																11.0	19.2
12						84.5	70.0	△	84.5																7.1	8.4
13	3			文法・語句に関する知識	単語について理解している。	73.3	60.0	△	73.3	9.4											15.8	1.4	-			
14					文節の関係について理解している。	75.7	70.0	△	5.3	75.7	16.2	1.0										0.0		1.8		
15					歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。	84.2	80.0	≒	84.2	0.9														9.1	5.9	
16					故事成語について理解している。	45.1	50.0	≒	27.9	19.4	45.1	5.1												0.0	2.5	
17	4			説明文の内容を読み取る	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	58.3	60.0	≒	8.0	58.3	8.3	23.4									0.0	1.9	-			
18					69.2	60.0	△	69.2	4.1	19.0	5.6											0.0		2.1		
19					63.4	60.0	≒	9.9	12.1	11.7	63.4													0.0	2.9	
20					58.5	55.0	≒	6.9	23.2	58.5	8.4													0.0	2.9	
21	5			文学作品の内容を読み取る	場面の展開をとらえることができる。	54.7	60.0	▼	10.0	15.9	54.7	17.3									0.0	2.2	分散			
22					71.1	60.0	△	71.1	5.5	17.7	3.5											0.0		2.2		
23					70.3	65.0	△	9.7	6.5	11.0	70.3													0.0	2.5	
24					66.4	60.0	△	66.4	6.6	18.6	5.9													0.0	2.5	
25	6			本の紹介カードを書く	紹介カードを書くときの工夫をとらえることができる。	60.7	55.0	△	11.9	60.7	10.7	14.1									0.0	2.6	-			
26					62.4	60.0	≒	11.2	20.3	62.4	3.3											0.0		2.8		
27					47.9	50.0	≒	46.6	2.5															38.1	12.7	
28	7			作文	指定された文字数で書くことができる。	70.2	75.0	≒	70.2	5.7											7.9	16.1	-			
29					65.8	70.0	≒	64.8	2.0	3.2														13.9	16.1	
30					72.9	80.0	▼	67.8	10.2															5.9	16.1	
31					65.9	70.0	≒	56.8	18.2																8.9	16.1
32					60.1	70.0	▼	59.8	0.6																23.5	16.1



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

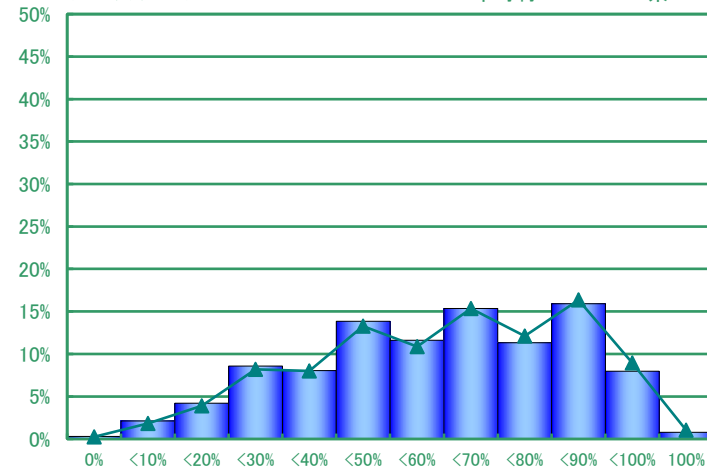
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	58.0	57.9	60.0	59.0
県		59.3	60.0	61.0
全国		58.4	60.0	59.8

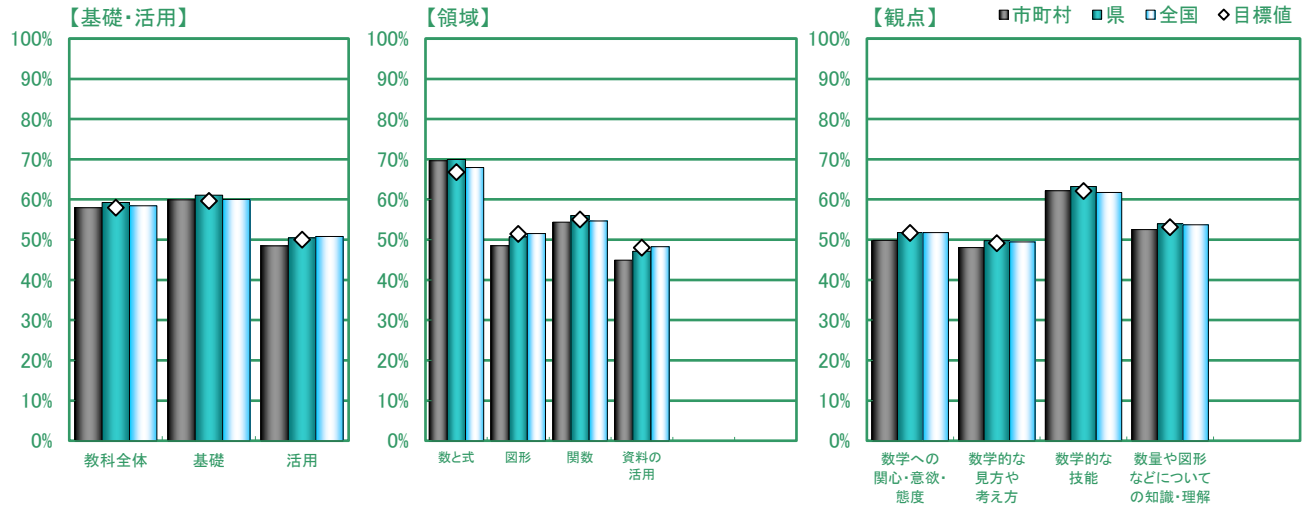
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	58.0	57.9	59.3	58.4
	基礎	59.7	59.9	61.1	60.0
	活用	50.0	48.5	50.5	50.8
領域	数と式	66.8	69.6	69.9	68.0
	図形	51.4	48.5	50.7	51.5
	関数	55.0	54.4	56.0	54.7
	資料の活用	48.0	44.9	47.1	48.3
観点	数学への関心・意欲・態度	51.7	49.8	51.8	51.8
	数学的な見方や考え方	49.2	48.0	49.8	49.4
	数学的な技能	62.1	62.2	63.2	61.7
	数量や図形などについての知識・理解	53.1	52.5	54.0	53.7
解答形式	選択	56.5	55.9	57.5	57.1
	短答	62.5	63.0	63.8	62.7
	記述	35.0	35.2	37.2	35.4

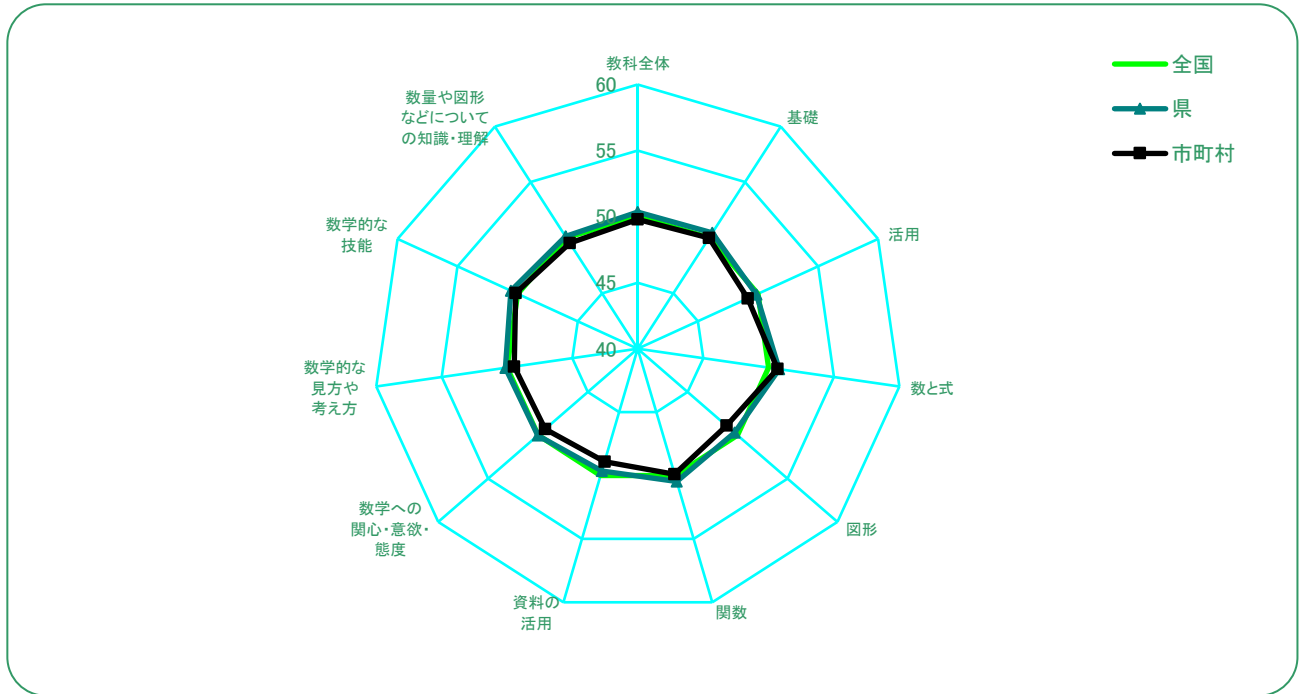
★正答率度数分布



★正答率の比較

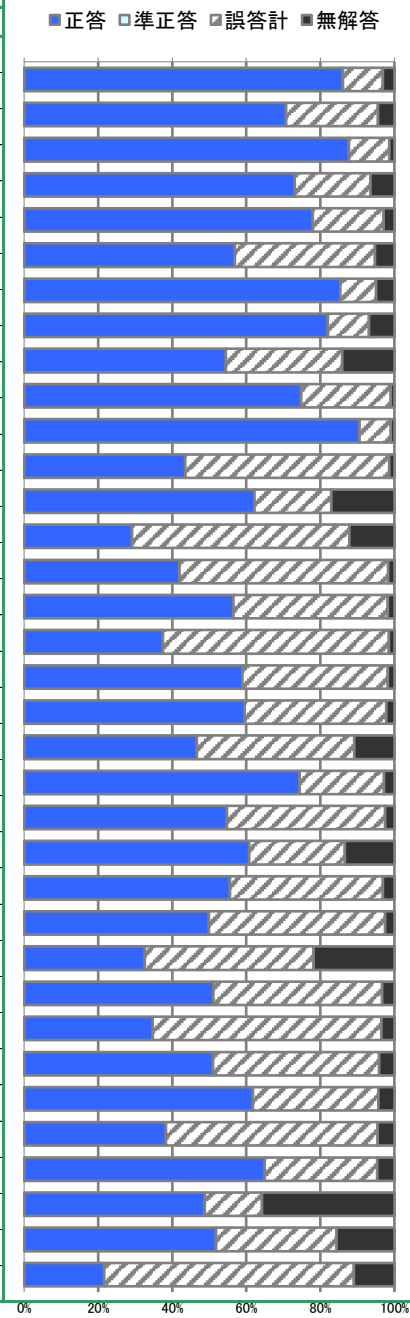


★標準スコアによるカテゴリー間の比較(各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率											選択肢問題の 出現パターン							
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	13	14	15			
1		(1)		計算の復習	分数の除法ができる。	86.2	85.0	≒	86.2												10.7	3.1	—				
2		(2)		計算の復習	分数の四則混合の計算ができる。	70.8	70.0	≒	70.8													24.8	4.4	—			
3	1	(3)		正の数・負の数	負の数の減法ができる。	87.7	80.0	△	87.7													10.9	1.4	—			
4		(4)			負の数の除法ができる。	73.1	80.0	▼	73.1															20.4	6.5	—	
5	6	(5)		文字式	同類項をまとめることができる。	78.0	70.0	△	78.0	6.4												12.7	2.9	—			
6		(6)			1次式の減法ができる。	56.9	55.0	≒	56.9	14.9														23.0	5.2	—	
7	2	(1)		1次方程式	移項を必要としない1次方程式を解くことができる。	85.4	85.0	≒	85.4													9.7	5.0	—			
8		(2)			1次方程式を解くことができる。	82.0	70.0	△	82.0	0.7															10.4	6.8	—
9	3			1次方程式	比例式を解くことができる。	54.5	55.0	≒	54.5														31.4	14.1	—		
10	4	(1)		正の数・負の数	正負の数の大小関係を不等号を使って表すことができる。	74.8	70.0	≒	3.1	74.8	13.5	7.7											0.0	1.0	—		
11		(2)			絶対値について理解している。	90.6	85.0	△	4.6	0.9	2.4	90.6													0.5	0.9	—
12		(3)		文字式	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	43.5	40.0	≒	43.5	16.6	15.0	23.4											0.0	1.4	接近・分散		
13	5			1次方程式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	62.2	60.0	≒	62.2	3.7													17.1	17.0	—		
14	6			1次方程式	与えられた文章題を、1元1次方程式を解いて解決し、兄弟に違いつづ時間を求めることができる。	29.2	30.0	≒	29.2															58.7	12.2	—	
15	7			比例・反比例	具体的な事象の中には比例を用いて捉えられるものがあることを理解している。	41.9	45.0	≒	13.0	15.0	41.9	20.4	7.8										0.2	1.7	接近・分散		
16	8			比例・反比例	比例の関係での、x、yの値の変化の関係について理解している。	56.5	60.0	≒	56.5	17.8	7.0	4.3	12.7											0.0	1.7	—	
17	9	(1)		比例・反比例	比例の関係にある1組のx、yの値から、比例の式を求めることができる。	37.5	40.0	≒	37.5	14.1	43.1	3.8												0.0	1.5	逆転・分散	
18		(2)			反比例の関係を表す表から、反比例の式を表すことができる。	59.0	60.0	≒	15.2	16.9	7.1	59.0														0.0	1.8
19	10	(1)		比例・反比例	反比例のグラフの一部から、反比例の式を選ぶことができる。	59.6	55.0	≒	4.5	59.6	7.8	20.4	5.5											0.0	2.2	—	
20		(2)			比例の式から、比例のグラフをかきことができる。	46.7	50.0	≒	46.7	6.0	12.0	10.3														14.3	10.9
21	11			比例・反比例	具体的な事象とグラフを関連付けて読み取り、もっとも重いねじについて表したグラフを選ぶことができる。	74.4	80.0	▼	74.4	3.3	15.7	3.8												0.0	2.8	—	
22	12			平面図形	三角形を回転移動させたときに、その三角形と重なる三角形がわかる。	54.7	65.0	▼	1.7	21.9	8.5	54.7	3.2	3.9	3.5									0.0	2.6	—	
23	13			平面図形	角の二等分線を作図することができる。	60.8	65.0	≒	60.8															25.8	13.4	—	
24	14	(1)		空間図形	角柱の直線や平面の位置関係について理解している。	55.6	50.0	△	4.6	22.5	14.2	55.6													0.0	3.1	分散
25		(2)			角錐の投影図をすべて選ぶことができる。	49.9	50.0	≒	49.9	7.3	17.1															23.1	2.5
26	15	(1)		空間図形	円錐の見取図から、その側面になるおうぎ形の中心角を求めることができる。	32.6	40.0	▼	32.6															45.5	21.9	—	
27		(2)			球の表面積を求める式を選ぶことができる。	51.1	50.0	≒	51.1	25.6	9.4	10.6														0.0	3.3
28		(3)		空間図形	同じ底面で高さも等しい柱体と錐体の体積の関係について、正しく理解している。	34.8	40.0	▼	12.0	22.3	34.8	27.3													0.0	3.5	接近・分散
29	16	(1)		資料の散らばりと代表値	度数分布表から、階級の相対度数を求めることができる。	51.1	55.0	≒	51.1	7.9	17.0	12.8	7.0												0.0	4.2	—
30		(2)			最頻値について理解している。	61.8	60.0	≒	7.1	61.8	12.6	14.2															0.0
31		(3)		資料の散らばりと代表値	ある数の真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。	38.3	40.0	≒	9.4	38.3	13.6	6.6	19.5	7.9											0.1	4.5	接近・分散
32	17	(1)		比例・反比例	反比例の表を読み取り、xの値に対応するyの値として誤っている箇所を指摘することができる。	65.0	65.0	≒	7.5	5.9	17.0	65.0													0.0	4.6	—
33		(2)			ある2点を通る関数のグラフについての問題について、答えが1つになるように、条件を修正することができる。	48.8	40.0	△	4.4	43.0	1.4																15.4
34	18	(1)		資料の散らばりと代表値	ヒストグラムから、階級の幅を読み取ることができる。	51.8	55.0	≒	51.8	15.5	4.5														12.6	15.6	—
35		(2)			ヒストグラムの特徴を読み取り、説明すべきことがらについて数学的に説明することができる。	21.6	30.0	▼	12.3	9.3	27.0	13.6	26.8														0.0



凡例⇒ 99.9 (正答) 99.9 (準正答) 99.9 (誤答) 99.9 (最頻出値)

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている]を表現しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

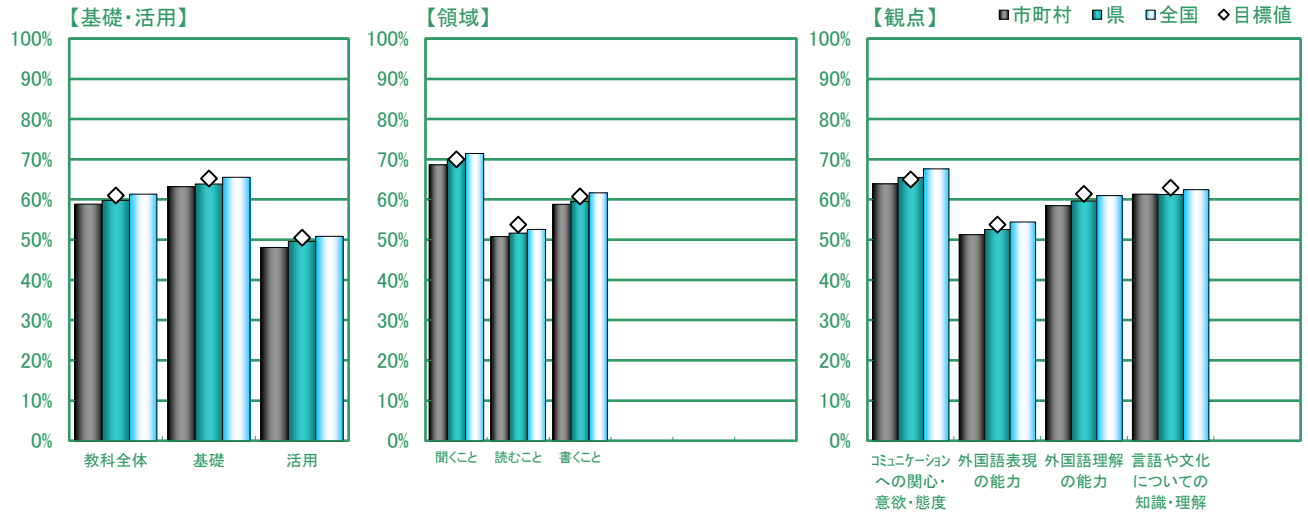
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
倉敷市	61.0	58.9	61.4	57.5
県		59.8	61.4	57.7
全国		61.3	62.9	60.4

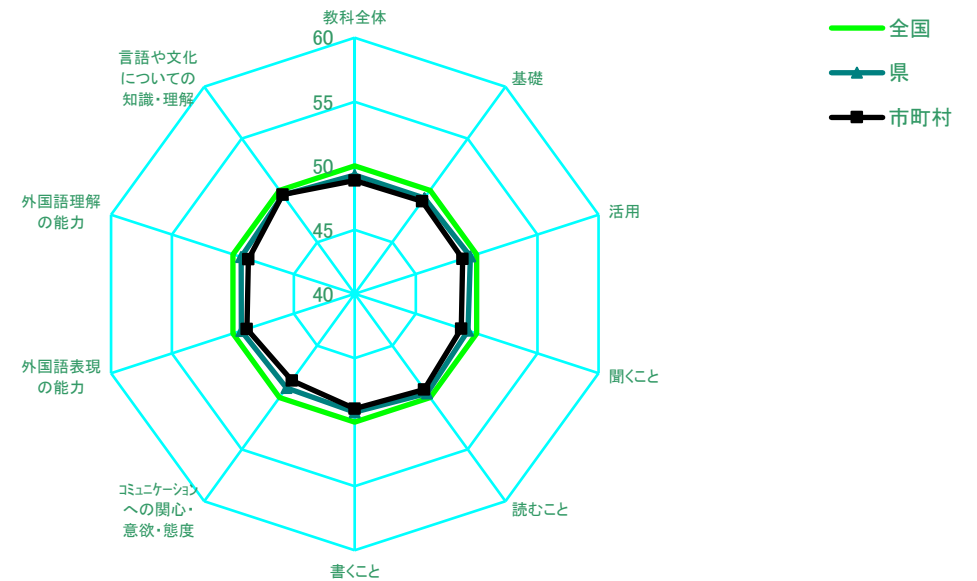
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率		
			市町村	県	全国
基礎・活用	教科全体	61.0	58.9	59.8	61.3
	基礎	65.2	63.2	63.9	65.5
	活用	50.5	48.1	49.6	50.8
領域	聞くこと	70.0	68.6	69.8	71.4
	読むこと	53.8	50.8	51.6	52.6
	書くこと	60.8	58.8	59.5	61.7
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	65.0	63.9	65.5	67.6
	外国語表現の能力	53.8	51.2	52.5	54.4
	外国語理解の能力	61.4	58.5	59.6	61.0
	言語や文化についての知識・理解	62.9	61.3	61.3	62.4
解答形式	選択	64.3	62.9	63.9	65.3
	短答	60.6	56.0	55.9	57.1
	記述	50.8	49.6	51.7	54.3

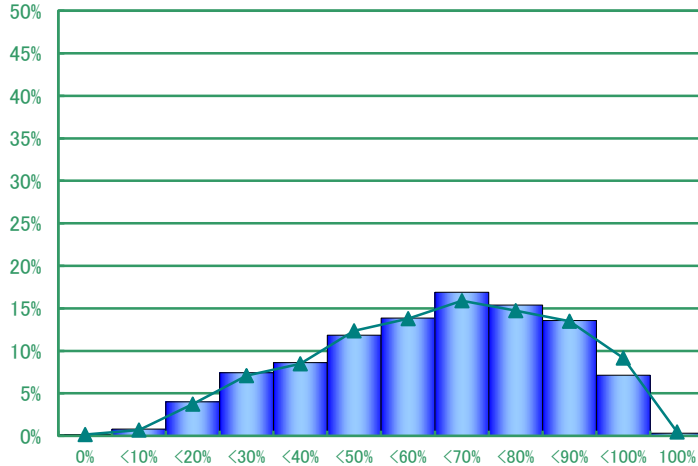
★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリー間の比較(各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



★正答率度数分布



中学2年生  
英語[A]  
214251010

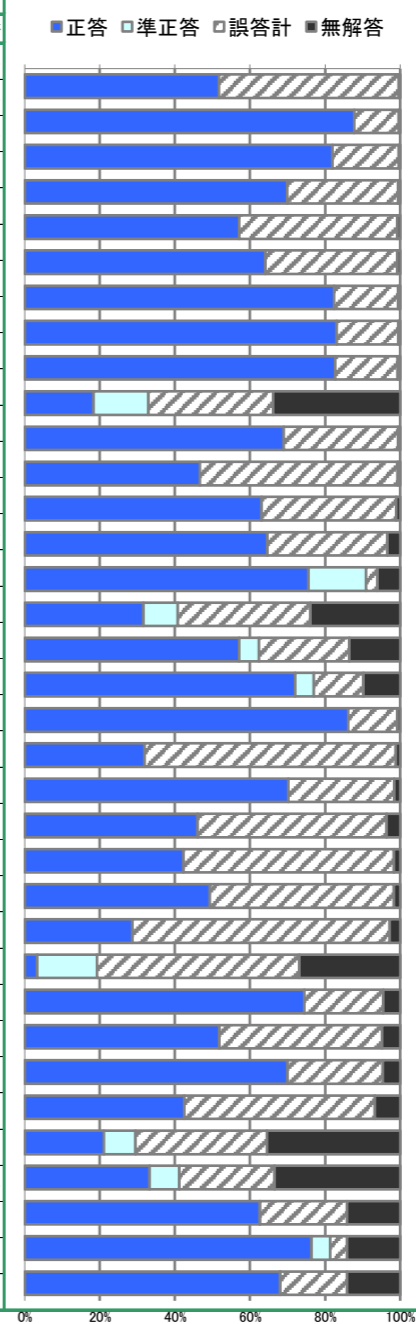
誤答分析シート

倉敷市教育委員会

平成29年度

【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										無解答	選択肢問題の 出現パターン			
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
1	1	(1)		リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(依頼)	51.8	70.0	▼	51.8	11.8	10.6	25.4						0.0	0.4	分散			
2		(2)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(名詞)		87.7	85.0	≒	7.9	87.7	3.0	1.0							0.0	0.4				
3		(3)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(動作)		82.0	85.0	≒	9.1	4.9	3.6	82.0								0.0		0.4		
4	2	(1)		リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(していることをたずねられて)	69.9	65.0	≒	19.3	69.9	4.9	5.4						0.1	0.5	分散			
5		(2)	対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(許可を求められて)		57.1	65.0	▼	8.5	19.4	14.3	57.1							0.0	0.7				
6		(3)	対話の内容を聞き取り、適切に回答することができる。(したことをたずねられて)		64.1	65.0	≒	64.1	11.7	8.0	15.3								0.0		0.7		
7	3	(1)		リスニング(内容理解)	英文の要点を聞き取ることができる。(誕生日)	82.4	85.0	≒	2.5	82.4	12.0	2.5						0.0	0.6	分散			
8		(2)	英文の要点を聞き取ることができる。(家族の説明)		83.1	75.0	△	1.7	2.6	83.1	11.9							0.2	0.5				
9		(3)	英文の要点を聞き取ることができる。(曜日)		82.6	75.0	△	3.0	82.6	9.1	4.6							0.0	0.6				
10	4			リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	25.6	30.0	≒	18.3	14.6							33.2	33.9	—				
11	5	(1)	①	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(一般動詞の過去の肯定文)	69.0	75.0	▼	14.3	8.6	69.0	7.5						0.0	0.6	接近			
12			②		語形・語法を理解することができる。(疑問詞を使った現在進行形の疑問文)	46.7	60.0	▼	39.4	11.3	1.9	46.7							0.0		0.7		
13			③		語形・語法を理解することができる。(canの否定文)	63.1	50.0	△	63.1	9.7	2.5	23.6							0.1		1.0		
14			④		語形・語法を理解することができる。(目的格の代名詞)	64.6	55.0	△	12.9	64.6	12.3	6.8							0.0		3.4		
15	(2)		①	語彙の知識・理解	単語を正しく書くことができる。(赤)	83.2	85.0	≒	75.6	15.3								3.1	6.1	—			
16			②		単語を正しく書くことができる。(ふつ)	36.2	50.0	▼	31.6	9.2									35.3		23.9		
17			③		単語を正しく書くことができる。(楽しむ)	59.8	60.0	≒	57.1	5.3									24.1		13.5		
18			④		単語を正しく書くことができる。(住む)	74.5	70.0	≒	72.0	5.0									13.2		9.8		
19	6	(1)		さまざまな英文の読み取り	英文の情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	86.1	75.0	△	1.9	8.0	3.3	86.1						0.0	0.7	逆転			
20					(2)	英文と資料の情報・条件をもとに、相手の要望に対して適切に応じることができる。	31.9	45.0	▼	6.5	50.8	9.6	31.9								0.0	1.2	
21					(3)	①	対話の流れとグラフから、適切な曜日を判断することができる。	70.2	65.0	△	6.8	6.3	70.2	15.0								0.0	1.6
22					(3)	②	対話の流れとグラフから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	46.1	50.0	≒	17.7	16.2	46.1	16.3								0.0	3.6
23	7	(1)		長文の読み取り	代名詞usの内容を把握することができる。	42.3	55.0	▼	7.7	42.3	19.2	29.1						0.0	1.7	接近・分散			
24					(2)	英文の内容を把握することができる。	49.3	45.0	≒	49.3	12.2	27.1	9.7								0.0	1.7	
25					(3)	読み取った英文の内容をふまえて、日記を書くことができる。	28.6	40.0	▼	10.6	15.6	42.4	28.6								0.0	2.8	
26					(4)	英語で質問する文を書くことができる。(whereを使って場所をたずねる)	11.3	30.0	▼	3.3	15.9	0.0									53.9	26.9	
27	8	(1)		単語の並びかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(一般動詞現在の否定文)	74.5	70.0	≒	74.5									20.9	4.5	—			
28					(2)	英文を正しい語順で書くことができる。(現在進行形の疑問文)	51.8	55.0	≒	51.8											43.4	4.8	
29					(3)	英文を正しい語順で書くことができる。(whenを使った一般動詞の過去の疑問文)	70.0	70.0	≒	70.0											25.4	4.6	
30					(4)	英文を正しい語順で書くことができる。(否定の命令文)	42.5	55.0	▼	42.5											50.8	6.7	
31	9	(1)		場面に応じて書く英作文	英語で質問する文を書くことができる。(whereを使って場所をたずねる)	25.3	40.0	▼	21.1	8.3							35.0	35.5	—				
32					(2)	英語で質問する文を書くことができる。(how manyを使って数をたずねる)	37.2	40.0	≒	33.3	7.9									25.4	33.4		
33	10			3文以上の英作文	自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表すことができる。	62.6	65.0	≒	62.6	0.1							23.2	14.2	—				
34						自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表すことができる。	78.9	65.0	△	76.4	5.0									4.4	14.2		
35						自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表すことができる。	68.0	65.0	≒	36.3	31.7	0.0									17.8	14.2	



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

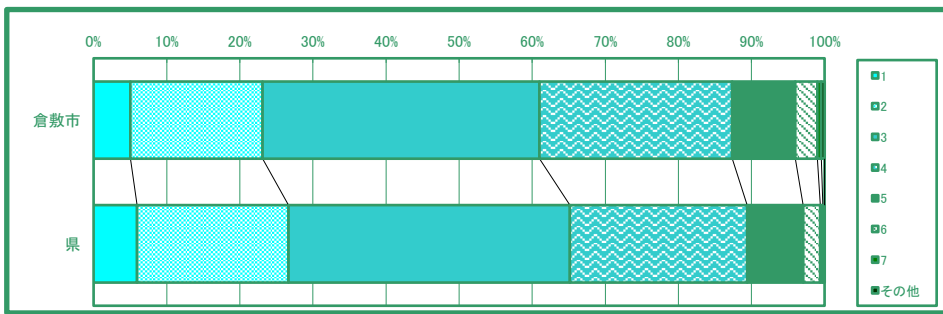
# (4) 中学1年生・中学2年生 生活行動・学習活動調査

【岡山県学力・学習状況調査対応】  
生活行動・学習活動調査

中学1年生

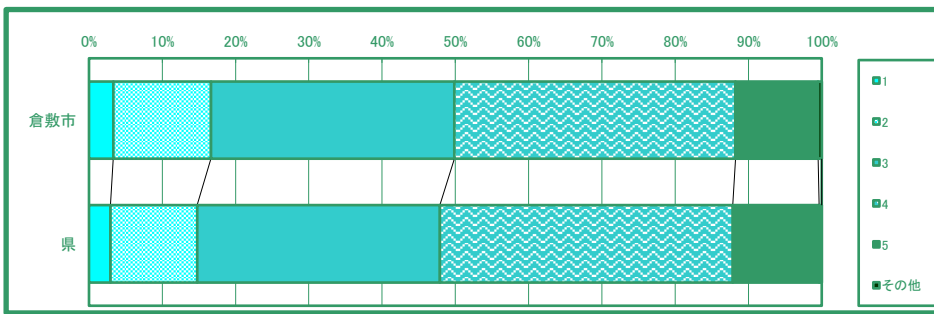
学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
倉敷市	5.0	18.1	37.9	26.4	8.6	3.0	0.5	0.4
県	6.0	20.7	38.5	24.2	7.7	2.3	0.3	0.2



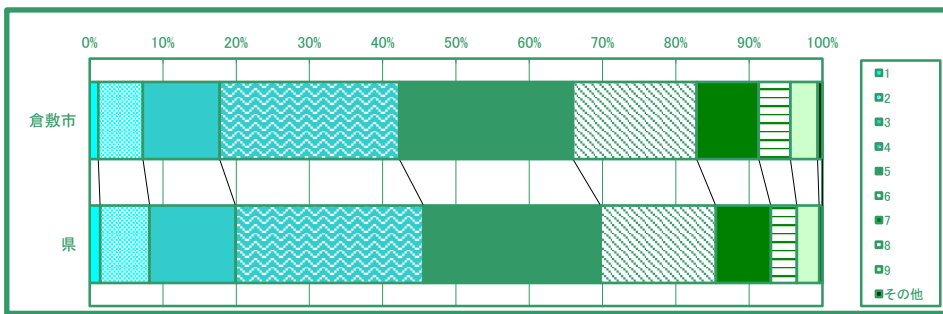
学校に行く日は、1日に何時間ぐらい睡眠をとりますか

	1 6時間より短い	2 6時間～7時間より短い	3 7時間～8時間より短い	4 8時間～9時間より短い	5 9時間以上	その他
倉敷市	3.3	13.3	33.2	38.4	11.3	0.5
県	2.9	11.8	33.1	40.0	11.8	0.4



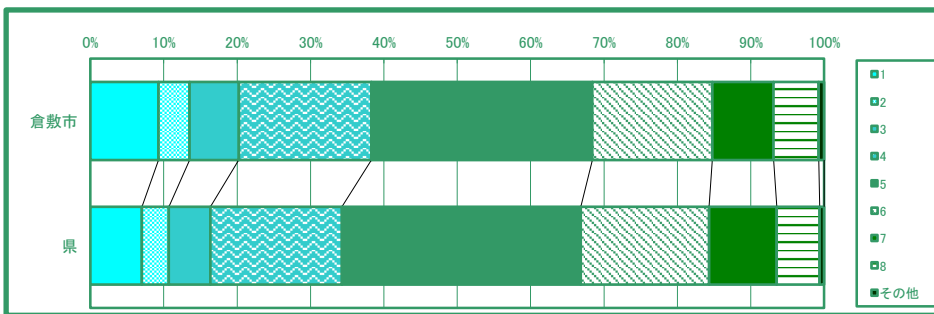
学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
倉敷市	1.2	6.1	10.5	24.5	23.7	16.9	8.5	4.3	3.7	0.7
県	1.4	6.8	11.7	25.7	24.2	15.7	7.5	3.6	3.0	0.4



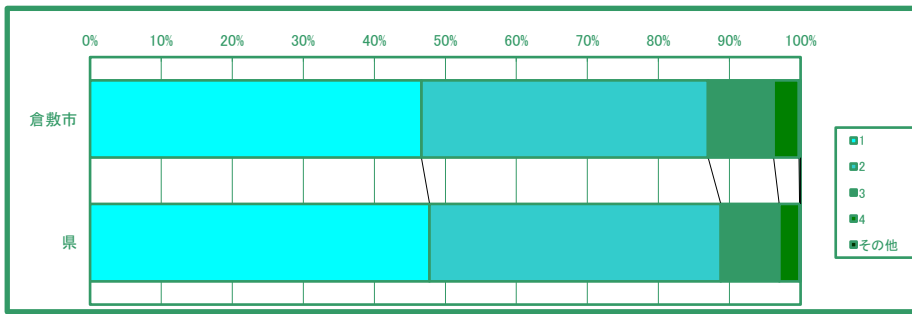
学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
倉敷市	9.3	4.2	6.7	18.1	30.1	16.3	8.4	6.2	0.7
県	7.0	3.7	5.7	17.9	32.6	17.5	9.2	5.8	0.6



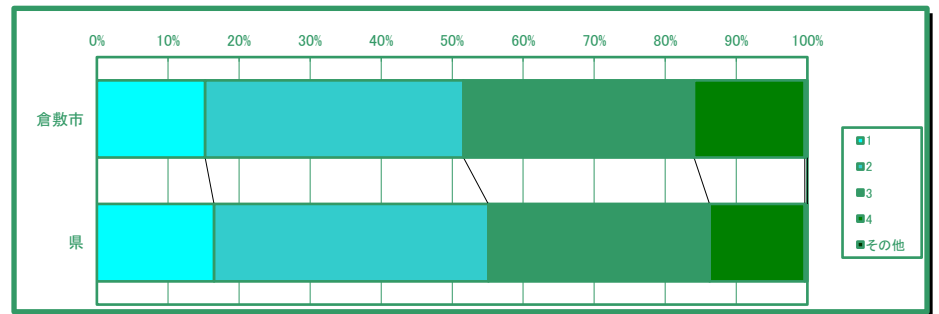
学校が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	46.6	40.4	9.2	3.6	0.2
県	47.8	41.0	8.2	2.9	0.1



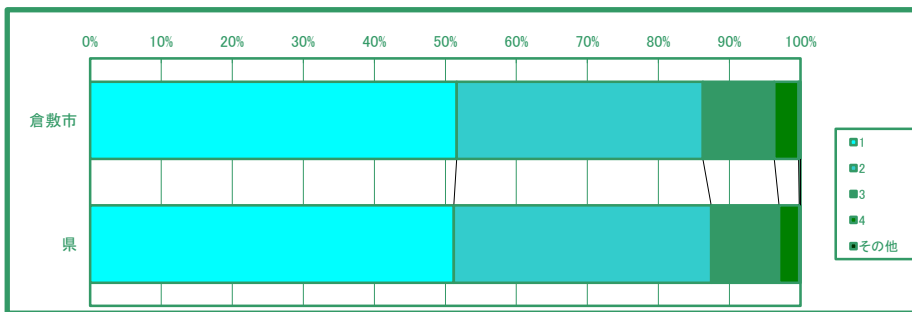
自分のことが好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	15.2	36.4	32.4	15.6	0.4
県	16.5	38.6	31.1	13.4	0.4



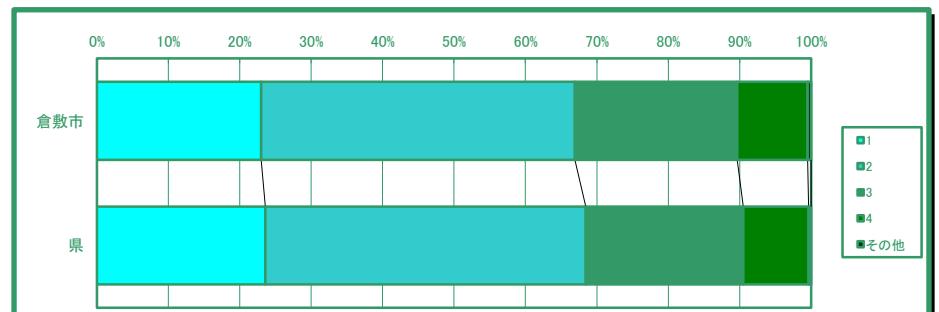
自分が住んでいる地域が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	51.6	34.6	10.0	3.4	0.3
県	51.2	36.2	9.6	2.8	0.2



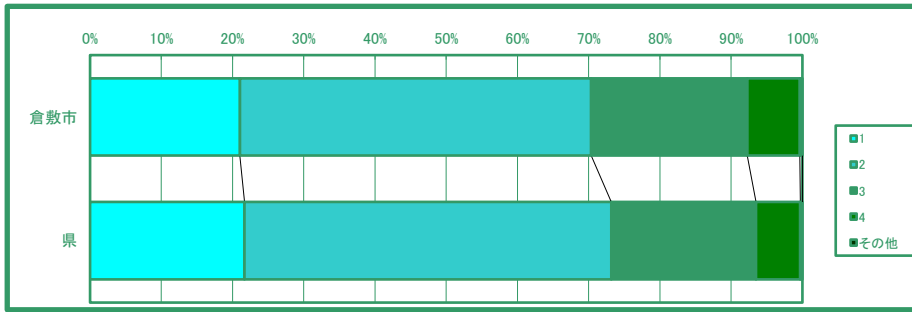
自分には、良いところがあると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	23.0	43.9	22.7	9.9	0.5
県	23.6	44.9	22.1	9.2	0.3



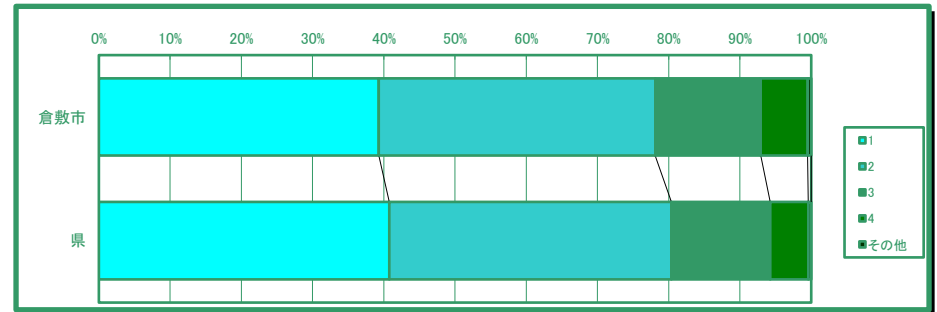
自分は、友だちから認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	21.0	49.3	21.9	7.4	0.4
県	21.7	51.5	20.3	6.2	0.3



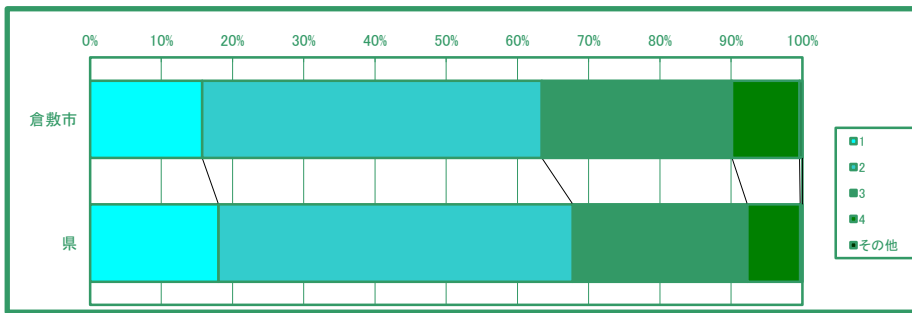
自分は、家の人から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	39.3	38.8	14.8	6.6	0.5
県	40.8	39.6	13.9	5.3	0.4



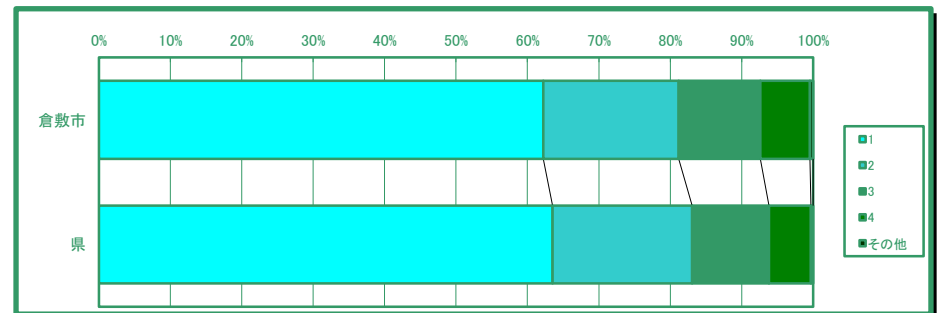
自分は、先生から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	15.7	47.7	26.7	9.5	0.4
県	18.0	49.8	24.5	7.4	0.3



将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	62.2	18.9	11.4	6.9	0.4
県	63.5	19.5	10.8	5.8	0.3



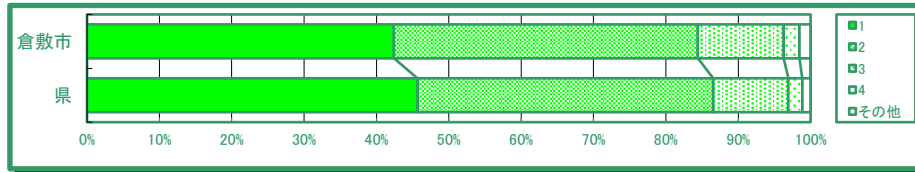


【岡山県学力・学習状況調査対応】  
独自質問調査結果

中学1年生

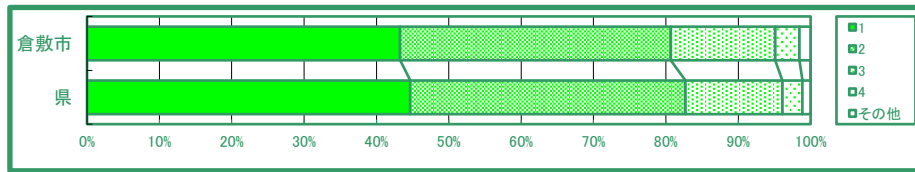
(1) 理科の授業は、理解していた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	42.4	42.0	11.9	2.2	1.5
県	45.7	40.9	10.4	1.9	1.1



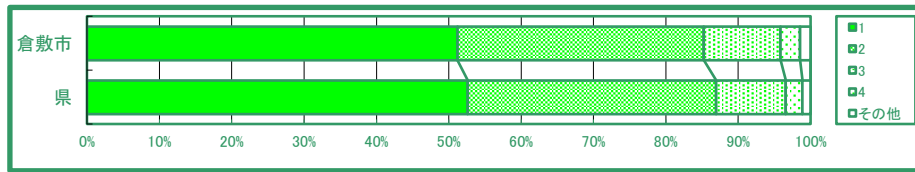
(2) 社会の授業は、理解していた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	43.3	37.4	14.4	3.4	1.5
県	44.7	38.0	13.4	2.8	1.1



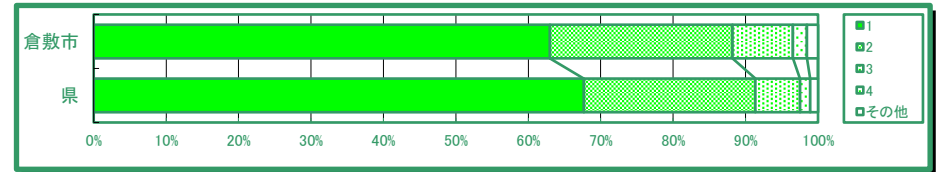
(3) 人の役に立つ人間になりたいと思っていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	51.2	34.1	10.6	2.7	1.4
県	52.6	34.3	9.6	2.3	1.1



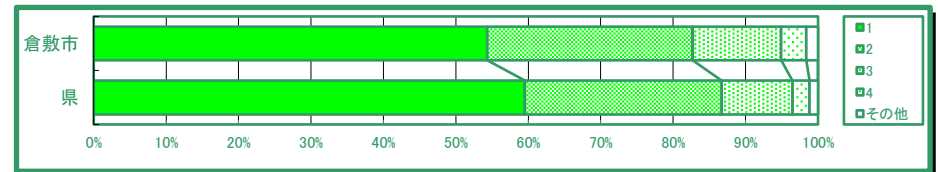
(4) 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	63.0	25.2	8.4	1.9	1.5
県	67.7	23.7	6.1	1.4	1.1



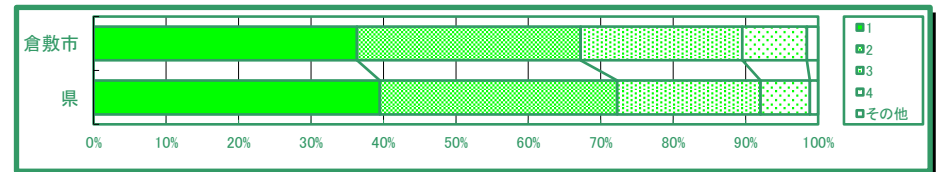
(5) 授業の中で、めあて(目標)が示されていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	54.3	28.4	12.2	3.5	1.6
県	59.5	27.2	9.8	2.4	1.2



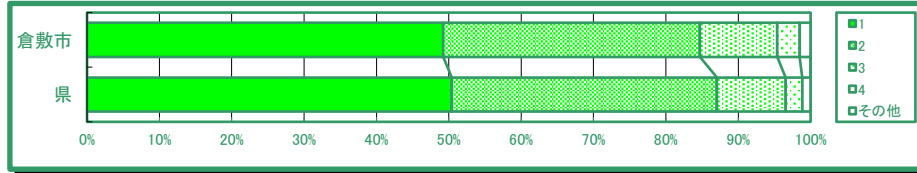
(6) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	36.4	30.9	22.3	8.9	1.5
県	39.5	32.8	19.8	6.8	1.1



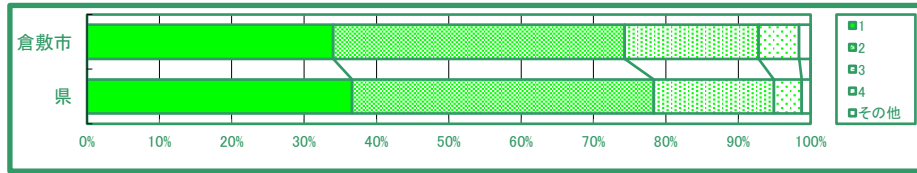
(7) 授業の中で、じっくり考える時間があったと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	49.2	35.5	10.7	3.1	1.5
県	50.4	36.6	9.5	2.3	1.2



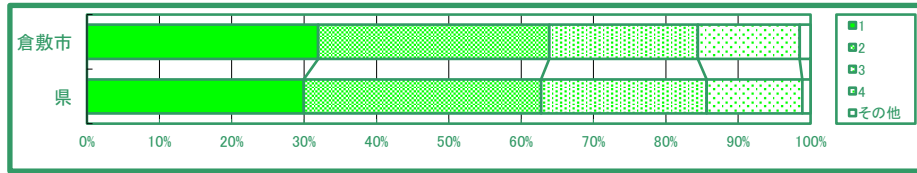
(8) 授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	34.0	40.3	18.5	5.6	1.6
県	36.6	41.7	16.6	3.9	1.2



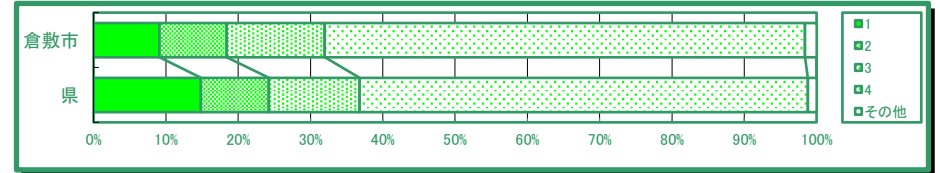
(9) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい

	1 そう思う	2 どちらかといえば、 そう思う	3 どちらかといえば、 そう思わない	4 そう思わない	その他
倉敷市	32.0	31.9	20.5	14.1	1.5
県	29.9	32.8	22.9	13.2	1.1



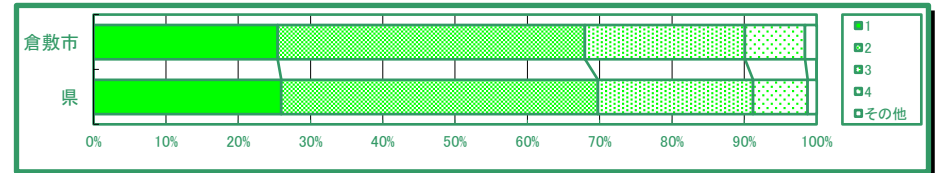
(10) 放課後などに学校で行われる補充学習に参加していた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	9.1	9.3	13.6	66.4	1.6
県	14.9	9.4	12.5	62.0	1.2



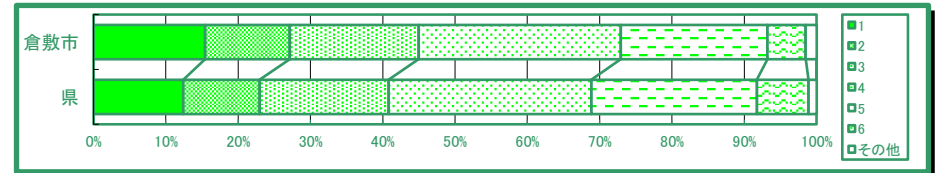
(11) 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていましたか

	1 できていた	2 どちらかといえば、 できていた	3 どちらかといえば、 できていなかった	4 できていなかった	その他
倉敷市	25.5	42.5	22.1	8.3	1.6
県	26.0	43.8	21.5	7.6	1.2



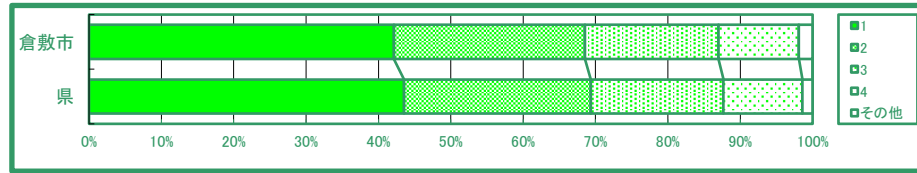
(12) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしていましたか

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	15.4	11.7	17.8	28.0	20.3	5.3	1.5
県	12.4	10.6	17.8	28.0	22.9	7.1	1.1



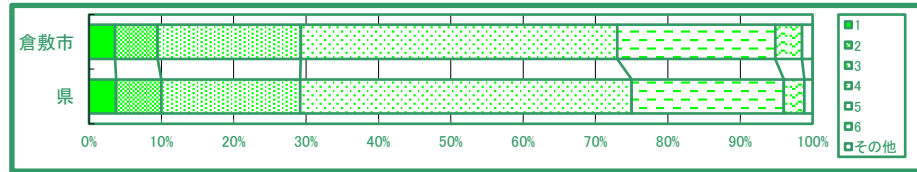
(13) 携帯電話やスマートフォン、ゲームの利用方法について、家庭でルールを決めていましたか

	1 決めていた	2 どちらかといえば、 決めていた	3 あまり決めていな かった	4 まったく決めていな かった	その他
倉敷市	42.1	26.4	18.5	11.1	1.9
県	43.5	25.8	18.3	10.9	1.4



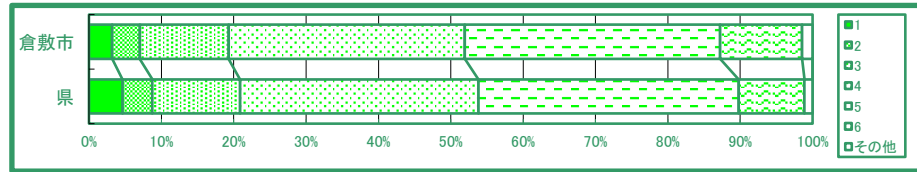
(14) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	3.6	5.9	19.8	43.7	21.8	3.7	1.5
県	3.8	6.2	19.2	45.8	21.0	2.8	1.1



(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしましたか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	3.2	3.8	12.3	32.7	35.3	11.3	1.4
県	4.6	4.1	12.1	32.9	36.0	9.1	1.1

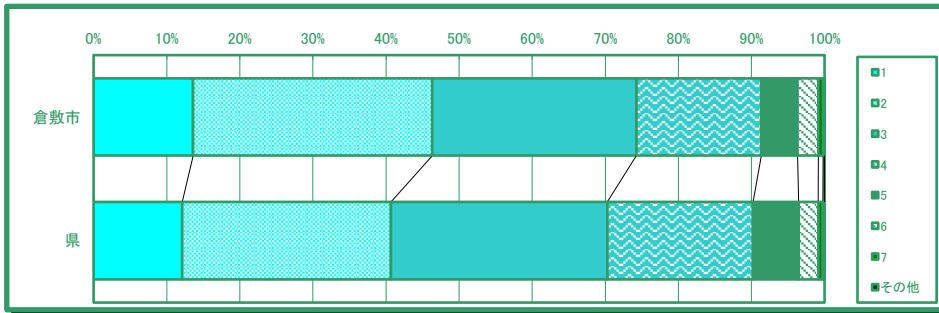


【岡山県学力・学習状況調査対応】  
生活行動・学習活動調査

中学2年生

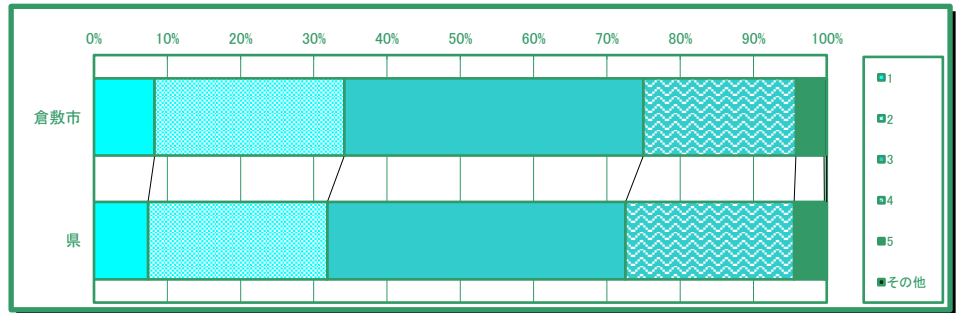
学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
倉敷市	13.6	32.7	27.9	17.1	5.0	2.8	0.7	0.2
県	12.1	28.5	29.6	20.0	6.2	2.7	0.6	0.2



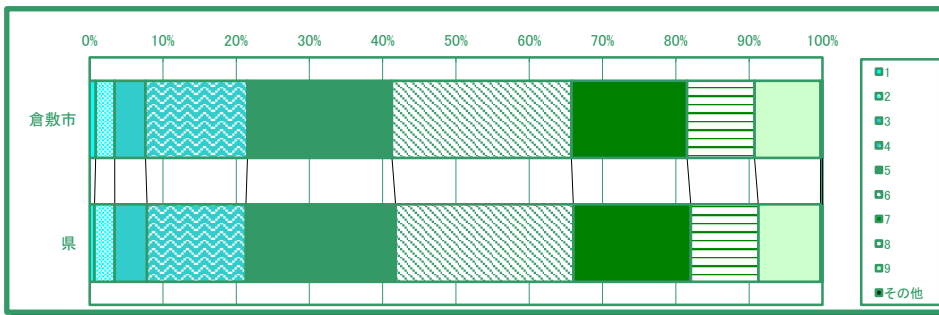
学校に行く日は、1日に何時間ぐらい睡眠をとりますか

	1 6時間より短い	2 6時間～7時間より短い	3 7時間～8時間より短い	4 8時間～9時間より短い	5 9時間以上	その他
倉敷市	8.3	25.9	40.8	20.8	3.8	0.4
県	7.4	24.5	40.7	23.0	4.1	0.3



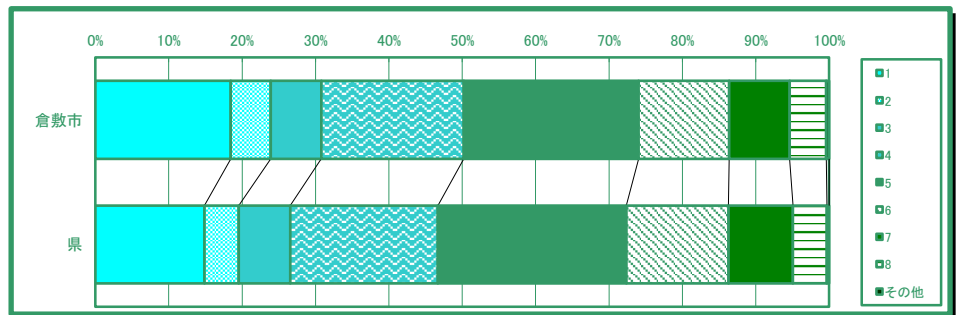
学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
倉敷市	0.8	2.6	4.2	13.9	19.7	24.5	15.8	9.2	9.0	0.2
県	0.7	2.8	4.4	13.5	20.4	24.3	16.0	9.2	8.5	0.3



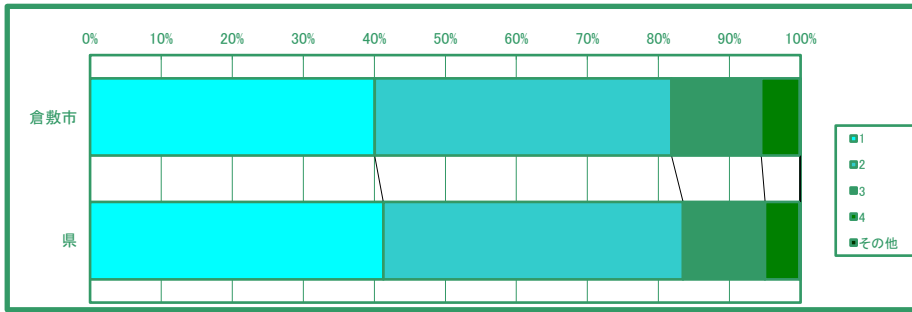
学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
倉敷市	18.5	5.4	6.9	19.4	23.8	12.3	8.2	5.0	0.4
県	14.9	4.7	7.0	20.1	25.7	13.9	8.8	4.6	0.3



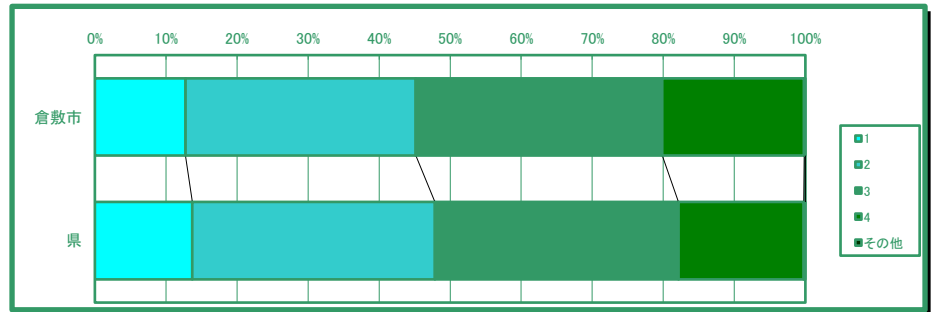
学校が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	40.1	41.8	12.6	5.4	0.1
県	41.3	42.2	11.5	4.9	0.1



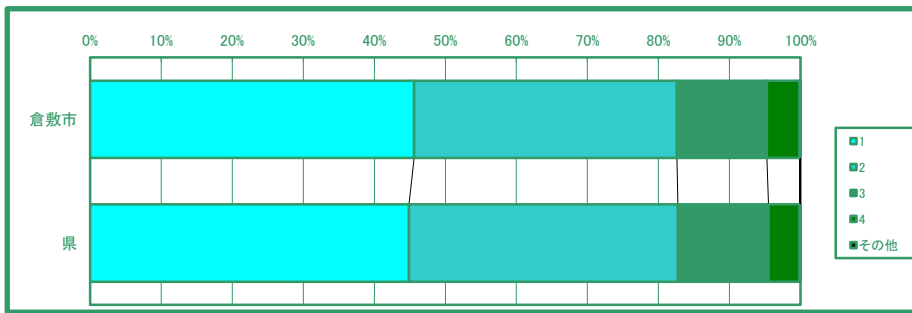
自分のことが好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	12.8	32.4	34.7	20.0	0.2
県	13.7	34.1	34.3	17.6	0.2



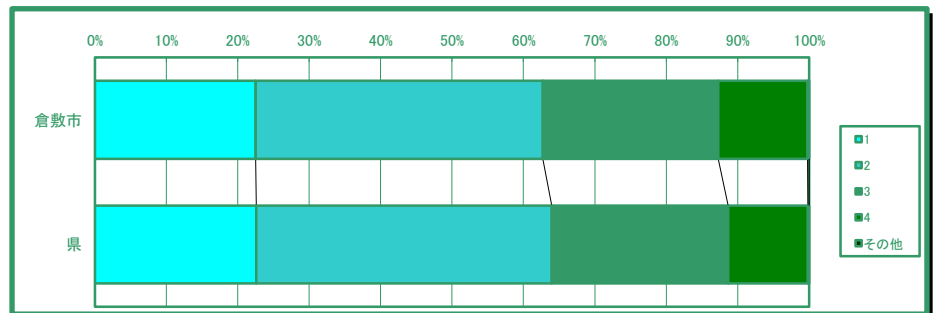
自分が住んでいる地域が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	45.6	37.0	12.7	4.6	0.1
県	44.9	37.8	12.7	4.4	0.1



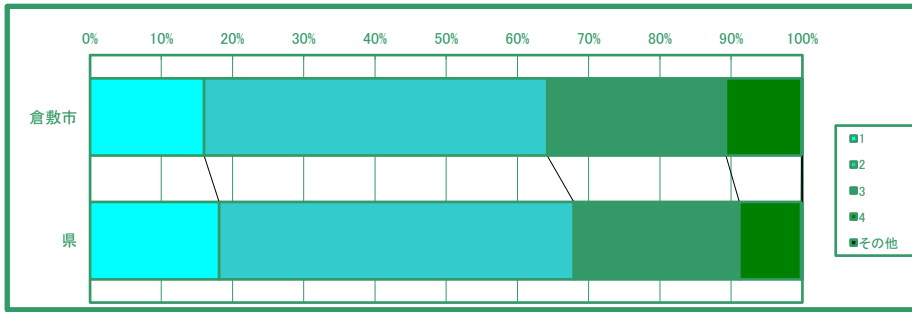
自分には、良いところがあると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	22.5	40.2	24.6	12.5	0.2
県	22.6	41.4	24.7	11.1	0.2



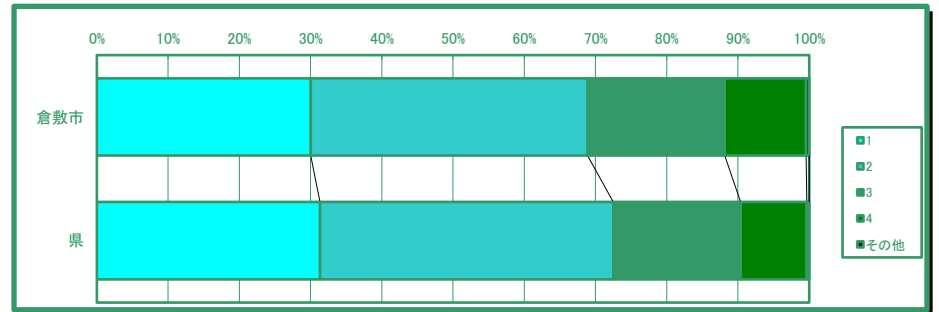
自分は、友だちから認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	16.0	48.2	25.1	10.6	0.1
県	18.1	49.8	23.2	8.7	0.2



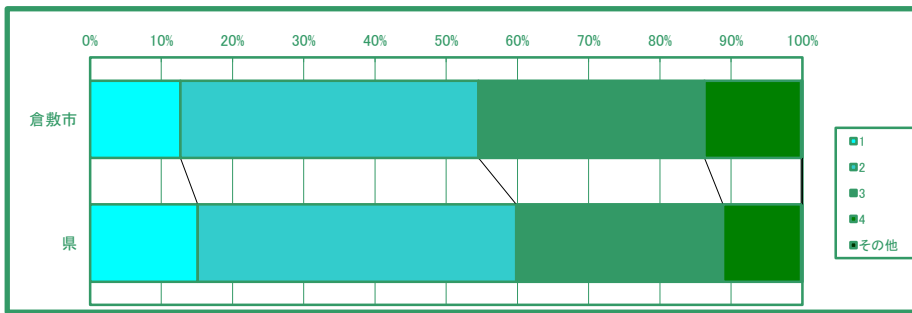
自分は、家の人から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	30.0	38.9	19.3	11.4	0.4
県	31.3	41.2	17.9	9.3	0.3



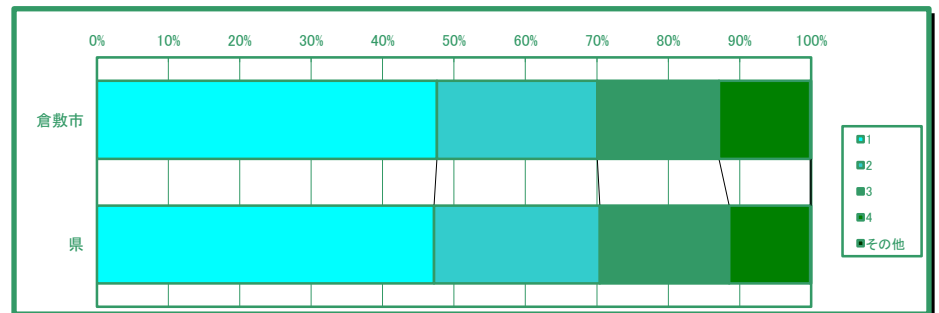
自分は、先生から認められていると思う

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	12.7	41.8	31.7	13.6	0.2
県	15.1	44.7	29.0	11.0	0.2



将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	47.6	22.5	17.0	12.8	0.1
県	47.2	23.2	18.1	11.3	0.2

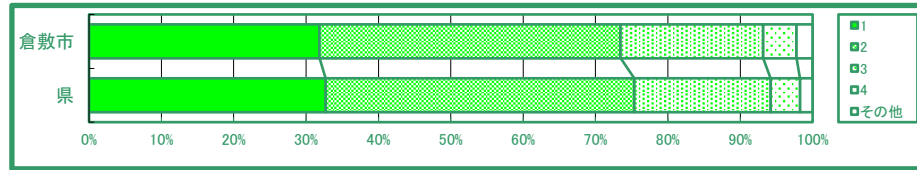


【岡山県学力・学習状況調査対応】  
独自質問調査結果

中学2年生

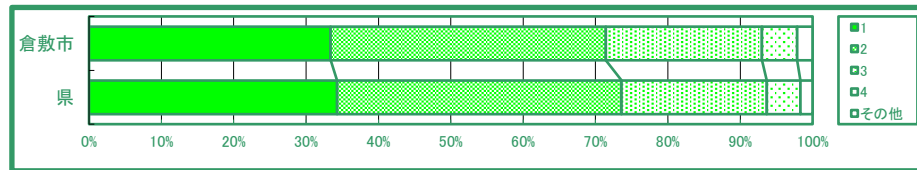
(1) 理科の授業は、理解していた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	31.9	41.6	19.7	4.6	2.2
県	32.7	42.7	18.8	4.1	1.7



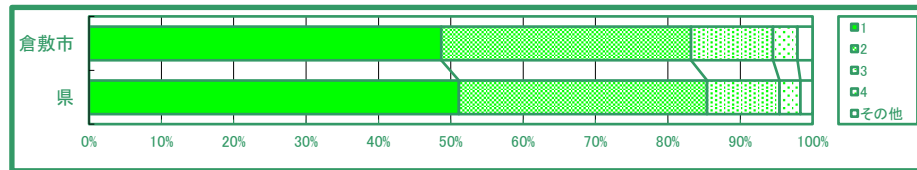
(2) 社会の授業は、理解していた

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
倉敷市	33.4	38.0	21.6	4.9	2.1
県	34.3	39.3	20.1	4.7	1.7



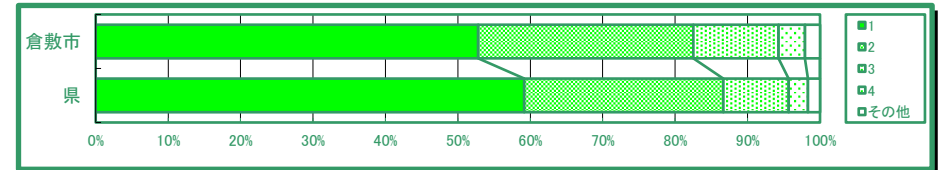
(3) 人の役に立つ人間になりたいと思っていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	48.7	34.5	11.3	3.4	2.1
県	51.1	34.3	10.0	2.9	1.7



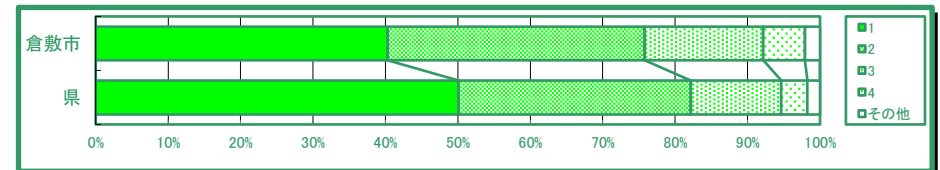
(4) 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	52.8	29.7	11.8	3.6	2.1
県	59.2	27.5	9.0	2.7	1.7



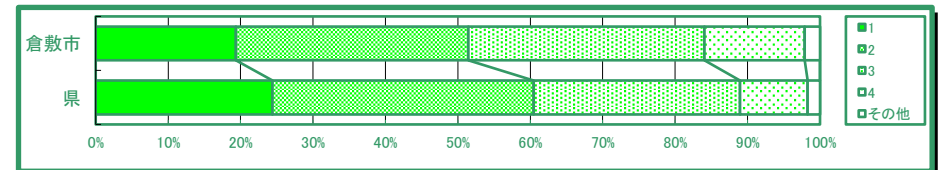
(5) 授業の中で、めあて(目標)が示されていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	40.3	35.5	16.4	5.7	2.1
県	50.1	32.0	12.5	3.6	1.7



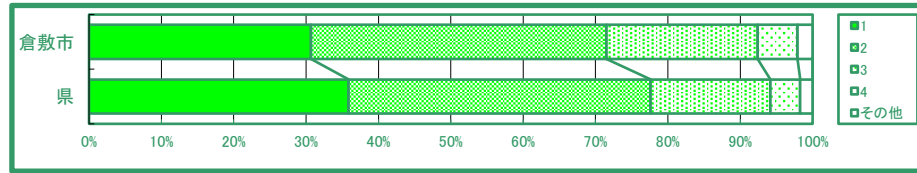
(6) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、あてはまる	3 どちらかといえば、あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	19.4	32.1	32.6	13.8	2.1
県	24.4	36.0	28.5	9.3	1.7



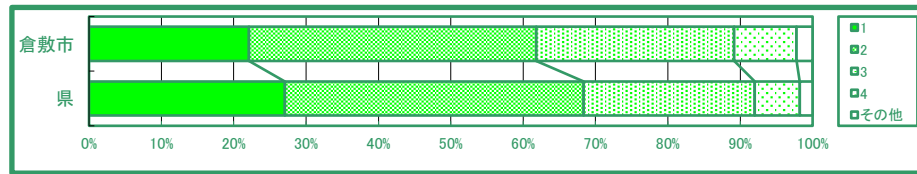
(7) 授業の中で、じっくり考える時間があったと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	30.7	40.8	20.9	5.5	2.1
県	35.9	41.7	16.5	4.1	1.7



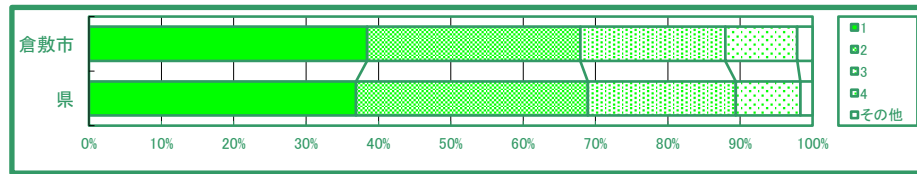
(8) 授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	22.1	39.7	27.4	8.6	2.2
県	27.0	41.3	23.7	6.2	1.8



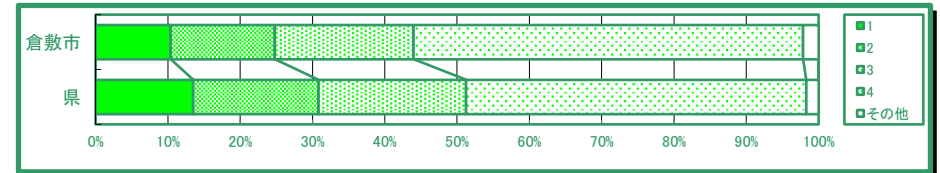
(9) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい

	1 そう思う	2 どちらかといえば、 そう思う	3 どちらかといえば、 そう思わない	4 そう思わない	その他
倉敷市	38.4	29.5	20.0	10.0	2.1
県	36.9	32.0	20.5	8.9	1.7



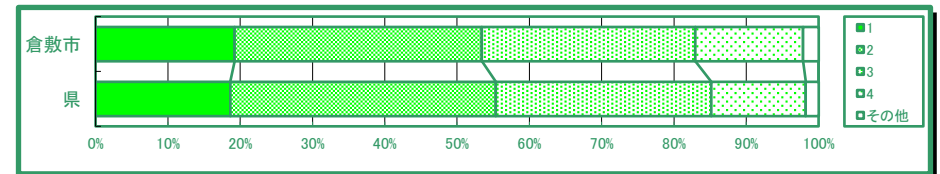
(10) 放課後などに学校で行われる補充学習に参加していた

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	その他
倉敷市	10.4	14.4	19.2	53.9	2.1
県	13.5	17.3	20.4	47.0	1.7



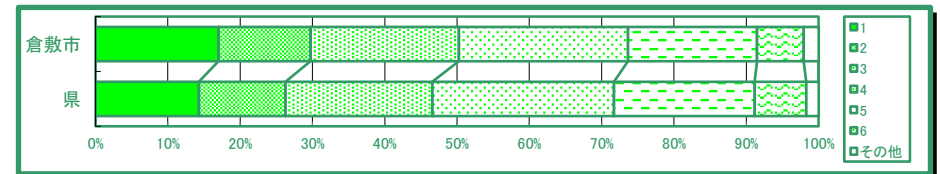
(11) 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていましたか

	1 できていた	2 どちらかといえば、 できていた	3 どちらかといえば、 できていなかった	4 できていなかった	その他
倉敷市	19.2	34.2	29.5	14.9	2.1
県	18.6	36.7	29.8	13.1	1.8



(12) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしていましたか

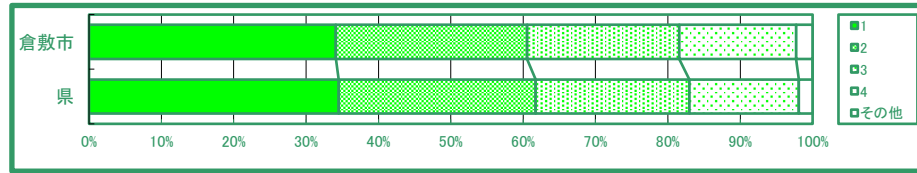
	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	17.0	12.7	20.5	23.4	17.9	6.4	2.1
県	14.3	12.0	20.3	25.1	19.4	7.1	1.7





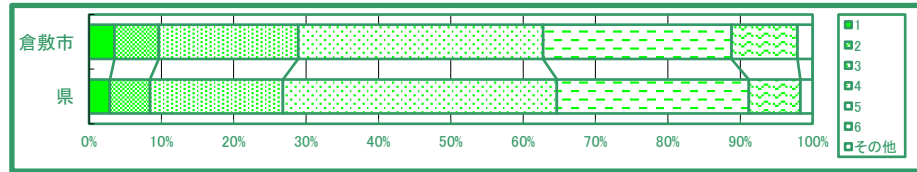
(13) 携帯電話やスマートフォン、ゲームの利用方法について、家庭でルールを決めていましたか

	1 決めていた	2 どちらかといえば、 決めていた	3 あまり決めていな かった	4 まったく決めていな かった	その他
倉敷市	34.1	26.4	21.0	16.2	2.3
県	34.5	27.2	21.2	15.1	1.9



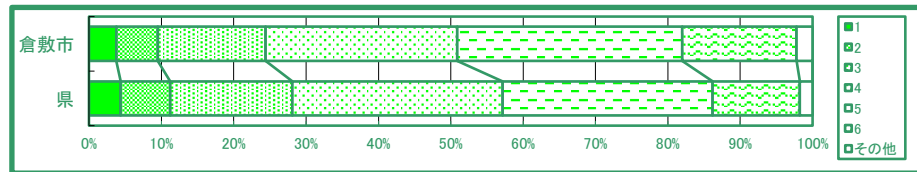
(14) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	3.5	6.1	19.3	33.8	26.0	9.1	2.1
県	2.9	5.5	18.4	37.9	26.5	7.1	1.7



(15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていましたか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間 より少ない	3 2時間以上、3時間 より少ない	4 1時間以上、2時間 より少ない	5 1時間より少ない	6 まったくしていな かった	その他
倉敷市	3.8	5.7	14.9	26.5	31.1	15.8	2.2
県	4.4	6.8	16.9	29.0	29.0	12.0	1.8



## 5 考察

## (1) 学力調査の結果から

### ◆小学校国語について【○成果 ●課題】

- どの学年でも、「読むこと」では、物語文、説明文ともに県の正答率を上回っている設問が多い。普段の授業で内容を丁寧に押さえられていることが窺える。特に、小学5年生では全ての設問で県平均を上回っている。
- 小学5年生において平成28年度は、全国との差が-1.6ポイントあったが本年度は-1.2ポイントと差が縮まっている。
- 「話すこと・聞くこと」では、ほとんどの問題で県平均を上回っている。
- 漢字を書く問題については、県平均を下回る問題が多い。繰り返し漢字を書いて覚えることが必要である。
- 「書くこと」では、多くの問題で県平均を上回るなど改善が見られるものの、どの学年でも全国と比較した場合、5ポイント以上差がある問題も見られる。児童が意欲を高めながら、書けるようになるための手立てをスモールステップで設ける必要がある。

### ◆小学校算数について【○成果 ●課題】

- 「数と計算」では県平均を上回っている問題が多く、日頃の授業や家庭学習の中での取組が成果として表れている。
- 今年度の小学5年生は、全国正答率との差が-2.2ポイントであったが、同一団体の昨年度の調査結果から見ると、平成28年度の全国正答率との差-5.6ポイントから大幅に改善されている。今まで本市において課題であった割合の基礎となる文章問題において、改善が見られている。
- 文で自分の考えを説明する問題において、県平均を上回る問題が出てきている。授業で自分の考えをノートに書いたり、図と式と言葉を結びつけて考えたりできるように教師が指導している成果が表れている。
- 「量と測定」「図形」では、全国平均を5ポイント以上下回る問題が複数見られる。特に、小学4年生の「量と測定」の問題では、地図から道のりを読み取る問題において、全国平均を20ポイント以上下回っている。距離と道のりの用語の使い分けを改めて指導する必要がある。5年生のひし形を作図する問題においては、全国平均を8ポイント下回っている。作図を丁寧に指導するとともに、作図方法を定期的に復習する必要がある。
- コップに入ったジュースの量や教室の面積等、量感がもてていないという課題も見られる。授業中だけでなく、牛乳パックやペットボトルの容量、教室の広さ等といった量感に生活の中でも教師が意図的に目を向けさせ、それを育てていく必要がある。また、単位の換算にも課題が見られる。

### ◆中学校国語について【○成果 ●課題】

- 漢字を読むことは全国平均を上回る問題もあり、定着ができていない問題が多い。
- 中学2年生について昨年度の調査との比較を行ったところ、県平均との差が-2.3ポイントあった活用の問題が、今年度は-0.7ポイントとなっており、県平均との差が縮まっている。単語や故事成語など伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項において県平均や全国平均を上回るものがあり、効果的な指導が行われたものと考えられる。

- 漢字を書くことでは、全ての問題で県平均を下回っており、授業や家庭学習で何度も繰り返して書く必要がある。
- 「書くこと」の領域に特に問題が見られる。中学1年生では、全国と比べて多くの問題において4ポイント以上、中学2年生では3ポイント以上下回っている。小学校同様、生徒の意欲が高まるような適切な課題を設定し、学習指導要領解説編の指導事項に沿った丁寧な指導が求められる。

#### ◆中学校数学について【○成果 ●課題】

- 中学2年生では「数と式」「関数」の領域において、県平均や全国平均を上回っている問題が多くある。また、下回っている問題についても、1ポイント以上下回っている問題はほとんどない。
- 中学2年生について昨年度の調査との比較を行ったところ、基礎・活用とも、昨年度に比べて県平均との差が縮まっている。平成28年度は、基礎が県平均との差が-1.9ポイントであったが、今年度は-1.2ポイント、活用は県平均との差が-2.3ポイントであったが、今年度は-2.0ポイントとなっている。不等式や方程式、反比例等において全国平均を5ポイント以上上回っている問題がある。
- 中学1年生ではすべての問題において県平均を下回っている。授業や家庭学習で既習事項をしっかり復習する必要がある。その中でも「図形」は県平均との差が大きい傾向が見られる。
- 中学2年生では、「図形」、「資料の活用」に課題が見られる。「資料の活用」では、資料やグラフから適切に情報を読み取る練習を行ったり、考えた根拠を整理してノートに書いたりするなど、説明する機会を授業の中に多く設けることが大切である。

#### ◆中学校英語について【○成果 ●課題】

- 語形・語法・語順を問う設問については県平均を上回っているものがいくつかある。繰り返し読んだり書いたりしたことの結果であると考えられる。
- ”How many CDs do you have?”を書く問題は、”Where is it?”を書く問題よりも正答率が高くなっている。このことは、繰り返し学習によって”How many～?”が定着していることを表していると考えられる。普段から4技能を関連させた、繰り返し学習をすることが必要である。
- 毎時間の授業の中で、どの活動についても、目的を持って取り組むことが必要となってくる。「聞くこと」については、生徒が英語を聞く機会を増やすだけでなく、場面を考えながら聞くよう指導することが必要である。
- 「書くこと」については、書いてまとめたものを、ペアやグループで相手に伝えることを通して、自由に表現する力へと繋げていくことが必要である。

### (2) 質問紙調査の結果から【○成果 ●課題】

#### ◆家庭での学習・生活について

- 小学校において、「学校が好きである」という質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合は、県平均より上回っている。また、自己肯定感も高い傾向が見られる。また、小中学校ともに、「自分が住んでいる地域が好きである」という質問に対しての回答が、県平均よりも高い。
- 「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていましたか」という質問に対して、平日に1時間以上勉強する児童生徒の割合は、中学1年生は小学6年生の時よりも増加している。

- 平日に1時間以上学習する児童生徒の割合が、小学5年生、中学1年生での学習時間に比べて中学2年生では少なくなっている。学習時間の増加に向けて、生徒・教師・保護者が共通理解を図る必要がある。
- 中学1年生では、昨年度の中学1年生に比べて今年度の中学1年生はテレビゲームをする時間が長い傾向にある。メディアコントロールについての早急な対策を行う必要がある。

#### ◆学校での学習について

- 中学1年生において過去3年間80%以上の生徒が「授業の中でめあて（目標）が示されていたと思う」という質問に対して肯定的な回答をしている。「授業ファイブ」にもとづいた授業が定着していることが窺える。この数値がさらに上昇するよう取り組みたい。
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。」という振り返りについての質問では、めあてに比べるとやや肯定的な回答が下がっている。振り返りのもつ意味や効果について、今一度周知を図る必要がある。

### (3) 考察

◇ 小学校においては、国語、算数とも平均正答率が県平均を上回っている。しかし、中学校では国語、数学、英語ともに県平均を下回っている。特に中学1年生は、同一集団で昨年度の県平均と比較した場合、国語・数学（算数）ともに下回っている。様々な要因があると考えられるが、行事などで多忙な小学6年生において、どのように落ち着いて授業を進めるかということや、小学校の学習のまとめとして適切な復習をいかに行うか等が課題である。また、学習状況調査の結果から、当該学年では、昨年度に比べてゲームをする時間が長くなっているという課題も窺えることから、メディアコントロールが今後一層課題となる。

H28 国語 A +0.4 国語 B +0.1 → H29 -2.0

H28 算数 A -1.3 算数 B -0.6 → H29 -4.0

◇ 小学校、中学校ともに、国語については物語文や説明文の読み取りはよく理解できている。しかし、漢字を書くことに課題が見られる。また、文章を条件に従って書く設問については、小学校においてかなり改善が見られるものの、中学校においては引き続き課題が見られる。漢字を書くことについては、定着しないまま次の学年に進んでいるといった課題が見られる。現在行っている「基礎・基本定着モデル事業」の成果も踏まえながら、漢字の効果的な習得について検証したい。

◇ 算数・数学については、「数と計算」の領域である基礎的な計算は県の平均正答率を上回っている設問が多い。数年前までは、この領域も多くの問題で県平均正答率を下回っていたことを考えると大きな成果だと考える。しかし、「量と測定」の領域や「図形」の領域においては依然課題が見られる。研修会などで具体的な設問を示しながら何度も繰り返して説明するとともに、授業や生活の中で教員が自らこの領域が課題であると認識して児童生徒を指導することが大切であると考え。また、本市に導入されている、フラッシュ型教材を研修などで周知し、教員が活用を図ることで単位の換算等の「量と測定」に関する課題を確実に習得できるようにしたい。

◇中学校数学の正答率度数分布表において、山が二つあるいは三つになっている。二極化あるいはそれ以上に生徒集団が分散している傾向が見られる。基礎が定着していない生徒に対して、基礎・基本を徹底させる必要がある。同時に、このような傾向が生まれないように、小学校のうちから基礎・基本を定着させる必要がある。

◇今回課題が見られた設問については二学期に類題を中心とした補充問題を各学校に配布し、課題の克服を図りたい。また、「春休みの課題」でも同様に課題が見られた問題について取り上げたい。

◇平日に1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学5年生71.3%、中学1年生73.0%となっており、学年が上がると増加している。しかし、中学2年生では62.7%と小学5年生、中学1年生より減少している。特に、中学校において家庭学習を充実させていく必要がある。小学校で行われている自主学習の習慣を中学校でも取り入れることも必要であると考え。また、今年度は小学校においてパソコンの更新時期とも重なり、全小学校のパソコンルーム等においてタブレット型のパソコンが導入される。家庭においても、学習の教材面でのサポートという視点から、学習支援システムのIDとパスワードを全小学校の全児童に発行し家庭での利用を促進し、家庭学習の習慣化を図りたい。

◇授業改革リーダー・授業改革推進員による授業改革推進チームが各配置校、兼務校において学力向上のための取組を進めており、効果が見られている。今後、これを配置校、兼務校以外の学校にも広げることができるように、授業改革推進チームが配信している通信を市内すべての小・中学校に配信できるようにしたい。

# 平成29年度倉敷市学力調査 調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成29年8月

# 目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・調査の内容	1
3 倉敷市の学力の概要	2
(1) 各教科の結果	3
(2) 教科別の結果	4～5
(3) 設問別の結果	6～10
4 倉敷市の学力の特徴	11
・ 中学1年生・中学2年生 教科概要, 誤答分析シート(社会・理科)	12～19
5 考察	20



## 平成29年度 倉敷市学力調査について

### 1 調査目的

中学校第1学年及び第2学年において、岡山県学力・学習状況調査で実施していない社会・理科の学力の状況を把握・分析し、教育指導の成果と課題を検証・改善するとともに、結果に基づき個々の生徒が自らの学習等の改善に資する。また、この調査結果を踏まえ、授業改善を推進することにより、生徒の学力向上を図る。

### 2 調査対象者・実施日・調査の内容

#### (1) 調査対象者

市立中学校に在籍する第1学年及び第2学年を対象とし、県の調査に準ずる。

倉敷市受検者数 4月18日受検

【中学校】第1学年…4,074人 第2学年…4,112人

#### (2) 実施日 平成29年4月18日(火)

#### (3) 調査の内容

【中学校】第1学年及び第2学年…社会・理科

- ◆学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、出題範囲は、それぞれの前学年までの学習内容とする。
- ◆基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題する。

### 3 倉敷市の学力の概要

※倉敷市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

※本調査は、小学3年生が約8万人、小学4年生が約12万人、小学5年生が約15万人、中学1年生が約10万人、中学2年生が約10万人、その他、希望する自治体や学校が受検している調査である。そのため、全国の正答率は、全国学力・学習状況調査のように全ての小中学校の児童生徒の結果を反映している数値ではない。

(1) 各教科の結果

①各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

中学2年生 社会

	H29(中2)	H28(中1)
倉敷市	52.1	58.8
岡山県		57.3
全国	51.9	
県との差		1.5
全国との差	0.2	

中学2年生 理科

	H29(中2)	H28(中1)
倉敷市	51.3	58.7
岡山県		60.3
全国	52.6	
県との差		-1.6
全国との差	-1.3	

②過去の同学年との平均正答率の比較【単位は%】

中学1年生 社会

	H29(中1)	H28(中1)
倉敷市	56.2	58.8
岡山県		57.3
全国	58.6	
県との差		1.5
全国との差	-2.4	

中学1年生 理科

	H29(中1)	H28(中1)
倉敷市	58.7	58.7
岡山県		60.3
全国	61.1	
県との差		-1.6
全国との差	-2.4	

- ・社会と理科については、平成28年度調査は岡山県独自問題であり全国の平均正答率はない。また、平成29年度は、市の独自調査であり県の平均正答率はないため、単純には比較できないが、それぞれの年度で、県と全国とを比べて分かることを記述する。
- ・中学2年生の社会の経年比較において、平成28年度は県平均を、平成29年度は全国の平均をそれぞれ上回っている。
- ・理科では、平成28年度は県平均を1.6ポイント、平成29年度は全国平均を1.3ポイントそれぞれ下回っている。
- ・過去の学年と比較すると、中学1年生において、平成28年度は、社会が県平均を1.5ポイント上回っていたが、平成29年度は全国平均を2.4ポイント下回っている。理科は、平成28年度は県の平均正答率を1.6ポイント下回っている。平成29年度は、全国平均を2.4ポイント下回っている。

## (2) 教科別の結果

### ①中学校 社会

#### ○結果の概要

	1年生	2年生
倉敷市 平均正答率(%)	56.2	52.1
全国平均 との差	-2.4	0.2
正答率 度数分布		
結果 (標準S) 国に対して	<p>教科全体</p>	<p>教科全体</p>
領域別 結果		

#### <現状>

地名や人物などの名称を答えたり，世界や日本の諸地域や時代の文化の特色を答えたりする「情報を求める問い」における問題は，正答率が高く，概ね良好な結果であった。一方で，資料を読み取ることにはできるが，複数の資料をもとに考察し，その内容を表現したり，社会事象を説明したりする「情報間の関係を求める問い」における問題は，正答率が低い。すなわち，情報と情報を関連付ける必要がある問題への課題が見られる。

#### <今後に向けて>

羅列的に習得した知識は，様々な事象を関連付けたり，一定のまとまりのある知識を形成したりすることはできず，習得した知識が断片的なものとなって活用することができない。このため，授業設計の段階において，本時のまとめの内容が，めあてを深めるようなものになっているか，また，本時の目標が具体的なものであり，本時のまとめとつながっているかが大切である。さらに，授業展開する段階において意見を交流することで，自分の意見をまとめたり，高めたりするなどの主体的かつ対話的な学習を，教師が意図的に取り入れることが大切である。

## ②中学校 理科

### ○結果の概要

	1 年生	2 年生
倉敷市 平均正答率 (%)	58.7	51.3
全国平均 との差	-2.4	-1.3
正答率 度数分布		
結果 (標準 S) 国に対して	<p>48.7</p> <p>教科全体</p>	<p>49.4</p> <p>教科全体</p>
領域別 結果	<p>物質・エネルギー: 64%</p> <p>生命・地球: 56%</p>	<p>エネルギー: 45%</p> <p>粒子: 54%</p> <p>生命: 57%</p> <p>地球: 50%</p>

### <現状>

2年生の「生命」の領域では全国平均を上回っている。しかし、1・2年生とも、基礎・活用ともに全国平均を下回る結果となった。特に活用は1年生で3.4ポイント、2年生で3.3ポイント下回っている。基礎・基本的な知識や技能を活用し、実験結果を解釈して規則性を見出したり、自分の考えを記述することに課題がある。特に2年生の記述式の問題（2問）では、無回答率が40%を超えている。

### <今後に向けて>

授業で行われる「密度や圧力」などの計算を、形式的な操作に終わらせず、単位や物理量を意識させた指導を日々の授業で改めて行う必要がある。また、授業で学んだことや原理や法則と身の周りの現象や日常生活とをつなげるために、どのような場面でその学習内容が生かされているかを教師が意識して取り上げ、学ぶ意欲と意義を高めることが大切である。そして、書く活動や説明する活動を増やし、自分の考えや資料から読み取ったことを整理して表現する学習を授業の中に組み込むことが大切である。

### (3) 設問別の結果

【中学1年生 社会】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市 県		全国 正答率	倉敷市と全国との正答率の差		
				正答率	正答率		-10	0	10
1	(1)	我が国の歴史	卑弥呼についての理解をもとに、弥生時代の生活の様子を把握することができる。	52.3		48.1			4.2
	(2)		中大兄皇子と中臣鎌足による大化の改新について理解している。	67.9		72.7			-4.8
	(3)		大仏造営に関わった行基の業績について理解している。	25.8		27.6			-1.8
	(4)		藤原道長の権力について理解している。	86.9		87.0			-0.1
2	(1)	我が国の歴史	源平の戦いとその結果について、資料を読み取ることができる。	66.5		67.2			-0.7
	(2)		元寇についての理解をもとに、当時の日本の様子を判断することができる。	52.5		55.9			-3.4
	(3)		足利義満に関連する資料を選択することができる。	77.2		74.3			2.9
3	(1)	我が国の歴史	天下統一を進めた織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の業績について理解している。	79.2		78.9			0.3
	(2)		江戸幕府による大名配置について、資料を読み取ることができる。	62.9		68.1			-5.2
	(3)		江戸時代の文化の特色を、資料をもとに考察することができる。	85.0		84.5			0.5
4	(1)	我が国の歴史	板垣退助らによる自由民権運動について理解している。	59.5		55.3			4.2
	(2)		日清戦争から日露戦争への経緯について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	9.0		19.6			-10.6
	(3)		明治時代以降の民主主義の高まりについて理解している。	66.6		66.9			-0.3
	(4)		大日本帝国憲法発布の時期を判断することができる。	25.2		25.3			-0.1
5	(1)	我が国の歴史	アジアや太平洋を戦場とした太平洋戦争について理解している。	60.3		63.6			-3.3
	(2)		終戦の日(戦没者を追悼し平和を祈念する日)を理解している。	56.7		60.6			-3.9
	(3)		日本の戦後の史実について整理することができる。	79.2		81.6			-2.4
6	(1)	我が国の政治	地方公共団体の政治の働きについて、歳入(収入)や歳出(支出)に関する資料を読み取ることができる。	65.1		66.6			-1.5
	(2)		国の政治のしくみについて、国会や内閣の役割を理解している。	39.6		40.9			-1.3
			国民が裁判に参加する裁判員制度について理解している。	19.0		25.1			-6.1
7	(1)	我が国の政治	国家や国民生活の基本を定めている日本国憲法について理解している。	77.1		76.9			0.2
	(2)		基本的人権の尊重について、具体的事例をもとに考察することができる。	60.8		64.6			-3.8
	(3)		平和主義に関連して、非核三原則について理解している。	12.7		23.3			-10.6
8	(1)	世界の中の日本	日本とつながりが深い国の人々の生活の様子について把握することができる。	61.1		65.9			-4.8
			地球の環境問題について、資料をもとに考察することができる。	72.5		75.1			-2.6
	(2)		国際連合の各機関について理解している。	56.7		57.5			-0.8
9	(1)	我が国の歴史	奈良時代の人々の負担について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	38.8		43.3			-4.5
	(2)		室町文化と現在とのつながりについて、資料を精査することができる。	59.2		66.7			-7.5
	(3)		江戸幕府による政治の安定について、鎖国を主軸に資料を精査することができる。	54.5		56.0			-1.5

【中学1年生 理科】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市 県		全国 正答率	倉敷市と全国との正答率の差		
				正答率	正答率		-10	0	10
1	(1) (2) (3)	物質・エネルギー	石灰水が白くにごったことから、二酸化炭素が検出されたことを理解している。	88.7		89.5			-0.8
			物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われることを理解している。	62.6		61.4			1.2
			ろうそくが最も長く燃え続けるものを推測できる。	90.1		86.2			3.9
			ストーブのえんとつと吸気口の役割を説明できる。	80.3		79.5			0.8
2	(1) (2)	生命・地球	だ液のはたらきを調べる実験で、だ液のかわりに水を入れた試験管を用意する理由を考えることができる。	69.2		67.8			1.4
			実験の結果から、だ液のはたらきを説明できる。	62.4		65.8			-3.4
3	(1) (2) (3)	生命・地球	鼻や口から入った空気の通り道を「気管」とよぶことを理解している。	27.9		25.3			2.6
			はく動と脈はくについて理解している。	39.1		46.9			-7.8
			はき出した息には水蒸気がふくまれていることを理解している。	27.7		31.4			-3.7
4	(1) (2)	生命・地球	肺での気体の交換と、血液中にふくまれている気体について考えることができる。	59.1		63.1			-4.0
			くきを横に切ったときの断面を考えることができる。	82.9		81.4			1.5
5	(1) (2)	生命・地球	蒸散のはたらきについて理解している。	74.6		71.9			2.7
			葉にでんぷんがあるかどうかを調べることができる。	69.2		66.6			2.6
6	(1) (2) (3)	生命・地球	植物の葉と日光の関わりについて考えることができる。	87.7		89.1			-1.4
			三日月の位置から、観察した時刻がいつか推測できる。	24.1		27.0			-2.9
			三日月を観察した日の太陽と地球と月の位置関係を推測できる。	46.2		50.1			-3.9
7	(1) (2) (3) (4)	生命・地球	月と太陽の特徴について理解している。	57.1		56.7			0.4
			地層が水平につながっていたことから、地層の種類を推測できる。	75.9		76.8			-0.9
			火山灰の粒のようすを理解している。	61.7		70.5			-8.8
			アンモナイトの化石が陸上で見られる理由を考えることができる。	76.0		81.7			-5.7
8	(1) (2) (3)	物質・エネルギー	地層のずれを「断層」とよぶことを理解している。	45.4		54.8			-9.4
			水溶液を用いた実験で注意することがわかる。	89.5		89.9			-0.4
			塩酸の性質と、塩酸を熱したときの変化を理解している。	26.1		29.4			-3.3
9	(1) (2)	物質・エネルギー	実験の結果から、予想を検証して説明できる。	51.9		59.1			-7.2
			実験の結果から、豆電球と発光ダイオードのちがいを考えることができる。	62.5		67.9			-5.4
10	(1) (2) (3)	生命・地球	電気をおもに熱に変えて利用しているものを考えることができる。	88.5		90.1			-1.6
			陸上の生物どうしの「食べる・食べられる」の関係を作図できる。	12.7		17.4			-4.7
			水が地上と空の間をめぐるときの変化について理解している。	41.7		50.6			-8.9
11	(1) (2) (3)	物質・エネルギー	森林が無くなると、大気中の二酸化炭素が増えると考えられている理由を説明できる。	72.0		75.1			-3.1
			和ばさみの支点、力点、作用点の関係を考えることができる。	47.7		45.5			2.2
			輪じくを利用しているものを考えることができる。	48.4		50.2			-1.8
			さおばかりを利用して重さを測ったときの考えを修正できる。	30.6		36.1			-5.5

【中学2年生 社会】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と全国との正答率の差		
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10
1	(1)	世界の地域 構成	六大陸の名称と位置を理解している。	47.4		50.1		-2.7	
	(2)		三大洋の位置関係を把握することができる。	57.1		58.5		-1.4	
	(3)		赤道や本初子午線の名称と位置を理解している。	67.8		63.0		4.8	
	(4)		緯度や経度についての理解をもとに、地球上の位置を読み取ることができる。	44.3		49.5		-5.2	
2	(1)	世界各地の 人々の生活 と環境	標高の高い地域の生活について、資料をもとに考察することができる。	64.0		68.9		-4.9	
	(2)		世界のさまざまな気候帯や気候区について理解している。	51.2		57.1		-5.9	
	(3)		乾燥した地域におけるオアシスを理解している。	78.8		76.4		2.4	
	(4)		世界のさまざまな宗教について、生活の様子を把握することができる。	58.6		66.6		-8.0	
3	(1)	世界の諸地 域	アジア州における中国の経済について、国内総生産に関する資料をもとに判断することができる。	41.8		42.0		-0.2	
	(2)		ヨーロッパ州の農業地域について、資料をもとに把握することができる。	48.8		47.9		0.9	
	(3)		アフリカ州のモノカルチャー経済の課題について、貿易に関する資料をもとに考察することができる。	55.3		55.1		0.2	
	(4)		北アメリカ州の地形について把握することができる。	51.2		48.1		3.1	
	(5)		南アメリカ州の自然について理解している。	61.9		61.0		0.9	
	(6)		オセアニア州におけるオーストラリアの貿易について、複数の資料をもとに考察することができる。	35.5		39.8		-4.3	
4	(1)	古代までの 日本	最初に人類が出現したと考えられている地域を指摘することができる。	75.4		77.7		-2.3	
	(2)		古代文明の特色を理解している。	39.5		34.0		5.5	
	(3)		万里の長城を築いた秦を理解している。	63.8		62.8		1.0	
	(4)		大和政権が発展した古墳時代を理解している。	64.6		62.1		2.5	
5	(1)	古代までの 日本	聖徳太子とともに政治改革を行った蘇我氏を理解している。	88.4		90.1		-1.7	
	(2)		律令国家の成立について、史実を整理することができる。	35.6		30.5		5.1	
	(3)		奈良時代の天平文化の特色を理解している。	37.7		32.7		5.0	
	(4)		律令国家についての理解をもとに、公地・公民の原則がくずれていった背景を考察することができる。	43.7		37.8		5.9	
6	(1)	中世の日本	鎌倉幕府の執権政治について理解している。	38.1		30.0		8.1	
	(2)		鎌倉幕府の支配を支えていた御家人の生活について、複数の資料をもとに考察することができる。	53.1		57.9		-4.8	
	(3)		室町時代の日本における東アジア諸国との交流について、史実を整理することができる。	40.1		35.5		4.6	
	(4)		室町時代の東山文化の特色を把握することができる。	65.6		61.1		4.5	
7	(1)	古代までの 日本	平安時代の桓武天皇による政治について、複数の資料をもとに考察することができる。	54.5		59.0		-4.5	
	(2)		平安時代の摂関政治の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	17.7		19.2		-1.5	
	(3)	世界の諸地 域	アジア州におけるインドの発展について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	27.0		31.0		-4.0	



【中学2年生 理科】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市		全国 正答率	倉敷市と全国との正答率の差		
				正答率	正答率		-10	0	10
1	(1)	生命	気孔の数を調べるとき、顕微鏡の倍率を同じにする理由を理解している。	61.0		62.7			-1.7
	(2)		蒸散量の求め方を考えることができる。	56.1		56.5			-0.4
	(3)		気孔の観察と、蒸散量のちがいがわかることを考察できる。	56.4		52.3			4.1
2	(1)	生命	植物の花のつくりについて理解している。	73.0		69.7			3.3
	(2)		裸子植物と被子植物の胚珠のつくりのちがいを理解している。	63.1		59.0			4.1
3	(1)	生命	コケ植物とシダ植物を分類する観点を理解している。	57.5		57.3			0.2
	(2)		離弁花類に分類される植物を理解している。	29.4		32.4			-3.0
	(3)		ダイコンの可食部が根のどの部分に相当し、何類に分類されるかを考えることができる。	58.0		57.2			0.8
4	(1)	粒子	有機物を強く熱したとき二酸化炭素ができることを理解している。	64.0		59.4			4.6
	(2)		金属の性質を理解している。	79.2		82.9			-3.7
	(3)		密度と質量から、体積を求める式を考えることができる。	43.7		49.5			-5.8
5	(1)	粒子	発生した気体の性質を理解している。	47.3		48.8			-1.5
	(2)		アンモニアの性質から捕集法を考えることができる。	47.7		45.6			2.1
6	(1)	粒子	質量パーセント濃度を求める式を考えることができる。	58.5		55.4			3.1
	(2)		ろ過のようすを粒子モデルで表したものを考えることができる。	77.1		81.4			-4.3
	(3)		誤った結晶の質量の求め方を修正することができる。	9.2		10.2			-1.0
7	(1)	粒子	加熱した時間とパルミチン酸の温度の関係を作図できる。	56.9		62.6			-5.7
	(2)		固体から液体になるときの粒子のようすを考えることができる。	54.0		55.5			-1.5
8	(1)	エネルギー	光が2つの異なる物質中を進むとき、境界面で曲がることを「屈折」ということを理解している。	65.9		69.8			-3.9
	(2)		物体と同じ大きさの像がうつったとき、物体は焦点距離の2倍の位置にあることを考えることができる。	54.3		56.5			-2.2
	(3)		物体を凸レンズから遠ざけていくときの、像について考えることができる。	23.1		22.8			0.3
9	(1)	エネルギー	音の速さと伝わり方について理解している。	75.9		77.1			-1.2
	(2)		音の速さを求めることができる。	37.6		37.0			0.6
10	(1)	エネルギー	実験の結果を考察できる。	62.2		66.7			-4.5
	(2)		圧力の大きさを求める式を考えることができる。	38.4		39.0			-0.6
11	(1)	地球	火山の形からマグマの特徴を推測できる。	67.1		67.2			-0.1
	(2)		花こう岩にはなく安山岩にだけ見られる特徴を理解している。	58.7		62.7			-4.0
	(3)		御影石(花こう岩)がとれる採石場が、どのようにしてできたかを推測できる。	45.5		51.6			-6.1
12	(1)	エネルギー	グラフから、浮力の大きさを読みとることができる。	16.1		15.7			0.4
	(2)		物体にはたらく水圧について考えることができる。	53.0		59.4			-6.4
	(3)		実験の結果から、浮力の大きさと物体の質量は関係がないことを説明できる。	27.9		32.1			-4.2
13	(1)	地球	地層にふくまれている粒の大きさから、土砂が堆積したときの海水面の変化を推測できる。	58.5		61.7			-3.2
	(2)		凝灰岩の層が地層を調べる手がかりになる理由を説明できる。	24.4		31.3			-6.9
	(3)		他の地層の重なりと傾きから、地層のようすを推測することができる。	35.9		39.1			-3.2



## 4 倉敷市の学力・学習状況の特徴

※目標値とは、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を問題作成業者が示した値。

# 中学1年生・中学2年生 教科概要,誤答分析シート(社会・理科)

中学1年生

## 教科概要

倉敷市教育委員会

### 社会

平成29年度

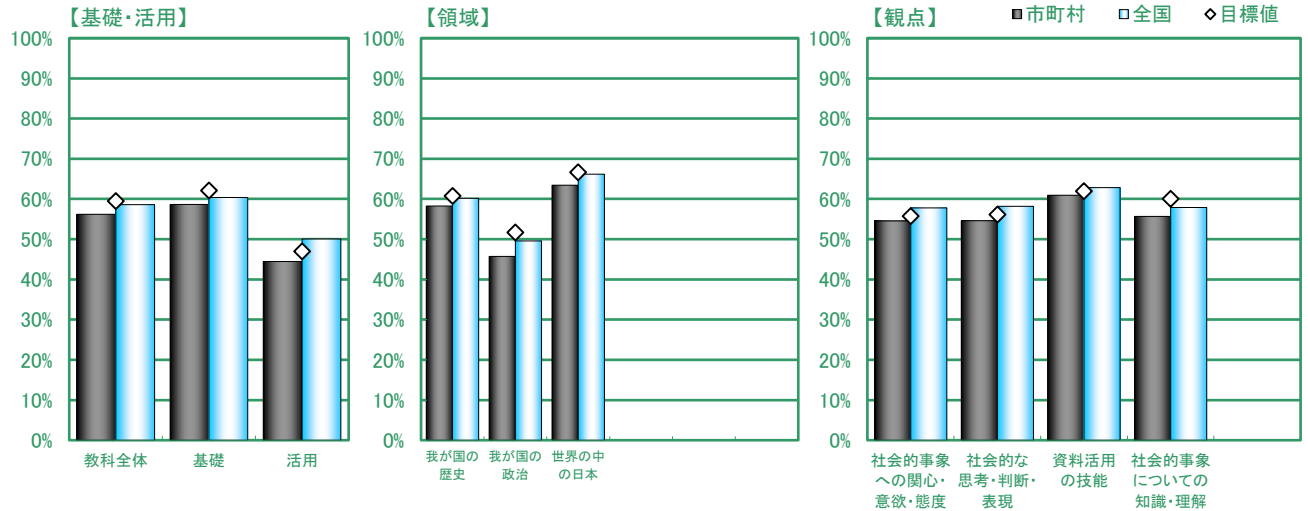
#### ★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
市町村	59.5	56.2	56.9	55.8
全国		58.6	58.6	58.7

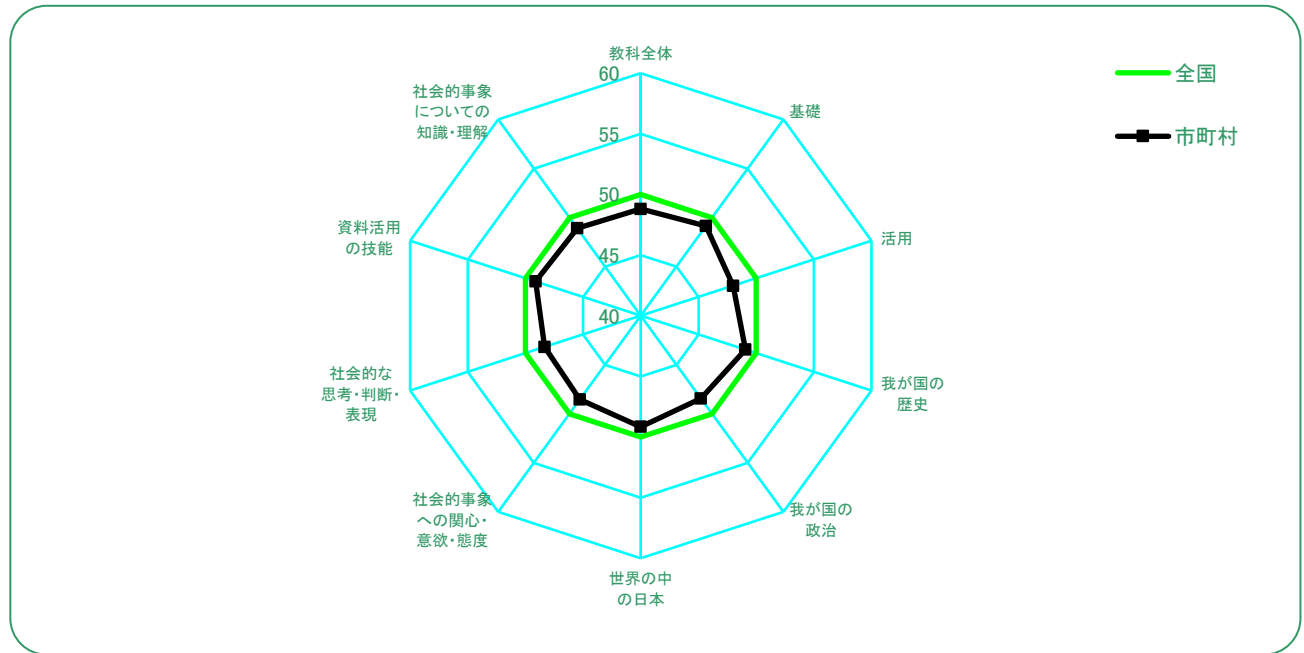
#### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	59.5	56.2	58.6
	基礎	62.1	58.6	60.4
	活用	47.0	44.5	50.0
領域	我が国の歴史	60.8	58.3	60.2
	我が国の政治	51.7	45.7	49.6
	世界の中の日本	66.7	63.4	66.2
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	55.7	54.5	57.8
	社会的な思考・判断・表現	56.1	54.6	58.2
	資料活用技能	62.0	60.9	62.8
	社会的事象についての知識・理解	60.0	55.7	57.9
解答形式	選択	63.2	62.4	64.2
	短答	53.0	41.6	45.0
	記述	35.0	23.9	31.5

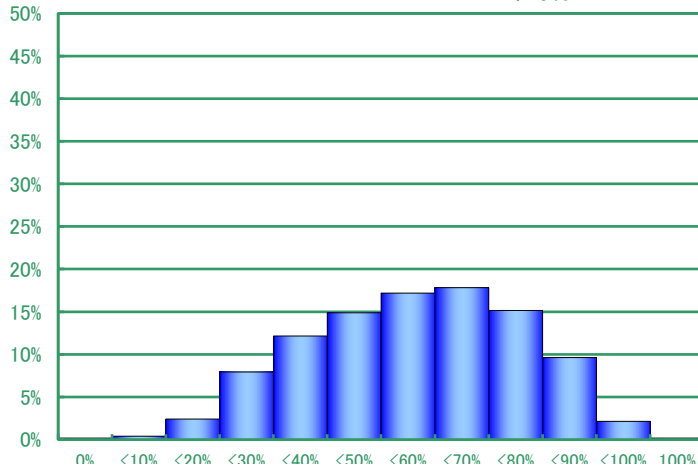
#### ★正答率の比較



#### ★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

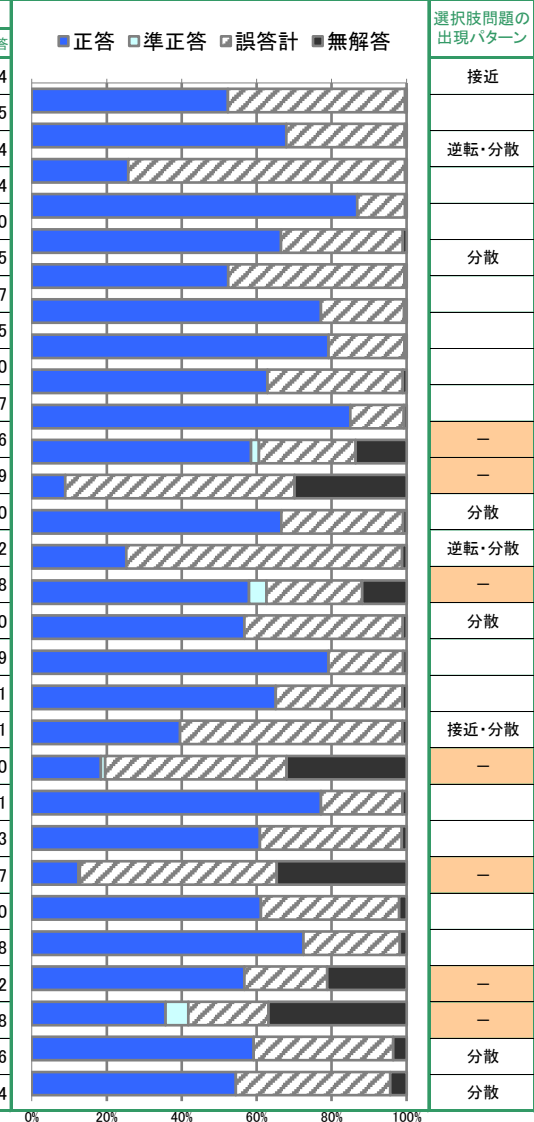


#### ★正答率度数分布



【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン			
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		類型外誤答	無解答	
1	1		(1)	縄文時代～平安時代	単弥呼についての理解をもとに、弥生時代の生活の様子を把握することができる。	52.3	50.0	≒	52.3	5.8	7.8	33.6						0.0	0.4	接近		
2			中大兄皇子と中臣鎌足による大化の改新について理解している。		67.9	65.0	≒	17.2	11.5	67.9	2.9								0.0	0.5	逆転・分散	
3			大仏造営に関わった行基の業績について理解している。		25.8	40.0	▼	16.9	43.1	13.8	25.8									0.0		0.4
4			藤原道長の権力について理解している。		86.9	80.0	△	5.0	3.4	86.9	4.4										0.0	0.4
5	2		(1)	鎌倉時代、室町時代	源平の戦いとその結果について、資料を読み取ることができる。	66.5	75.0	▼	8.7	11.7	12.2	66.5							0.0	1.0	分散	
6			元寇についての理解をもとに、当時の日本の様子を判断することができる。		52.5	55.0	≒	52.5	14.9	23.3	8.8								0.0	0.5		
7			足利義満に関連する資料を選択することができる。		77.2	75.0	≒	13.4	77.2	4.5	4.3									0.0		0.7
8	3		(1)	安土桃山時代、江戸時代	天下統一を進めた織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の業績について理解している。	79.2	80.0	≒	9.1	79.2	11.2								0.0	0.5	分散	
9			江戸幕府による大名配置について、資料を読み取ることができる。		62.9	70.0	▼	20.7	8.3	62.9	7.1									0.0		1.0
10			江戸時代の文化の特色を、資料をもとに考察することができる。		85.0	70.0	△	4.8	3.0	6.5	85.0											0.0
11	4		(1)	明治時代～昭和時代	板垣退助らによる自由民権運動について理解している。	59.5	60.0	≒	58.5	2.2								25.8	13.6	—		
12			日清戦争から日露戦争への経緯について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。		9.0	30.0	▼	9.0											61.1	29.9	—	
13			明治時代以降の民主主義の高まりについて理解している。		66.6	65.0	≒	19.0	13.5	66.6										0.0	1.0	分散
14			大日本帝国憲法発布の時期を判断することができる。		25.2	40.0	▼	25.2	48.0	25.6											0.0	1.2
15	5		(1)	明治時代～昭和時代	アジアや太平洋を戦場とした太平洋戦争について理解している。	60.3	65.0	≒	58.0	4.6								25.6	11.8	—		
16			終戦の日(戦没者を追悼し平和を祈念する日)を理解している。		56.7	60.0	≒	20.7	15.8	56.7	5.8									0.0	1.0	分散
17			日本の戦後の史実について整理することができる。		79.2	80.0	≒	11.6	79.2	8.3											0.0	0.9
18	6		(1)	日本の政治	地方公共団体の政治の働きについて、歳入(収入)や歳出(支出)に関する資料を読み取ることができる。	65.1	55.0	△	6.1	65.1	20.1	7.6							0.0	1.1	接近・分散	
19			① 国の政治のしくみについて、国会や内閣の役割を理解している。		39.6	50.0	▼	39.6	29.2	15.8	14.3									0.0		1.1
20			② 国民が裁判に参加する裁判員制度について理解している。		19.0	40.0	▼	18.4	1.2											48.4		32.0
21	7		(1)	日本国憲法	国家や国民生活の基本を定めている日本国憲法について理解している。	77.1	75.0	≒	10.4	77.1	5.3	6.0							0.0	1.1	分散	
22			基本的人権の尊重について、具体的事例をもとに考察することができる。		60.8	50.0	△	9.2	9.4	60.8	19.2									0.0		1.3
23			(3) 平和主義に関連して、非核三原則について理解している。		12.7	40.0	▼	12.5	0.3											52.5		34.7
24	8		(1) ①	世界の中の日本	日本とつながりが深い国の人々の生活の様子について把握することができる。	61.1	65.0	≒	7.9	11.3	17.7	61.1							0.0	2.0	分散	
25			(2) ②		地球の環境問題について、資料をもとに考察することができる。	72.5	75.0	≒	72.5	21.0	1.9	2.7								0.0		1.8
26			(2)		国際連合の各機関について理解している。	56.7	60.0	≒	56.7	3.4										18.7		21.2
27	9		(1)	縄文時代～平安時代	奈良時代の人々の負担について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	38.8	40.0	≒	35.7	4.2	1.9							21.4	36.8	—		
28			(2)		鎌倉時代、室町時代	室町文化と現在とのつながりについて、資料を精査することができる。	59.2	60.0	≒	59.2	15.2	6.8	15.2							0.0	3.6	分散
29			(3)		安土桃山時代、江戸時代	江戸幕府による政治の安定について、鎖国を軸に資料を精査することができる。	54.5	55.0	≒	9.3	15.7	54.5	16.1								0.0	4.4



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

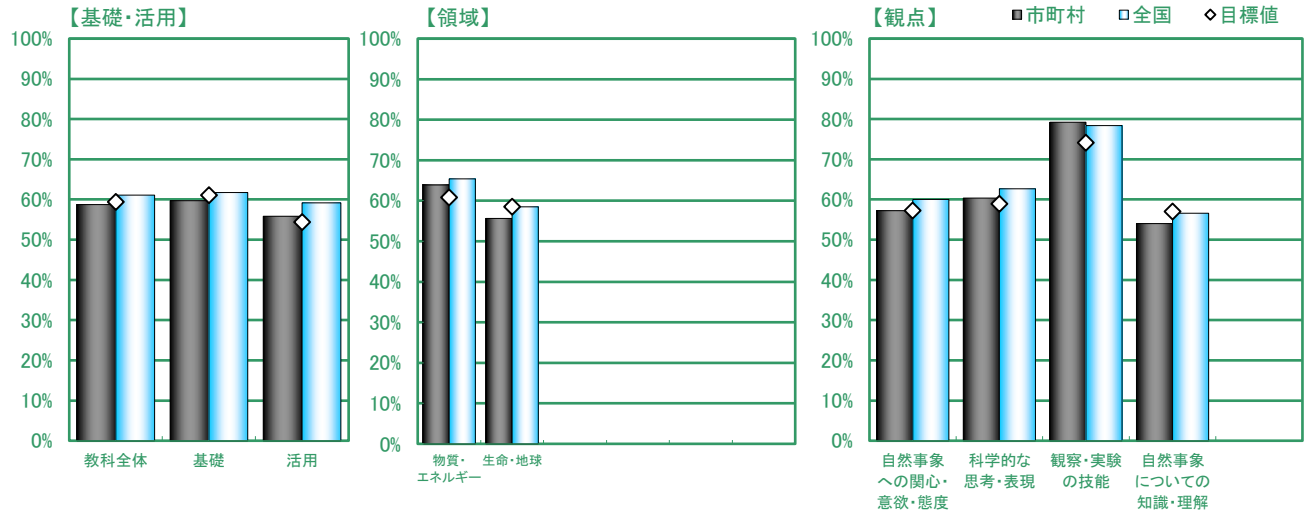
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
市町村	59.4	58.7	59.4	61.6
全国		61.1	62.5	66.2

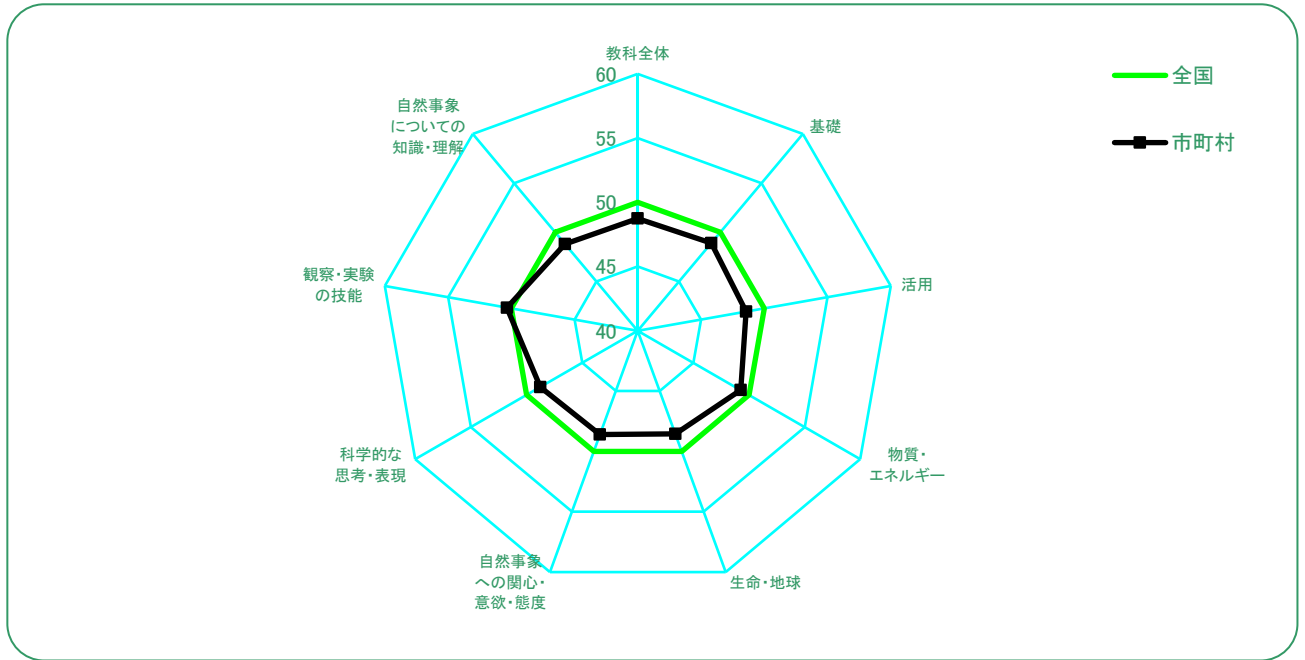
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	59.4	58.7	61.1
	基礎	61.0	59.7	61.7
	活用	54.4	55.8	59.2
領域	物質・エネルギー	60.8	63.9	65.4
	生命・地球	58.5	55.6	58.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	57.3	57.2	60.0
	科学的な思考・表現	58.9	60.4	62.7
	観察・実験の技能	74.2	79.2	78.4
	自然事象についての知識・理解	57.0	54.0	56.6
解答形式	選択	64.7	65.2	66.9
	短答	50.5	47.0	50.0
	記述	57.5	58.7	62.5

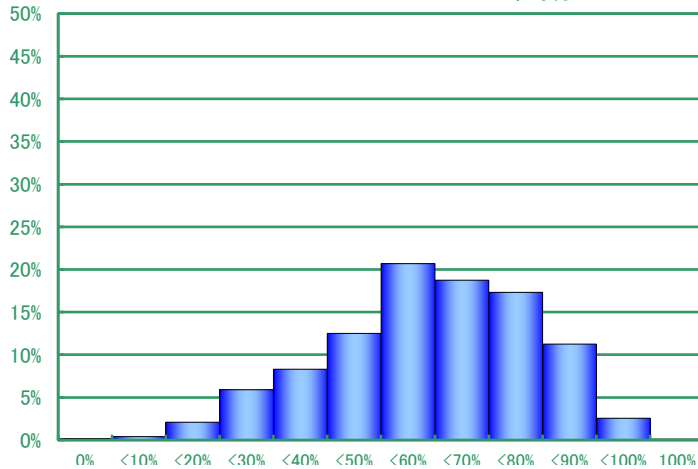
★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

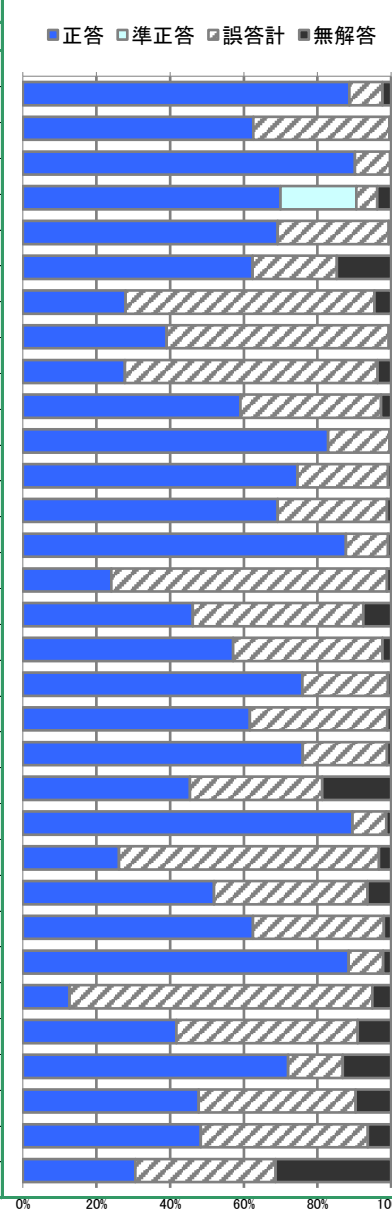


★正答率度数分布



【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン		
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		誤答率	無解答
1	1	(1)	①	物の燃え方	石灰水が白くにごったことから、二酸化炭素が検出されたことを理解している。	88.7	80.0	△	88.7									9.0	2.3	-	
2					②	物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われることを理解している。	62.6	60.0	≒	29.3	62.6	4.7	2.9						0.0	0.5	-
3					(2)	ろうそくが最も長く燃え続けるものを推測できる。	90.1	80.0	△	90.1	6.9	1.2	1.4						0.0	0.3	-
4					(3)	ストーブのえんとつと吸気口の役割を説明できる。	80.3	70.0	△	70.0	5.9	14.6							5.6	3.8	-
5	2	(1)		動物のからだのつくりとはたらき	だ液のはたらきを調べる実験で、だ液のかわりに水を入れた試験管を用意する理由を考えることができる。	69.2	65.0	≒	23.1	69.2	5.5	1.5					0.0	0.7	-		
6					(2)	実験の結果から、だ液のはたらきを説明できる。	62.4	55.0	△	62.4								22.8	14.7	-	
7	3	(1)		動物のからだのつくりとはたらき	鼻や口から入った空気の通り道を「気管」とよぶことを理解している。	27.9	40.0	▼	27.9								67.5	4.6	-		
8					(2)	はく動と脈はくについて理解している。	39.1	50.0	▼	37.3	7.0	39.1	16.0					0.0	0.6	接近・分散	
9					(3)	①	はき出した息には水蒸気がふくまれていることを理解している。	27.7	40.0	▼	27.7	56.1							12.6	3.7	-
10	②	肺での気体の交換と、血液中にふくまれている気体について考えることができる。	59.1	50.0		△	59.1	11.1							27.1	2.7	-				
11	4	(1)		植物のつくりとはたらき	くきを横に切ったときの断面を考えることができる。	82.9	70.0	△	1.8	3.0	82.9	11.8					0.0	0.4	-		
12					(2)	蒸散のはたらきについて理解している。	74.6	70.0	≒	74.6	10.0	9.8	4.8					0.0	0.8	-	
13	5	(1)		植物のつくりとはたらき	葉にでんぷんがあるかどうかを調べるができる。	69.2	70.0	≒	15.0	69.2	9.2	5.5					0.1	1.1	-		
14					(2)	植物の葉と日光の開わりについて考えることができる。	87.7	80.0	△	87.7	5.1	4.2	2.0					0.1	0.8	-	
15	6	(1)		月と太陽	三日月の位置から、観察した時刻がいつか推測できる。	24.1	40.0	▼	30.5	2.8	24.1	41.3					0.1	1.2	逆転・分散		
16					(2)	三日月を観察した日の太陽と地球と月の位置関係を推測できる。	46.2	50.0	≒	14.9	46.2	17.0	14.3					0.0	7.5	分散	
17					(3)	月と太陽の特徴について理解している。	57.1	50.0	△	57.1								40.5	2.4	-	
18	7	(1)		大地のつくりと変化	地層が水平につながっていたことから、地層の種類を推測できる。	75.9	80.0	≒	75.9	11.1	12.1						0.0	0.9	-		
19					(2)	火山灰の粒のようすを理解している。	61.7	70.0	▼	9.9	12.6	14.7	61.7					0.0	1.1	-	
20					(3)	アンモナイトの化石が陸上で見られる理由を考えることができる。	76.0	70.0	△	76.0	6.7	10.2	5.9					0.0	1.1	-	
21					(4)	地層のずれを「断層」とよぶことを理解している。	45.4	60.0	▼	45.4	17.5							18.4	18.7	-	
22	8	(1)		水よう液の性質	水溶液を用いた実験で注意することがわかる。	89.5	80.0	△	1.6	3.8	3.7	89.5					0.1	1.3	-		
23					(2)	塩酸の性質と、塩酸を熱したときの変化を理解している。	26.1	40.0	▼	26.1	45.7	13.7	11.1					0.1	3.3	逆転・分散	
24					(3)	実験の結果から、予想を検証して説明できる。	51.9	50.0	≒	51.9	25.8							15.9	6.4	-	
25	9	(1)		電気の利用	実験の結果から、豆電球と発光ダイオードのちがいを考えることができる。	62.5	70.0	▼	3.5	26.0	62.5	6.1					0.0	2.0	-		
26					(2)	電気をおもに熱に変えて利用しているもの考えることができる。	88.5	70.0	△	0.8	2.1	4.2	88.5	2.2				0.1	2.2	-	
27	10	(1)		生物とかんきょう	陸上の生物どうしの「食べる・食べられる」の関係を作図できる。	12.7	30.0	▼	12.7								82.3	5.1	-		
28					(2)	水が地上と空の間をめぐる時の変化について理解している。	41.7	60.0	▼	41.7								49.2	9.0	-	
29					(3)	森林が無くなると、大気中の二酸化炭素が増えると考えられている理由を説明できる。	72.0	70.0	≒	71.4	0.6							14.9	13.1	-	
30	11	(1)		てこのはたらき	和ばさみの支点、力点、作用点の関係を考えることができる。	47.7	40.0	△	47.7								42.6	9.7	-		
31					(2)	輪じくを利用しているもの考えることができる。	48.4	50.0	≒	21.8	48.4	4.0	19.6					0.0	6.3	分散	
32					(3)	さおばかりを利用して重さを測ったときの考えを修正できる。	30.6	40.0	▼	29.1	1.5							38.1	31.3	-	



凡例⇒ 99.9 99.9 99.9 99.9  
正答 準正答 誤答 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢がa～c、a～hの場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

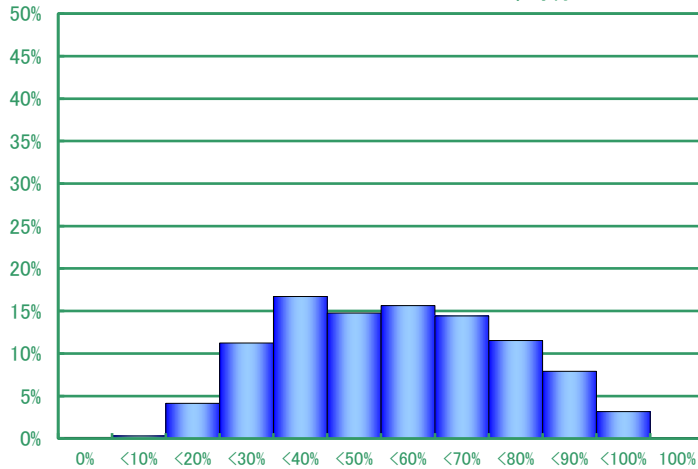
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
市町村	53.4	52.1	51.7	52.7
全国		51.9	51.7	52.5

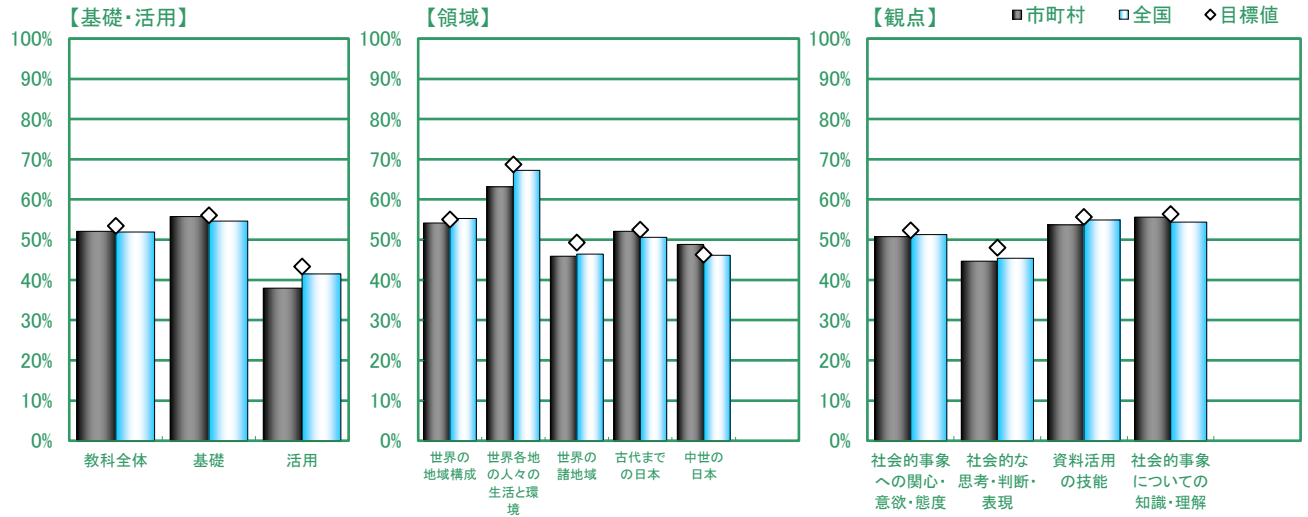
★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	53.4	52.1	51.9
	基礎	56.1	55.7	54.6
	活用	43.3	37.9	41.5
領域	世界の圏域構成	55.0	54.2	55.3
	世界各地の人々の生活と環境	68.8	63.2	67.3
	世界の諸地域	49.3	45.9	46.4
	古代までの日本	52.5	52.1	50.6
	中世の日本	46.3	48.8	46.1
観点	社会的現象への関心・意欲・態度	52.3	50.8	51.3
	社会的な思考・判断・表現	48.0	44.7	45.4
	資料活用に関する技能	55.7	53.7	54.9
	社会的現象についての知識・理解	56.4	55.6	54.4
解答形式	選択	55.0	53.8	53.8
	短答	56.3	57.8	54.7
	記述	30.0	22.4	25.1

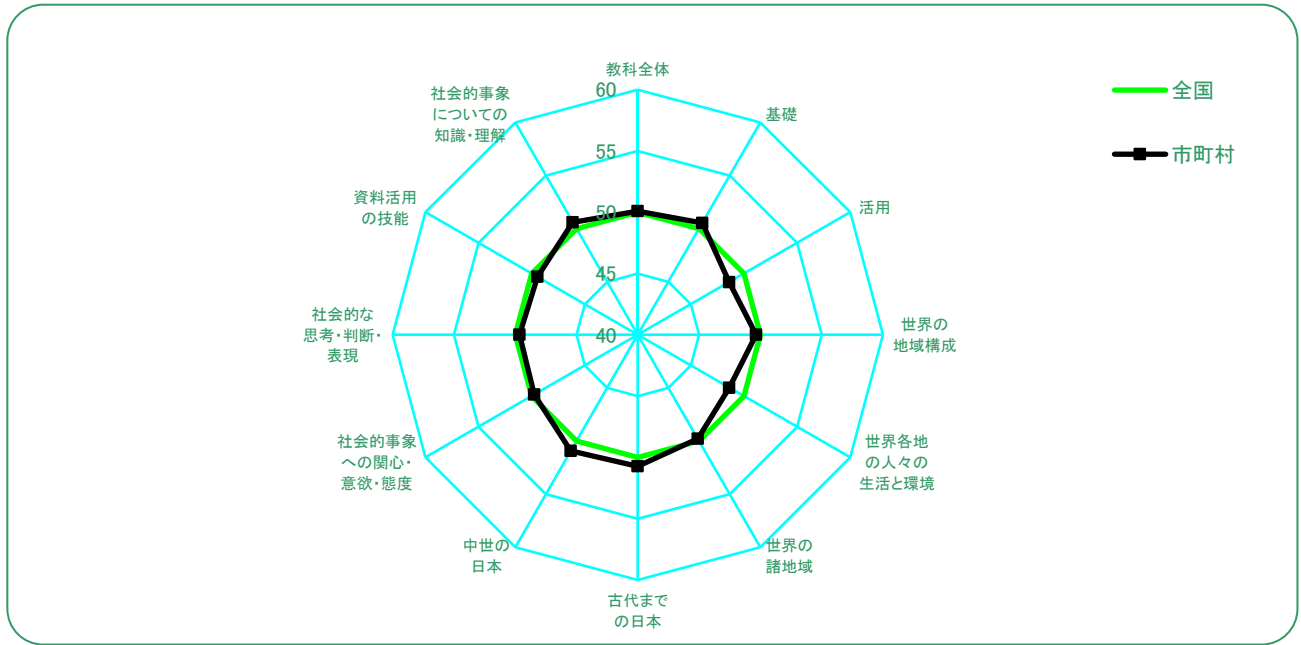
★正答率度数分布



★正答率の比較



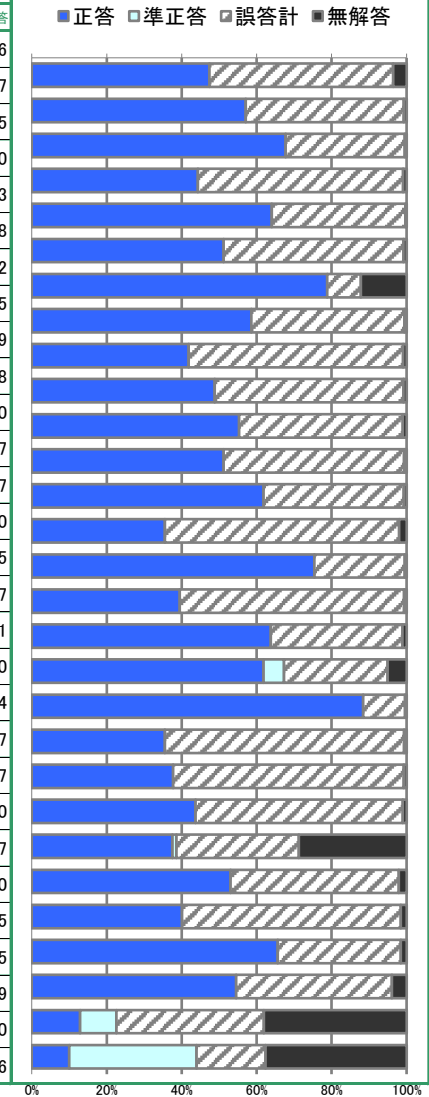
★標準スコアによるカテゴリー間の比較 (各カテゴリーの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)





【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										選択肢問題の 出現パターン			
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		誤答率	無解答	
1	1		(1)	地球の姿をとらえる	六大陸の名称と位置を理解している。	47.4	50.0	≒	47.4									49.0	3.6	—		
2			三大洋の位置関係を把握することができる。		57.1	60.0	≒	57.1	29.1	13.1									0.0	0.7	分散	
3			赤道や本初子午線の名称と位置を理解している。		67.8	65.0	≒	5.2	20.9	5.6	67.8									0.0	0.5	—
4			緯度や経度についての理解をもとに、地球上の位置を読み取ることができる。		44.3	45.0	≒	44.3	27.6	18.5	8.7									0.0	1.0	接近・分散
5	2		(1)	世界各地の人々の生活と環境	標高の高い地域の生活について、資料をもとに考察することができる。	64.0	70.0	▼	16.5	64.0	11.7	7.5						0.0	0.3	—		
6			世界のさまざまな気候帯や気候区について理解している。		51.2	65.0	▼	8.0	10.5	29.5	51.2								0.0	0.8	接近	
7			乾燥した地域におけるオアシスを理解している。		78.8	75.0	≒	78.8												9.0	12.2	—
8			世界のさまざまな宗教について、生活の様子を把握することができる。		58.6	65.0	▼	16.8	17.7	58.6	6.3									0.0	0.5	分散
9	3		(1)	世界の諸地域	アジア州における中国の経済について、国内総生産に関する資料をもとに判断することができる。	41.8	50.0	▼	10.8	26.3	20.2	41.8						0.0	0.9	接近・分散		
10			ヨーロッパ州の農業地域について、資料をもとに把握することができる。		48.8	50.0	≒	17.9	48.8	18.6	13.8								0.0	0.8	分散	
11			アフリカ州のモノカルチャー経済の課題について、貿易に関する資料をもとに考察することができる。		55.3	55.0	≒	9.2	12.7	21.8	55.3									0.0	1.0	—
12			北アメリカ州の地形について把握することができる。		51.2	50.0	≒	17.9	18.8	51.2	11.4									0.0	0.7	分散
13			南アメリカ州の自然について理解している。		61.9	65.0	≒	11.0	61.9	9.0	17.4									0.0	0.7	—
14			オセアニア州におけるオーストラリアの貿易について、複数の資料をもとに考察することができる。		35.5	45.0	▼	22.4	35.5	18.4	21.7									0.0	2.0	接近・分散
15	4		(1)	古墳時代まで	最初に人類が出現したと考えられている地域を指摘することができる。	75.4	70.0	△	75.4	6.2	11.4	6.5						0.0	0.5	—		
16			古代文明の特色を理解している。		39.5	40.0	≒	21.9	24.1	39.5	13.8								0.0	0.7	接近・分散	
17			万里の長城を築いた秦を理解している。		63.8	70.0	▼	11.8	63.8	17.1	6.1									0.0	1.1	—
18			大和政権が発展した古墳時代を理解している。		64.6	60.0	≒	61.9	5.4											27.7	5.0	—
19	5		(1)	飛鳥時代～平安時代	聖徳太子とともに政治改革を行った蘇我氏を理解している。	88.4	75.0	△	2.6	6.2	88.4	2.4						0.0	0.4	—		
20			律令国家の成立について、史実を整理することができる。		35.6	40.0	≒	16.0	21.6	35.6	26.2								0.0	0.7	接近・分散	
21			奈良時代の天平文化の特色を理解している。		37.7	40.0	≒	23.4	37.7	15.6	22.6								0.0	0.7	接近・分散	
22			律令国家についての理解をもとに、公地・公民の原則がくずれていった背景を考察することができる。		43.7	40.0	≒	43.7	23.8	15.0	16.5									0.0	1.0	接近・分散
23	6		(1)	中世の日本	鎌倉幕府の執権政治について理解している。	38.1	40.0	≒	37.5	1.1								32.7	28.7	—		
24			鎌倉幕府の支配を支えていた御家人の生活について、複数の資料をもとに考察することができる。		53.1	45.0	△	13.3	21.8	53.1	9.8								0.0	2.0	分散	
25			室町時代の日本における東アジア諸国との交流について、史実を整理することができる。		40.1	40.0	≒	24.4	18.8	15.1	40.1									0.1	1.5	接近・分散
26			室町時代の東山文化の特色を把握することができる。		65.6	60.0	△	15.4	65.6	7.5	9.9									0.1	1.5	—
27	7		(1)	飛鳥時代～平安時代	平安時代の桓武天皇による政治について、複数の資料をもとに考察することができる。	54.5	60.0	▼	11.7	54.5	12.8	17.1						0.0	3.9	—		
28			平安時代の摂関政治の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。		17.7	30.0	▼	12.9	9.7	5.1									34.3	38.0	—	
29			アジア州におけるインドの発展について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。		27.0	30.0	≒	10.0	34.0											18.3	37.6	—



凡例⇒ 99.9 正答, 99.9 準正答, 99.9 誤答, 99.9 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ～く、ア～ク、A～H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

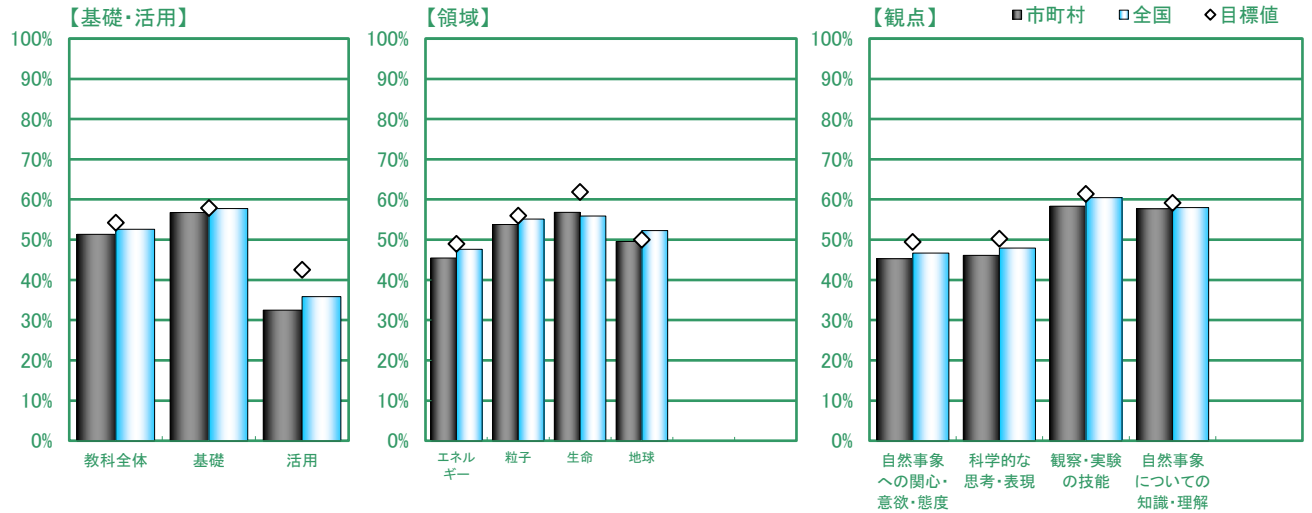
★集計結果

	目標値	平均正答率	中央値	達成率
市町村	54.3	51.3	52.9	53.9
全国		52.6	52.9	56.9

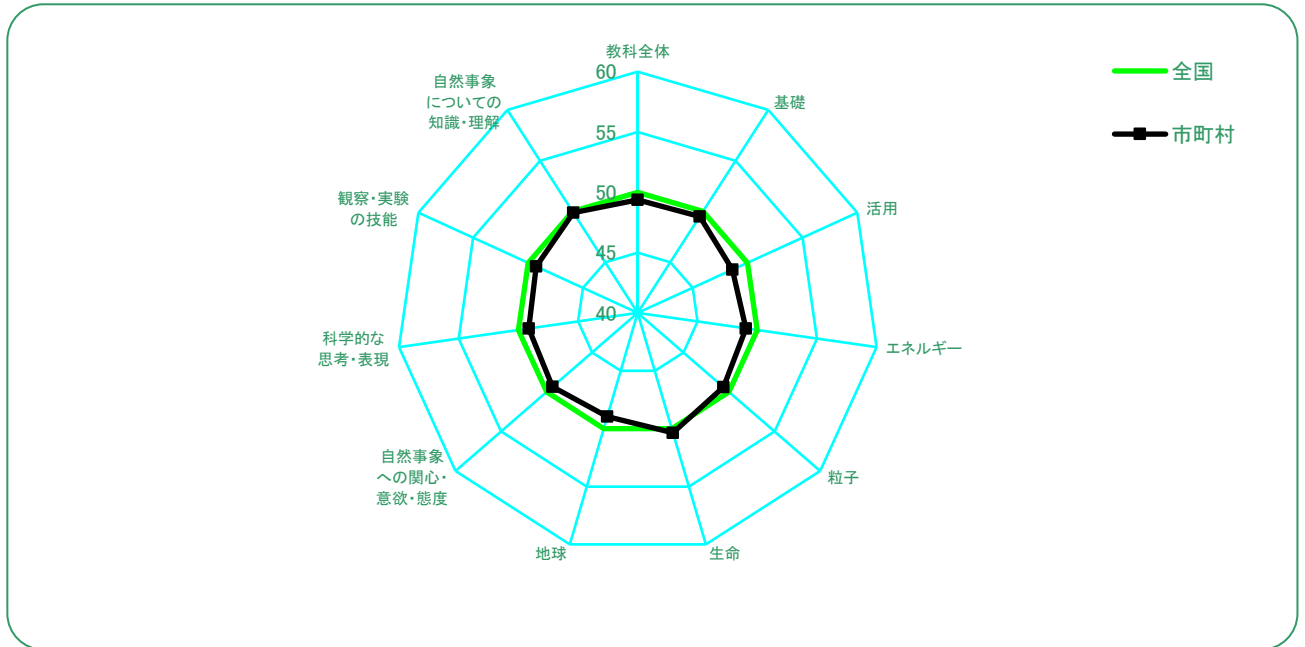
★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	54.3	51.3	52.6
	基礎	57.9	56.8	57.7
	活用	42.5	32.5	35.8
領域	エネルギー	49.0	45.4	47.6
	粒子	56.0	53.8	55.1
	生命	61.9	56.8	55.9
	地球	50.0	49.6	52.3
観点	自然事象への関心・意欲・態度	49.4	45.3	46.7
	科学的な思考・表現	50.2	46.1	47.9
	観察・実験の技能	61.4	58.3	60.5
	自然事象についての知識・理解	59.1	57.7	58.0
解答形式	選択	55.7	54.2	55.6
	短答	54.0	49.8	50.1
	記述	40.0	26.4	31.7

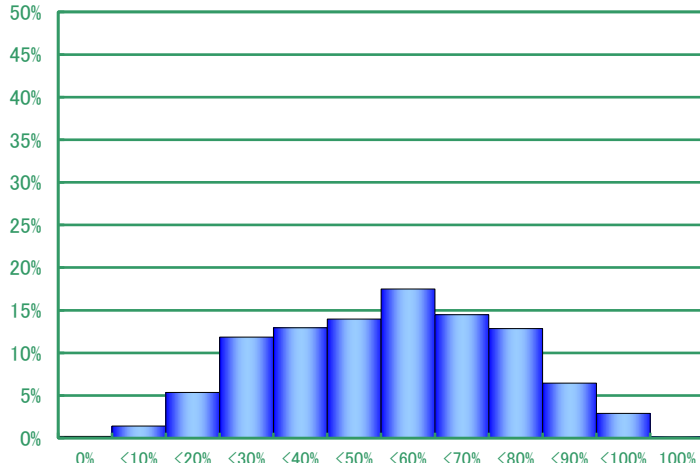
★正答率の比較



★標準スコアによるカテゴリ間の比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)



★正答率度数分布



【市町村全体】

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題の内容	出題のねらい	正答率	目標値	評価	類型番号(選択肢番号)別出現率										種類外誤答	無解答	■正答 □準正答 □誤答計 ■無解答	選択肢問題の 出現パターン		
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
1		(1)			気孔の数を調べるとき、顕微鏡の倍率を同じにする理由を理解している。	61.0	70.0	▼	7.9	61.0	8.3	22.7							0.0	0.2				
2	1	(2)		植物のからだのつくりとはたらき	蒸散量の求め方を考えることができる。	56.1	60.0	≒	13.4	56.1	13.4	16.3							0.0	0.8		分散		
3		(3)			気孔の観察と、蒸散量のちがいがわかることを考察できる。	56.4	50.0	△	56.4											40.5	3.1		-	
4	2	(1)		植物のからだのつくりとはたらき	植物の花のつくりについて理解している。	73.0	80.0	▼	73.0	7.4									12.1	7.4		-		
5		(2)			裸子植物と被子植物の胚珠のつくりのちがいを理解している。	63.1	70.0	▼	8.6	8.5	63.1	19.0								0.1	0.8			
6	3	(1)		植物の分類	コケ植物とシダ植物を分類する観点を理解している。	57.5	55.0	≒	57.5	11.1	24.8	6.1							0.2	0.3				
7		(2)			離弁花類に分類される植物を理解している。	29.4	50.0	▼	29.4											70.2	0.4		-	
8		(3)			ダイコンの可食部が根のどの部分に相当し、何類に分類されるかを考えることができる。	58.0	60.0	≒	58.0	32.4	4.3	4.7								0.1	0.6			
9	4	(1)		身のまわりの物質とその性質	有機物を強く熱したとき二酸化炭素ができることを理解している。	64.0	60.0	≒	64.0											26.7	9.3		-	
10		(2)			金属の性質を理解している。	79.2	70.0	△	79.2												20.6	0.2		-
11		(3)			密度と質量から、体積を求める式を考えることができる。	43.7	50.0	▼	43.7	34.0	13.0	7.7								0.0	1.6		接近・分散	
12	5	(1)		気体の性質	発生した気体の性質を理解している。	47.3	50.0	≒	16.0	23.5	47.3	11.4								0.0	1.7		接近・分散	
13		(2)			アンモニアの性質から捕集法を考えることができる。	47.7	50.0	≒	47.7											44.9	7.3		-	
14	6	(1)		水溶液の性質	質量パーセント濃度を求める式を考えることができる。	58.5	60.0	≒	2.3	12.6	25.3	58.5								0.0	1.2			
15		(2)			ろ過のようすを粒子モデルで表したものを考えることができる。	77.1	70.0	△	8.4	77.1	4.7	8.0								0.0	1.8			
16		(3)			誤った結晶の質量の求め方を修正することができる。	9.2	30.0	▼	9.0	0.4	0.0									34.8	55.7		-	
17	7	(1)		物質の状態変化	加熱した時間とパルミン酸の温度の関係を作図できる。	56.9	60.0	≒	56.9	17.1	3.0									16.0	7.1		-	
18		(2)			固体から液体になるときの粒子のようすを考えることができる。	54.0	60.0	▼	7.7	23.4	13.4	54.0								0.0	1.5		分散	
19	8	(1)		光の性質	光が2つの異なる物質中を進むとき、境界面で曲がることを「屈折」ということを理解している。	65.9	60.0	△	65.9	6.1										15.0	13.1		-	
20		(2)			物体と同じ大きさの像がうつったとき、物体は焦点距離の2倍の位置にあることを考えることができる。	54.3	50.0	≒	54.3	21.7	11.6	10.9								0.0	1.4			
21		(3)			物体を凸レンズから遠ざけていくときの、像について考えることができる。	23.1	30.0	▼	25.7	33.2	16.5	23.1								0.0	1.5		逆転・分散	
22	9	(1)		音の性質	音の速さと伝わり方について理解している。	75.9	70.0	△	12.8	5.0	75.9	5.3								0.0	0.9			
23		(2)			音の速さを求めることができる。	37.6	40.0	≒	12.4	34.5	12.8	37.6								0.0	2.6		接近	
24	10	(1)		力と圧力	実験の結果を考察できる。	62.2	70.0	▼	7.7	16.8	62.2	11.8								0.0	1.5			
25		(2)			圧力の大きさを求める式を考えることができる。	38.4	40.0	≒	20.3	18.3	20.4	38.4								0.0	2.6		接近・分散	
26	11	(1)		火山	火山の形からマグマの特徴を推測できる。	67.1	60.0	△	15.6	67.1	8.2	7.6								0.0	1.5			
27		(2)			花こう岩にはなく安山岩にだけ見られる特徴を理解している。	58.7	50.0	△	14.5	10.7	14.4	58.7								0.0	1.6		分散	
28		(3)			御影石(花こう岩)がとれる採石場が、どのようにしてできたかを推測できる。	45.5	50.0	≒	45.5	18.2	19.8	14.2								0.0	2.2		分散	
29	12	(1)		力と圧力	グラフから、浮力の大きさを読みとることができる。	16.1	30.0	▼	16.1	29.1										39.3	15.5		-	
30		(2)			物体にはたらく水圧について考えることができる。	53.0	60.0	▼	3.8	10.2	30.1	53.0								0.0	2.9		接近	
31		(3)			実験の結果から、浮力の大きさと物体の質量は関係がないことを説明できる。	27.9	40.0	▼	27.9	2.8										21.8	47.5		-	
32	13	(1)		地層	地層にふくまれている粒の大きさから、土砂が堆積したときの海面の変化を推測できる。	58.5	60.0	≒	58.5	18.2	13.9	6.2								0.0	3.2		分散	
33		(2)			凝灰岩の層が地層を調べる手がかりになる理由を説明できる。	24.4	40.0	▼	5.7	18.8										34.3	41.3		-	
34		(3)			他の地層の重なりと傾きから、地層のようすを推測することができる。	35.9	40.0	≒	18.0	35.9	26.2	14.8								0.1	5.0		接近・分散	

凡例⇒ 99.9 99.9 99.9 99.9  
正答 準正答 誤答 最頻出値

※短答・記述問題には、問題の通し番号、正答率、目標値、評価、出現パターンに網を掛けています。  
 ※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。  
 ※選択肢問題で、選択肢があ〜く、ア〜ク、A〜H等の場合、各選択肢は類型番号の各数字に対応しています。

## 5 考察

## (1) 学力調査の結果から

### ◆中学校社会について【○成果 ●課題】

- 地名や人物などの名称を答えたり，世界や日本の諸地域や時代の文化の特色を答えたりする「情報を求める問い」における問題は，正答率が高い。
- 資料を読み取ることにはできるが，複数の資料をもとに考察し，その内容を表現したり，社会事象を説明したりする「情報間の関係を求める問い」における問題は，正答率が低い。情報と情報を関連付ける必要がある問題への課題がみられる。

### ◆中学校理科について【○成果 ●課題】

- 「生命」の領域は，全国平均を上回っているものもあり，比較的よく理解できている。
- 全体的に「観察，実験の結果を整理し，分析して解釈することに課題がある。また，理科の授業で学んだことが，日常生活の中ではどのように使われているか教師が意識して説明する必要がある。

## (2) 考察

- ◇中学校の社会において，歴史上の人物の名前や，地名等を覚えることについては一定の理解ができていることが分かった。また，理科についても「生命」の領域等で用語を覚えることについても同様に理解できている。ただし，その情報と情報を結びつけたり，資料を読み取ったり，分かったことを記述するという点について課題があることが分かった。今後は，情報と情報を結びつけたり，資料から読み取ったことを記述したりと，知識を理解するだけでなく，情報を活用する能力を育てたい。そのためには，日々の授業において，例えば社会において「～について知ろう」というめあてから，「なぜ～になるのか説明しよう。」という探求型のめあてに変えていくことも必要であると考え。また，理科においては，条件を一つ一つ区切り，生徒に予想をさせ，今何のためにどのような実験をしているのかを意識させることが大切だと考える。
- ◇経年的な変化において，社会は県や全国平均を上回っている。しかし，理科は平成28年度，29年度とも県と全国平均を下回っている。特に「粒子」や「エネルギー」の分野に課題がある。このことから，教師は，理科の授業で学んだことや原理や法則が，日常生活の中ではどのように使われているか教師が意識して説明し，生徒の興味・関心を図ることが求められる。その上で，理科で行われる計算を形式的な操作に終わらせず，「測るとは」「量とは」といった単位や物理量を意識させた指導を日々の授業で改めて行う必要がある。また，表やグラフの意味を読み取る能力を育てる必要がある。





倉敷市教育委員会指導課 作成